

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

GFX 100II

FF230001

使用説明書

BL00005235-101 **JA**

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるよう に大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記ウェブサイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウエア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



章目次

メニュー一覧

iv

1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	39
3 基本的な撮影と再生	59
4 動画の撮影と再生	67
5 撮影に関する設定	75
6 撮影メニュー	125
7 画像の再生と再生メニュー	213
8 ネットワーク /USB 機能と設定メニュー	241
9 セットアップメニュー	331
10 ショートカット機能	375
11 オプション品・外部機器の使い方	393
12 資料	419

メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

静止画撮影や動画撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (125)。

静止画撮影メニュー

  の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

□ 画質設定	■
画像サイズ	126
画質モード	127
RAW 記録方式	128
JPEG/HEIF 選択	129
1/4 フィルム シミュレーション	130
モノクローム カラー	132
グレイン・エフェクト	132
カラークローム・エフェクト	133
カラークローム ブルー	133
スムーススキン・エフェクト	133
ダイナミックレンジ	134
2/4 D レンジ優先	135
ホワイトバランス	136
トーンカーブ	140
カラー	140
シャープネス	140

□ 画質設定	■
高感度ノイズ低減	140
明瞭度	141
長秒時ノイズ低減	141
3/4 点像復元処理	141
色空間	141
  ピクセルマッピング	142
  カスタム登録 / 編集	142
カスタム登録内容の自動更新	142
4/4   マウントアダプター設定	143

AF MF フォーカス設定	
1/3	フォーカスエリア選択 146
	AF モード 146
	ゾーンカスタム設定 146
	AF モードオール設定 146
	AF-C カスタム設定 147
	縦 / 横位置 AF モード切替 150
	AF ポイント表示 □□ 151
	ֆ ֆ フォーカスポイント循環 151
	フォーカス点数切り替え 151
	ブリ AF 152
	ֆ ֆ AF 補助光 152
	顔検出 / 瞳 AF 設定 153
2/3	被写体検出 AF 設定 155
	AF+MF 157
	MF アシスト 158
	MF アシストフォーカスリング連動 158
	フォーカスチェック 159
	測光 & フォーカスエリア連動 159
	ֆ ֆ ワンッシュ AF 時の動作 159
3/3	ֆ ֆ 被写界深度スケール 160
	レリーズ優先 / フォーカス優先 160
	ֆ ֆ フォーカスリミッター 161
	タッチパネルモード 162

撮影設定	
1/3	セルフタイマー 164
	セルフタイマー設定保持 165
	セルフタイマーランプ 165
	インターバルタイマー撮影 166
	インターバルタイマー撮影 露出平準化 168
	インターバルタイマー撮影 間隔優先 168
	AE ブラケティング設定 169
	フィルムシミュレーション BKT 169
	フォーカス BKT 設定 169
	測光 169
	シャッター方式 170
	フリッカーレス S.S. 設定 171
2/3	感度 171
	ブレ防止モード 172
	35mm フォーマットモード 172
	ֆ ֆ 冷却ファン設定 173
3/3	ֆ ֆ ワイヤレス通信 173

フラッシュ設定	
	フラッシュ機能設定 174
	赤目補正 174
	TTL-LOCK モード 175
	LED ライト設定 175
	コマンダー設定 176
	CH 設定 176

動画撮影メニュー

 **■**   の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。

■ 動画設定		
動画設定一覧		177
動画フォーマット		177
動画モード		178
1/4 ハイスピード撮影		179
 セルフタイマー		180
メディア記録設定		181
HDMI 出力設定		184
動画クロップ倍率固定モード		185
F-Log/HLG 撮影		186
データレベル設定		187
 測光		187
 フリッカーレス S.S. 設定		187
 ブレ防止モード		188
 ブレ防止モードブースト		188
 感度		189
ゼブラ設定		189
ゼブラレベル		189
ウェーブフォーム / ベクトルスコープ		190
動画専用操作モード 		191
3/4  REC 枠表示		191
タリーランプ		192
 冷却ファン設定		193
 カスタム登録 / 編集		193
 カスタム登録内容の自動更新		193
4/4  ワイヤレス通信		193
■ 画質設定		
1/2  フィルム シミュレーション		194
 モノクローム カラー		194
 ダイナミックレンジ		195
 ホワイトバランス		195
 トーンカーブ		195
 カラー		195
 シャープネス		196
 高感度ノイズ低減		196
フレーム間ノイズリダクション		196
  ピクセルマッピング		196
2/2 F-Log2 D レンジ優先		197
 周辺光量補正		197
  マウントアダプター設定		197

1/2	AF/MF フォーカス設定	
	■ フォーカスエリア選択	198
	■ AF モード	198
	■ AF-C カスタム設定	199
	■ フォーカスポイント循環	199
	■ AF 補助光	200
	■ [顔] 顔検出 / 瞳 AF 設定	200
	■ 被写体検出 AF 設定	200
	■ AF+MF	201
	■ MF アシスト	201
■ MF アシストフォーカス リング運動	201	
■ フォーカスチェック	202	
■ ワンプッシュ AF 時の動作	202	
■ 被写界深度スケール	202	
■ フォーカスリミッター	202	
■ タッチパネルモード	203	
■ フォーカスチェックロック	204	
2/2	オーディオ設定	
	■ 内蔵マイクレベル設定	205
	■ 外部マイクレベル設定	205
	■ マイク端子設定	206
	■ マイクレベルリミッター	206
	■ 風音低減	206
	■ ローカットフィルター	207
TC	■ ヘッドホン音量	207
	■ マイク / リモートトレーラーズ設定	207
	XLR マイクアダプター設定	
	■ タイムコード表示	209
	■ 開始時間設定	209
カウントアップ設定		
■ ドロップフレーム	210	
■ HDMI タイムコード出力	211	
■ タイムコード同期設定	211	

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (220)。

再生メニュー	
1/3	スロット切り替え 220
	RAW 現像 221
	HEIF を JPEG/TIFF に変換 223
	消去 224
	同時消去 226
	トリミング 226
	リサイズ 227
	プロテクト 228
2/3	画像回転 229
	ボイスメモ設定 230
	レーティング 231
	画像コピー 232
	スマートフォンに画像転送 233
	 ワイヤレス通信 235
	再生時デスクイーズ表示 235
	フォトブックアシスト 236
3/3	プリント予約 (DPOF) 238
	instax プリンタープリント 239
	表示比率 240

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。



設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (図 331)。

F 基本設定		目次	F 音設定		目次
1/2	フォーマット	332	1/2	AF 合焦音量	338
	エリア設定	333		セルフタイマー音量	338
	日時設定	333		操作音量	339
	世界時計	334		REC 開始終了音量	339
	言語/LANG.	335		MSEF 電子シャッター音量	339
	マイメニュー設定	335		MSEF 電子シャッター音	340
	マイメニュー設定	335		ES 電子シャッター音量	340
	センサークリーニング	336		ES 電子シャッター音	340
2/2	バッテリー劣化度	336	2/2	再生音量	341
	リセット	337		4ch 音声再生	341
	認証	337			

表示設定		目次	
1/4	VIEW MODE 設定	342	
	EVF 明るさ	342	
	EVF 鮮やかさ	342	
	EVF 色調整	343	
	LCD 明るさ	344	
	LCD 鮮やかさ	344	
	LCD 色調整	344	
撮影画像表示	345		
縦横自動回転表示	345		
マニュアル時モニター露出 / WB 反映	346		
ナチュラルライブビュー	346		
2/4	F-Log ビューアリスト	347	
	電子水準器設定	347	
3/4	フレーミングガイド	347	
	縦横自動回転再生	348	
	再生時拡大倍率	348	
	距離指標の単位	348	
	2画面モード表示設定	349	
	EVF フル表示倍率	349	
	画面のカスタマイズ	349	
	情報表示拡大モード (EVF)	350	
	情報表示拡大モード (LCD)	351	
	情報表示拡大 表示設定	352	
情報表示コントラスト調整	352		
4/4		位置情報表示	353
		サブ液晶モニター設定	353
		サブ液晶モニター背景色	356
		📷 クイックメニュー背景設定	356
		🎥 クイックメニュー背景設定	356

操作ボタン・ダイヤル設定		
1/3	フォーカスレバー設定	357
	■ クイックメニュー登録 / 編集	357
	■ クイックメニュー登録 / 編集	357
	ファンクション (Fn) 設定	358
	コマンドダイヤル設定	358
	■ S.S. 操作設定	359
	コマンドダイヤル回転方向	359
	半押し AF	359
	半押し AE	360
	レンズなしレリーズ	360
	カードなしレリーズ	360
2/3	フォーカスリング	361
	フォーカスリング操作	361
	AE/AF-LOCK 設定	361
	AWB-LOCK 設定	362
	露出補正ボタン設定	362
	■ Fn1 ボタン設定	363
3/3	タッチパネル設定	364
	ロック	365

消費電力設定		
	自動電源 OFF	366
	パフォーマンス	367
	撮影スタンバイモード	368
	オートパワーセーブ	368
	自動電源 OFF 温度	368

保存設定		
1/2	コマ NO.	369
	ファイル名編集	370
	■ カードスロット設定	370
	スロット選択 (■ 順次記録時)	370
	フォルダ選択	371
	著作権情報	371
	デフォルトキャプション	372
2/2	IPTC	372
	位置情報記録	373

ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更するメニューです。

 ネットワーク /USB 設定	回
接続セット登録 / 編集	313
接続セット選択	318
機内モード	319
1/2 Bluetooth/ スマートフォン 設定	320
instax プリンター接続設定	323
Frame.io Camera to Cloud	323
FTP オプション設定	326
USB 給電 / 通信設定	328
情報表示	329
2/2 ネットワーク /USB 設定 初期化	329

 **目次**

はじめに	ii
最新情報について	ii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	viii
セットアップメニュー	ix
ネットワーク /USB 設定メニュー	xii
付属品一覧	xxvii
本書について	xxviii
本書で使われている記号について	xxviii
画面のイラストや写真について	xxviii
表記について	xxviii

1 このカメラの概要**1**

カメラの各部名称と機能	2
銘板プレート	6
メモリーカードスロットカバー（着脱可）	6
フォーカスレバー	6
モードダイヤル	7
静止画 / 動画切替スイッチ	8
DRIVE ボタン	8
コマンドダイヤル	9
インジケーター・ランプ	10
液晶モニター	11
交換式ファインダーの各部名称と機能	12
ファインダーの取り付け方	13
アイカップ	14
視度調節ダイヤル	15
撮影時の表示画面	16
EVF の表示画面	16
LCD の表示画面	18
EVF と LCD の切り替え	20
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整	22
縦表示について	22
情報表示の切り替え	22

2 画面について	24
「ノーマル」画面の表示について	25
電子水準器について	27
サブ液晶モニター	28
メニューの使い方	32
メニュー画面について	32
メニュータブへの移動	33
タッチ操作について	34
撮影時のタッチ操作について	34
再生時のタッチ操作について	38
2 撮影の準備	39
ストラップを取り付ける	40
レンズを取り付ける	41
バッテリーを入れる	43
メモリーカードを入れる	45
2枚のメモリーカードを使用する場合	47
使用可能なメモリーカード	48
メモリーカードの代わりに外付け SSD を使用する	49
バッテリーを充電する	50
電源をオンにする / オフにする	54
バッテリー残量の表示	55
初期設定を行う	56
言語を変更する	58
日時を変更する	58
3 基本的な撮影と再生	59
プログラムで静止画を撮影する	60
静止画を再生する	63
HDMI 出力	64
画像を消去する	66
4 動画の撮影と再生	67
動画を撮影する	68
動画の設定について	72
動画を再生する	73

5 撮影に関する設定

75

P、S、A、M で撮影する	76
プログラム (P) 撮影	76
シャッタースピード優先 (S) 撮影	78
絞り優先 (A) 撮影	80
マニュアル (M) 撮影	82
カスタムモード	86
オートフォーカス撮影	92
フォーカスマード	93
AF モードの選択	95
フォーカスエリアの変更	97
マニュアルフォーカス撮影	101
ピントの確認方法	103
ISO 感度を変更	106
AUTO 設定について	107
測光モードを変更	108
露出補正	109
AE/AF ロック撮影	110
ボタンによる AE/AF ロック	111
ブラケティング撮影	112
ISO ISO ブラケティング	113
WB ホワイトバランス BKT	113
BKT ブラケティング	114
連続撮影 (連写)	117
多重露出撮影	119
ピクセルシフトマルチショット	121

6 撮影メニュー

125

画質設定 (静止画)	126
画像サイズ	126
画質モード	127
RAW 記録方式	128
JPEG/HEIF 選択	129
フィルム シミュレーション	130
モノクローム カラー	132
グレイン・エフェクト	132

カラークローム・エフェクト	133
カラークローム ブルー	133
スムーススキン・エフェクト	133
ダイナミックレンジ	134
D レンジ優先	135
ホワイトバランス	136
トーンカーブ	140
カラー	140
シャープネス	140
高感度ノイズ低減	140
明瞭度	141
長秒時ノイズ低減	141
点像復元処理	141
色空間	141
  ピクセルマッピング	142
 カスタム登録 / 編集	142
カスタム登録内容の自動更新	142
  マウントアダプター設定	143
フォーカス設定（静止画）	146
フォーカスエリア選択	146
AF モード	146
ゾーンカスタム設定	146
AF モードオール設定	146
AF-C カスタム設定	147
縦 / 横位置 AF モード切替	150
AF ポイント表示  	151
  フォーカスポイント循環	151
フォーカス点数切り替え	151
プリ AF	152
  AF 補助光	152
 顔検出 / 瞳 AF 設定	153
被写体検出 AF 設定	155
AF+MF	157
MF アシスト	158
MF アシストフォーカスリング連動	158
フォーカスチェック	159

測光 & フォーカスエリア連動	159
  ワンプッシュ AF 時の動作	159
  被写界深度スケール	160
レリーズ優先 / フォーカス優先	160
  フォーカスリミッター	161
タッチパネルモード	162
撮影設定（静止画）	164
セルフタイマー	164
セルフタイマー設定保持	165
セルフタイマーランプ	165
インターバルタイマー撮影	166
インターバルタイマー撮影露出平準化	168
インターバルタイマー撮影間隔優先	168
AE ブラケティング設定	169
フィルムシミュレーション BKT	169
フォーカス BKT 設定	169
測光	169
シャッター方式	170
フリッカー低減	171
フリッカーレス S.S. 設定	171
感度	171
ブレ防止モード	172
35mm フォーマットモード	172
  冷却ファン設定	173
  ワイヤレス通信	173
フラッシュ設定（静止画）	174
フラッシュ機能設定	174
赤目補正	174
TTL-LOCK モード	175
LED ライト設定	175
コマンダー設定	176
CH 設定	176
動画設定（動画）	177
動画設定一覧	177
動画フォーマット	177
動画モード	178

ハイスピード撮影	179
 セルフタイマー	180
メディア記録設定	181
HDMI 出力設定	184
動画クロップ倍率固定モード	185
F-Log/HLG 撮影	186
データレベル設定	187
 測光	187
 フリッカーレス S.S. 設定	187
 ブレ防止モード	188
 ブレ防止モードブースト	188
 感度	189
ゼブラ設定	189
ゼブラレベル	189
ウェーブフォーム / ベクトルスコープ	190
動画専用操作モード  REC 枠表示	191
タリーランプ	192
  冷却ファン設定	193
 カスタム登録 / 編集	193
 カスタム登録内容の自動更新	193
 ワイヤレス通信	193
画質設定（動画）	194
 フィルム シミュレーション	194
 モノクローム カラー	194
 ダイナミックレンジ	195
 ホワイトバランス	195
 トーンカーブ	195
 カラー	195
 シャープネス	196
 高感度ノイズ低減	196
フレーム間ノイズリダクション	196
 ピクセルマッピング	196
F-Log2 D レンジ優先	197
 周辺光量補正	197
 マウントアダプター設定	197

フォーカス設定（動画）.....	198
フォーカスエリア選択	198
AF モード	198
AF-C カスタム設定	199
フォーカスポイント循環	199
AF 補助光	200
顔検出 / 瞳 AF 設定	200
被写体検出 AF 設定	200
AF+MF	201
MF アシスト	201
MF アシストフォーカスリング連動	201
フォーカスチェック	202
ワンプッシュ AF 時の動作	202
被写界深度スケール	202
フォーカスリミッター	202
タッチパネルモード	203
フォーカスチェックロック	204
オーディオ設定（動画）.....	205
内蔵マイクレベル設定	205
外部マイクレベル設定	205
マイク端子設定	206
マイクレベルリミッター	206
風音低減	206
ローカットフィルター	207
ヘッドホン音量	207
マイク / リモートトレリーズ設定	207
XLR マイクアダプター設定	208
タイムコード設定（動画）.....	209
タイムコード表示	209
開始時間設定	209
カウントアップ設定	210
ドロップフレーム	210
HDMI タイムコード出力	211
タイムコード同期設定	211

再生時の表示画面	214
情報表示の切り替え	216
再生方法	218
再生ズーム	219
マルチ再生	219
再生メニュー	220
スロット切り替え	220
RAW 現像	221
HEIF を JPEG/TIFF に変換	223
消去	224
同時消去	226
トリミング	226
リサイズ	227
プロテクト	228
画像回転	229
ボイスメモ設定	230
レーティング	231
画像コピー	232
スマートフォンに画像転送	233
 ワイヤレス通信	235
再生時デスケイズ表示	235
フォトブックアシスト	236
プリント予約 (DPOF)	238
instax プリンタープリント	239
表示比率	240

ネットワーク /USB 機能の概要	242
このカメラでできること	242
接続セットについて	246

スマートフォンアプリケーションを使用する.....	247
スマートフォンにアプリケーションをインストールする.....	247
カメラとスマートフォンを接続する.....	247
スマートフォンアプリケーションを使用する.....	249
USB カードリーダーとして使用する.....	252
スマートフォンに画像を転送する.....	252
パーソナルコンピューターに画像を転送する.....	255
ウェブカメラとして使用する.....	257
instax プリントする.....	258
プリンターとの接続を設定する.....	258
画像をプリントする.....	259
テザー撮影をする.....	260
USB 接続でテザー撮影をする.....	260
無線 LAN 接続でテザー撮影をする.....	262
有線 LAN 接続でテザー撮影をする.....	267
Frame.io にファイル転送する.....	270
無線 LAN で接続する.....	270
有線 LAN で接続する.....	272
Frame.io へファイルを転送する.....	275
FTP サーバーへファイル転送する.....	278
FTP サーバーと接続する.....	278
FTP サーバーとの接続設定.....	285
FTP サーバーへ画像を転送する.....	288
RAW 現像する.....	291
設定の保存や読み込みをする.....	292
ブラウザーからリモートで動画を撮影する.....	293
ブラウザーからカメラに接続する.....	293
パーソナルコンピューター やタブレットからカメラに接続する.....	303
リモート録画機能の表示画面.....	306
リモート録画機能で録画する.....	310
撮影した動画を確認する.....	310
カメラの設定の保存や読み込みをする.....	311

ネットワーク /USB 設定メニュー	313
接続セット登録 / 編集	313
接続セット選択	318
機内モード	319
Bluetooth/ スマートフォン設定	320
instax プリンター接続設定	323
Frame.io Camera to Cloud	323
FTP オプション設定	326
USB 給電 / 通信設定	328
情報表示	329
ネットワーク /USB 設定初期化	329

9 セットアップメニュー 331

セットアップメニュー (基本設定)	332
フォーマット	332
 エリア設定	333
日時設定	333
世界時計	334
 言語/LANG	335
 マイメニュー設定	335
 マイメニュー設定	335
センサークリーニング	336
バッテリー劣化度	336
リセット	337
認証	337
セットアップメニュー (音設定)	338
AF 合焦音量	338
セルフタイマー音量	338
操作音量	339
 REC 開始終了音量	339
MS EF 電子シャッター音量	339
MS EF 電子シャッター音	340
ES 電子シャッター音量	340
ES 電子シャッター音	340
再生音量	341
4ch 音声再生	341

セットアップメニュー (表示設定)	342
VIEW MODE 設定	342
EVF 明るさ	342
EVF 鮮やかさ	342
EVF 色調整	343
LCD 明るさ	344
LCD 鮮やかさ	344
LCD 色調整	344
撮影画像表示	345
縦横自動回転表示	345
マニュアル時モニター露出 /WB 反映	346
ナチュラルライブビュー	346
F-Log ビューアシスト	347
電子水準器設定	347
フレーミングガイド	347
縦横自動回転再生	348
再生時拡大倍率	348
距離指標の単位	348
2画面モード表示設定	349
EVF フル表示倍率	349
画面のカスタマイズ	349
情報表示拡大モード (EVF)	350
情報表示拡大モード (LCD)	351
情報表示拡大 表示設定	352
情報表示コントラスト調整	352
位置情報表示	353
サブ液晶モニター設定	353
サブ液晶モニター背景色	356
■ クイックメニュー背景設定	356
■ クイックメニュー背景設定	356
セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定)	357
フォーカスレバー設定	357
■ クイックメニュー登録 / 編集	357
■ クイックメニュー登録 / 編集	357
ファンクション (Fn) 設定	358
コマンドダイヤル設定	358

● S.S. 操作設定	359
コマンドダイヤル回転方向	359
半押し AF	359
半押し AE	360
レンズなしリリーズ	360
カードなしリリーズ	360
フォーカスリング	361
フォーカスリング操作	361
AE/AF-LOCK 設定	361
AWB-LOCK 設定	362
露出補正ボタン設定	362
▣ Fn1 ボタン設定	363
タッチパネル設定	364
ロック	365
セットアップメニュー (消費電力設定)	366
自動電源 OFF	366
パフォーマンス	367
撮影スタンバイモード	368
オートパワーセーブ	368
自動電源 OFF 温度	368
セットアップメニュー (保存設定)	369
コマ NO.	369
ファイル名編集	370
● カードスロット設定	370
スロット選択 (● 順次記録時)	370
フォルダ選択	371
著作権情報	371
デフォルトキャプション	372
IPTC	372
位置情報記録	373

10 ショートカット機能	375
ショートカット機能について	376
マイメニュー	377
マイメニュー設定	377
クイックメニュー	379
クイックメニュー画面	379
設定の確認と変更	381
クイックメニューの割り当て変更	382
ファンクション機能	385
ファンクションボタン	385
タッチファンクション	390
11 オプション品・外部機器の使い方	393
交換レンズ	394
レンズの各部名称	394
交換レンズのお手入れ	395
レンズキャップの取り外し方	395
レンズフードの取り付け方	395
絞りリング	396
T/S レンズについて	396
EVF チルトアダプター	397
取り付け方	398
使い方	399
クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル	400
クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する	401
シンクロターミナル	402
クリップオンフラッシュ	403
コマンダー（光通信）	406
縦位置バッテリーグリップ	410
縦位置バッテリーグリップの取り付け方	411
バッテリーの入れ方 / 取り外し方	413
縦位置バッテリーグリップの充電方法	415
冷却ファン	416
冷却ファンの取り付け方	416
冷却ファンの使い方	418

カメラで使えるアクセサリー	420
カメラで使えるソフトウェア・サービス	423
スマートフォン用アプリケーション	423
RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX	423
Capture One Express for Fujifilm	424
Capture One for Fujifilm	424
FUJIFILM Tether Shooting Plug-in (Lightroom 専用)	424
FUJIFILM X Acquire	424
FUJIFILM X RAW STUDIO	425
FUJIFILM Pixel Shift Combiner	425
Frame.io Camera to Cloud	425
お取り扱いにご注意ください	426
お手入れについて	441
センサークリーニング	442
ファームウエア更新情報	443
ファームウエアバージョンの確認方法	443
トラブルシューティング /FAQ	444
警告表示	459
エラー表示	464
標準撮影枚数 / 記録時間	467
主な仕様	468
索引	476
ソフトウェアのお問い合わせ	483
アフターサービスについて	484

付属品一覧

ご使用の前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W235 (1 個)

 安全上の理由から、ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください (☞ 50)。

- AC パワーアダプター AC-5VJ (1 個)
- プラグアダプター (1 式)
- 交換式ファインダー EVF-GFX3 (1 式)
- USB ケーブル (約 0.6m 1 本)
- ボディキャップ (1 個) (本体に装着)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ケーブルプロテクター (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- シンクロターミナルキャップ (1 個) (本体に装着)
- 縦位置バッテリーグリップ用端子カバー (1 個) (本体に装着)
- 冷却ファン用端子カバー (1 個) (本体に装着)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)

 EVF-GFX3 は GFX100 II 専用です。

 ● プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。
● このカメラで使用できるソフトウェアについては、☞ 423 をご覧ください。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルカメラ GFX100 II の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

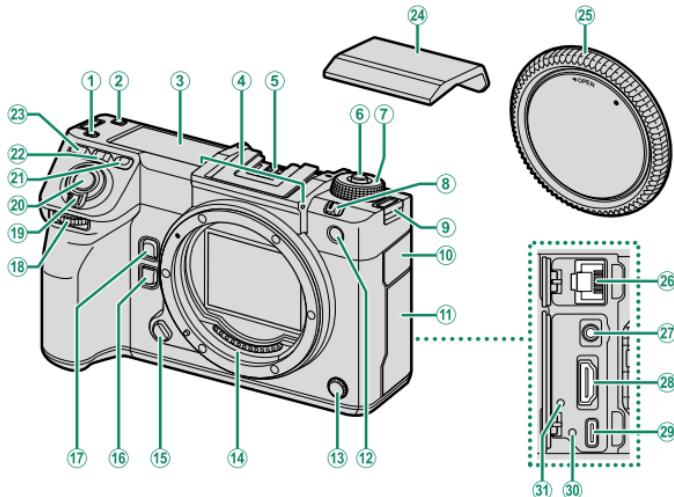
画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

表記について

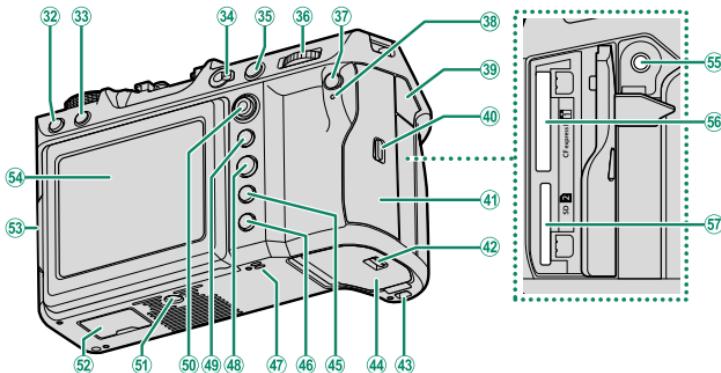
- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード、CFexpress Type B カードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「メモリーカード」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「EVF」、液晶モニターを「LCD」と表記する場合があります。
- メニューなどのカメラの表示は太字で表記しています。
- 本書では、スマートフォンとタブレットを併せて「スマートフォン」と表記する場合があります。

このカメラの概要

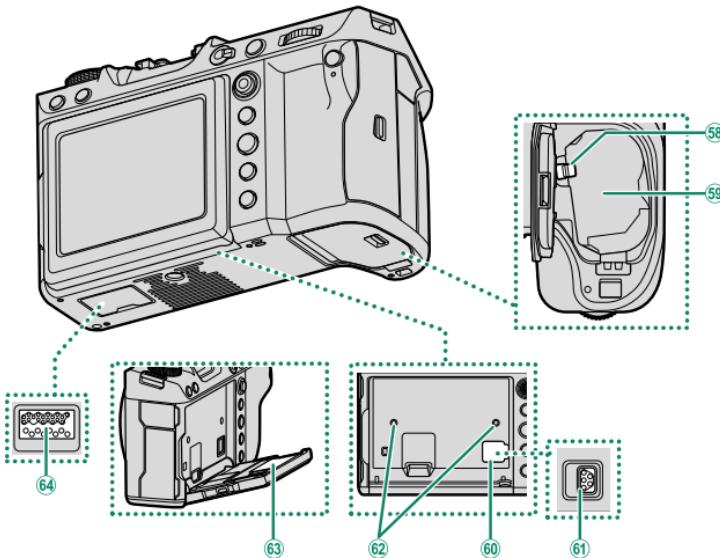


① サブ液晶モニター照明ボタン	31	⑯ Fn6 ボタン	385
② Fn4 ボタン	385	⑯ Fn5 ボタン	385
③ サブ液晶モニター	28	⑯ フロントコマンドダイヤル	
④ マイク	68	⑯ 電源レバー	54
⑤ ホットシュー	401	⑯ シャッターボタン	62
⑥ ダイヤルロック解除ボタン	60, 68	⑯ Fn1 ボタン	385
⑦ モードダイヤル	7	⑯ Fn2 ボタン	385
⑧ 静止画/動画切替スイッチ	8, 60, 68	⑯ Fn3 ボタン	385
⑨ ストラップ取り付け部	40	⑯ ホットシューカバー	401
⑩ LAN 端子カバー		⑯ ボディキャップ	41
⑪ 端子カバー		⑯ LAN 端子	
⑫ AF 補助光ランプ	152	⑯ マイク/リモートリリーズ端子	
セルフタイマーランプ	164	(Φ 3.5mm)	71, 85
タリーランプ	192	⑯ HDMI 端子 (Type A)	64
⑬ シンクロターミナル	402	⑯ USB 端子 (Type-C)	50
⑭ レンズ信号接点		⑯ USB ケーブル固定ねじ穴	
⑮ レンズ取り外しボタン	41	⑯ ケーブルプロテクター固定ねじ穴	

!
⑯ 別売のリモートリリーズ RR-100 を使用するときは、市販の 3 極
Φ 2.5 mm → 3 極 Φ 3.5 mm 変換アダプターが必要です。



③② DRIVE ボタン	8	④⑥ ▶ (再生) ボタン	63
③③ □ (消去) ボタン	66	④⑦ スピーカー	73, 341
③④ フォーカスマード切換レバー	93	④⑧ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン	32
③⑤ AFON ボタン	111, 385	④⑨ AEL (AE ロック) ボタン	111, 385
③⑥ リアコマンドダイヤル	9, 218, 358	④⑩ フォーカスレバー	6, 98, 357
③⑦ Q (クイックメニュー) ボタン	379	④⑪ 三脚用ねじ穴	
③⑧ インジケーターランプ	10, 192	④⑫ 縦位置バッテリーグリップ用	
タリーランプ	192	端子カバー	411
③⑨ ヘッドホン端子カバー		④⑬ チルトロック解除ボタン	11
③⑩ メモリーカードスロットカバーロック	45	④⑭ チルト式液晶モニター (LCD)	11, 18, 20
メモリーカードスロットカバー		タッチパネル	34, 162, 203
(着脱可)	6, 45	④⑮ ヘッドホン端子 (Φ 3.5mm)	207
③⑪ バッテリーカバーロック	43	④⑯ メモリーカードスロット 1	
③⑫ 縦位置バッテリーグリップ用フック穴		(CFexpress Type B カード用)	
③⑬ バッテリーカバー	43	④⑰ メモリーカードスロット 2	45
③⑭ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン	22, 216	(SD メモリーカード用)	45



58 バッテリー取り外しつまみ	44	62 冷却ファン固定ねじ穴	416
59 バッテリー挿入部	43	63 銘板プレート	6
60 冷却ファン用端子カバー	416	64 縦位置バッテリーグリップ用端子	
61 冷却ファン用端子	416		411

ケーブルプロテクターについて

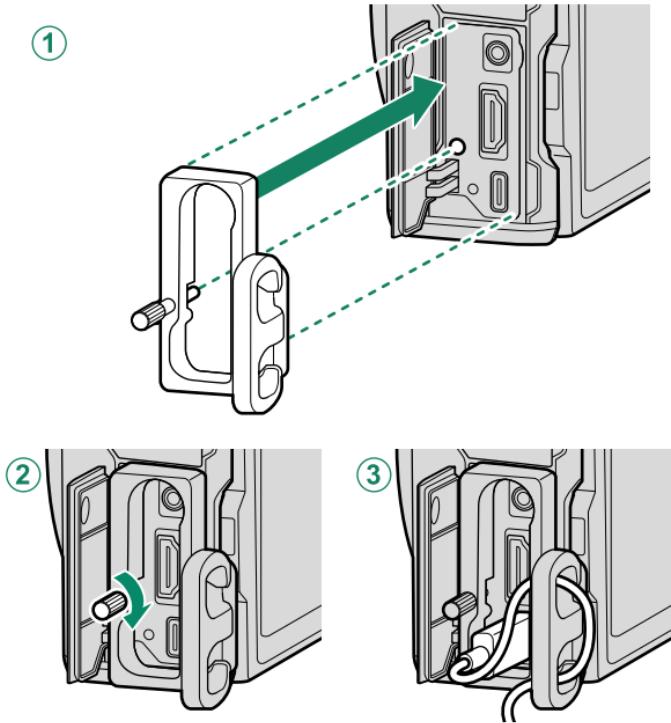
ケーブルプロテクターを使用するとケーブルが抜けることを防止できます。

ケーブルプロテクターは、図のようになります。

① ケーブルプロテクターの穴に USB 端子カバーを差し込みます。

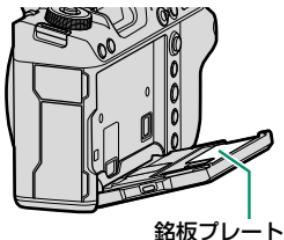
② ケーブルプロテクターのネジを回して固定します。

③ ケーブルを差し込んで、図のようになります。



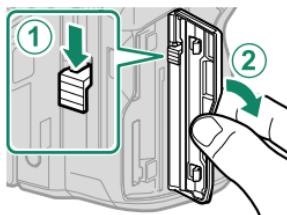
銘板プレート

銘板プレートにはCMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。



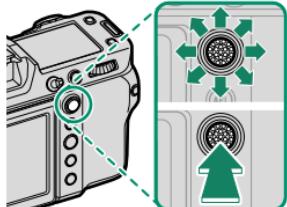
メモリーカードスロットカバー（着脱可）

メモリーカードスロットカバーは、内側にあるレバーを下げると取り外せます。カメラ用のリグを取り付けて動画撮影をするときなど、カバーの開閉が困難な場合に取り外して撮影できます。



フォーカスレバー

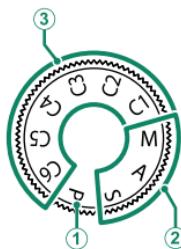
フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



 フォーカスレバーの設定は、フォーカスレバーを中央に長押しするか、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスレバー設定**で変更できます。

モードダイヤル

モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせると、撮影モードを設定できます。

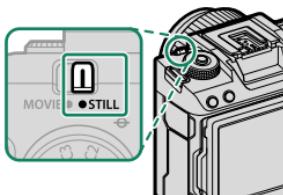


モードダイヤル	内容	
① P (プログラム)	プログラムシフトができるオートモードです。	76
② S (シャッタースピード優先) A (絞り優先) M (マニュアル)	シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます。	78 80 82
③ C1/C2/C3/C4/C5/C6 (カスタム 1/2/3/4/5/6)	あらかじめ登録しておいた設定で撮影できます。	86

① モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

静止画 / 動画切替スイッチ

静止画を撮影するときは静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。動画を撮影するときは **MOVIE** に合わせます。



DRIVE ボタン

DRIVE ボタンを押して、撮影の設定を変更できます。静止画 / 動画切替スイッチの設定によって、表示される項目が異なります。

- 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせているときに **DRIVE** ボタンを押すと、ドライブモードを選びます。



ドライブモード		書
	1 コマ撮影	76
	CH 高速連写	117
	CL 低速連写	117
	ISO ブラケティング	113
	ホワイトバランス BKT	113
	ブラケティング	114
	多重露出	119

ドライブモード		書
	ピクセルシフトマルチショット リアルカラー	121
	ピクセルシフトマルチショット 高解像度 + リアルカラー	121

- 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に合わせているときに **DRIVE** ボタンを押すと、動画の設定を変更できます。

設定項目
画像サイズ
アスペクト比
フレームレート

コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
		
回転	<ul style="list-style-type: none"> メニュータブ、ページの切り替え 絞り値の変更^{*1, 2} 前後の画像を表示（再生時） 	<ul style="list-style-type: none"> メニュー項目の選択 プログラムシフト シャッタースピードの変更^{*1, 4} 露出補正^{*1}（露出補正を割り当てたファンクションボタンを押しながら回転） クイックメニューの設定値を変更 フォーカスエリアのサイズ変更 画像を再生ズーム（再生時） 画像をマルチ再生（再生時）
中央押し	<ul style="list-style-type: none"> 絞り値、ISO 感度の切り替え^{*2} ■操作ボタン・ダイヤル設定>コマンドダイヤル設定切り替え（長押し） 	<ul style="list-style-type: none"> ピント位置拡大表示^{*3} マニュアルフォーカス時にMFアシストの設定切り替え（長押し）^{*3} ピント位置拡大表示（再生時）

*1 **■**操作ボタン・ダイヤル設定>コマンドダイヤル設定で設定を変更可能

*2 絞りリングに**A**ポジションや**C**ポジションがあるレンズで、絞りリングを**A**ポジションまたは**C**ポジションに設定しているとき

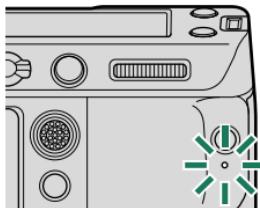
*3 ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているときのみ

*4 シャッタースピードがオート以外のとき

 コマンドダイヤルを回す方向は、**■**操作ボタン・ダイヤル設定>コマンドダイヤル回転方向で設定できます。

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録中、または ■表示設定 > 撮影画像表示が OFF 以外のときに確認 画面を表示しています（続けて撮影できます）。 電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影で きません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

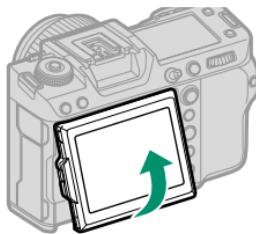
* 転送予約した画像がある場合



- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーを覗いているときは、インジケーターランプは点灯 / 点滅しません。
- 動画設定 > タリーランプで、動画の記録中に点灯するランプを
インジケーターランプから AF 補助光ランプに変えたり、点灯または点滅の設定を変更できます。

液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。



液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- ・タッチ操作による撮影 (図 35)
- ・フォーカスエリアの変更 (図 34)
- ・タッチファンクション (図 37)
- ・動画専用操作モード (図 36)
- ・再生時の画面操作 (図 38)

縦向きチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。縦位置（ローアングル / ハイアングル）撮影に便利です。

- ・チルトロック解除ボタンを押して、見やすい角度に調整してください（図 1）。
- ・縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります（図 2）。

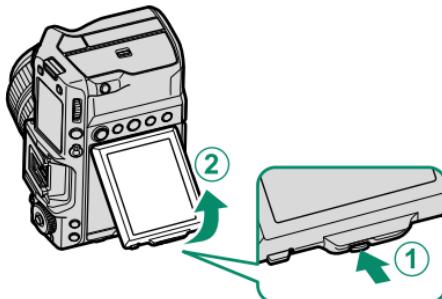
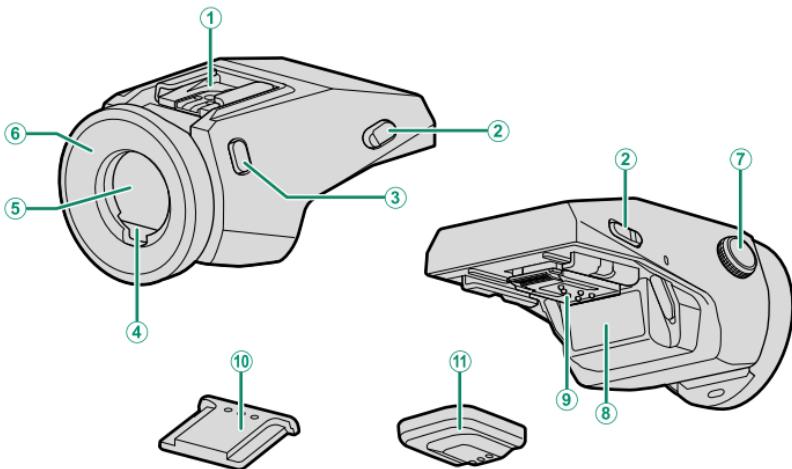


図 1



図 2

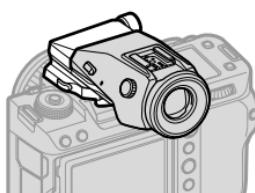
交換式ファインダーの各部名称と機能



- | | | | |
|------------------------|---------|-------------|----|
| ① ホットシュー | 397、403 | ⑦ 視度調節ダイヤル | 15 |
| ② EVF ロック解除ボタン | 13 | ⑧ 銘板プレート | |
| ③ VIEW MODE ボタン | 20 | ⑨ 接続端子 | 13 |
| ④ アイセンサー | 21 | ⑩ ホットシューカバー | |
| ⑤ ファインダー (EVF) | 16、20 | ⑪ 端子カバー | |
| ⑥ アイカップ (ロック式) | 14 | | |

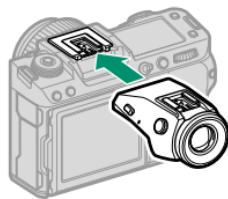
ファインダーについて

別売の EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右 ($\pm 45^\circ$)、上下 ($0^\circ \sim 90^\circ$) に変更できます (図 397)。



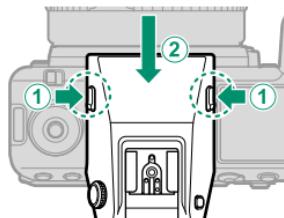
ファインダーの取り付け方

ファインダーを使用すると、被写体をしっかりととらえて撮影しやすくなります。ホットシューカバーを取り外し「カチッ」と音（感触）がするまで押し込み、カメラに取り付けます。



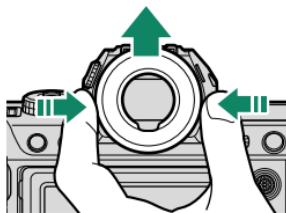
ファインダーを取り外すときは

両方のEVFロック解除ボタンを押しながら（①）、正面側を押さえて（②）ファインダーを取り外します。



アイカップ

アイカップを取り外すときは、アイカップの両側にあるボタンを押しながら上に引き上げてください。



視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーを覗きながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

- ① 視度調節ダイヤルをつまんで引き出します。
- ② ダイヤルを回して視度を調節します。
- ③ 視度調節ダイヤルを押し込んでロックします。



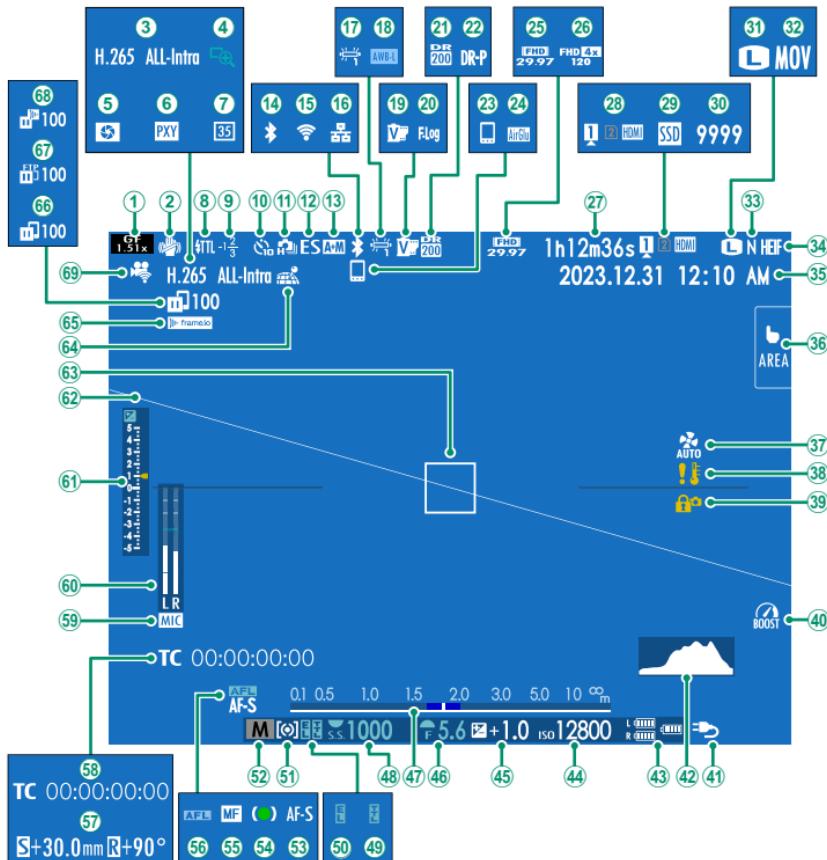
- !
① 視度調節ダイヤルは必ず引き出してから回してください。引き出さずに回すと、故障の原因になりますのでご注意ください。

撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー (EVF) / 液晶モニター (LCD) に次の情報が表示されます。

! 説明のため情報はすべて表示しています。

EVF の表示画面



- | | | |
|---------------------|-------------------|---------|
| ① 動画フォーマット・クロップ倍率 | ③ 動画圧縮方式..... | 182 |
| | | |
| ② ブレ防止 ² | ④ フォーカスチェック | 104、159 |
| | | |
| ⑤ 被写界深度確認 | | 81、103 |

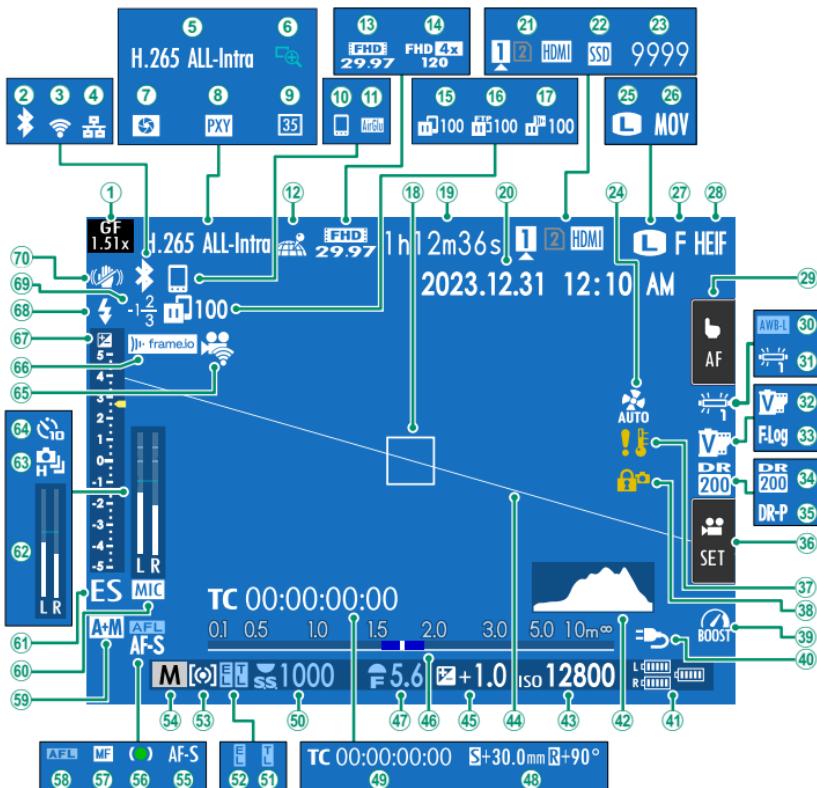
⑥ プロキシ設定 (ProRes 記録時のみ)	184	⑯ 冷却ファン設定	173, 193
⑦ 35 mmフォーマットモード	172	⑯ 温度警告	46, 463
⑧ フラッシュ (TTL モード)	403	⑯ ボタンロック ^{*3}	365
⑨ 調光補正	403	⑯ ブーストモード	367
⑩ セルフタイマー	164	⑯ 給電状態	52
⑪ 連写モード	117	⑯ ヒストグラム	26
⑫ シャッター方式	170	⑯ バッテリー残量表示	55
⑬ AF+MF ^{*2}	157	⑯ ISO 感度	106
⑭ Bluetooth ON/OFF		⑯ 露出補正	109
⑮ 無線 LAN 接続		⑯ 紋り値	77, 80, 82
⑯ 有線 LAN 接続		⑯ 距離指標バー ^{*2}	103
⑰ ホワイトバランス	136	⑯ シャッタースピード	77, 78, 82
⑱ AWB ロック	362	⑯ TTL ロック	175, 389
⑲ フィルム シミュレーション	130	⑯ AE ロック	111, 361
⑳ F-Log/HLG 撮影	186	⑯ 測光モード	108
㉑ ダイナミックレンジ	134	⑯ 撮影モード	76
㉒ D レンジ優先	135	⑯ フォーカスマード ^{*2}	93
㉓ Bluetooth 接続先	247	⑯ 合焦マーク ^{*2}	94
㉔ AirGlu BT 接続	211	⑯ マニュアルフォーカス ^{*2}	93, 101
㉕ 動画モード	68, 178	⑯ AF ロック	111, 361
㉖ ハイスピード撮影	179	⑯ シフト量 / レボルビング量	396
㉗ 動画の記録可能時間／ 記録経過時間	68	⑯ タイムコード	209
㉘ カードスロット設定	47, 370	⑯ マイク入力チャンネル	208
㉙ SSD 接続状態	49	⑯ マイクレベル ^{*2}	205
㉚ 撮影可能枚数 ^{*1}	467	⑯ 露出インジケーター	82, 109
㉛ 画像サイズ	126	⑯ 電子水準器	27
㉜ ファイル形式	182	⑯ AF フレーム	97, 110
㉝ 画質モード	127	⑯ 位置情報取得状態	373
㉞ 画像記録 HEIF	129	⑯ Frame.io 接続状態	274
㉟ 日付・時刻	56, 58, 333	⑯ 画像転送状況	247, 313
㉟ タッチパネルモード	34, 162	⑯ FTP 画像転送状況	278
⑯ リモート録画機能		⑯ Frame.io 画像転送状況	270

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

*2 **■ 表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF)** を **ON** にすると、非表示になります。

*3 **MENU/OK** ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは **MENU/OK** ボタンを再度長押しします。

LCD の表示画面



⑯ AF フレーム	97、110	⑯ 電子水準器	27
⑯ 動画の記録可能時間／記録経過時間	68	⑯ 露出補正	109
⑯ 日付・時刻	56、58、333	⑯ 距離指標バー ^{*2}	103
⑯ カードスロット設定	47、370	⑯ 紋り値	77、80、82
⑯ SSD 接続状態	49	⑯ シフト量 / レボルビング量	396
⑯ 撮影可能枚数 ^{*1}	467	⑯ タイムコード	209
⑯ 冷却ファン設定	173、193	⑯ シャッタースピード	77、78、82
⑯ 画像サイズ	126	⑯ TTL ロック	175、389
⑯ ファイル形式	182	⑯ AE ロック	111、361
⑯ 画質モード	127	⑯ 測光モード	108
⑯ 画像記録 HEIF	129	⑯ 撮影モード	76
⑯ タッチパネルモード ^{*3}	34、162	⑯ フォーカスモード ^{*2}	93
⑯ AWB ロック	362	⑯ 合焦マーク ^{*2}	94
⑯ ホワイトバランス	136	⑯ マニュアルフォーカス ^{*2}	93、101
⑯ フィルム シミュレーション	130	⑯ AF ロック	111、361
⑯ F-Log/HLG 撮影	186	⑯ AF + MF ^{*2}	157
⑯ ダイナミックレンジ	134	⑯ マイク入力チャンネル	208
⑯ D レンジ優先	135	⑯ シャッター方式	170
⑯ 動画専用操作モード ^{*3}	36	⑯ マイクレベル ^{*2}	205
⑯ 温度警告	46、463	⑯ 連写モード	117
⑯ ボタンロック ^{*4}	365	⑯ セルフタイマー	164
⑯ ブーストモード	367	⑯ リモート録画機能	293
⑯ 給電状態	52	⑯ Frame.io 接続状態	274
⑯ バッテリー残量表示	55	⑯ 露出インジケーター	82、109
⑯ ヒストグラム	26	⑯ フラッシュ (TTL モード)	403
⑯ ISO 感度	106	⑯ 調光補正	403
		⑯ ブレ防止 ^{*2}	172

*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

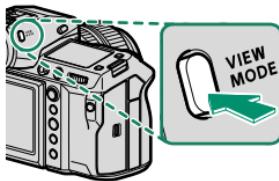
*2 **■表示設定** > **情報表示拡大モード (LCD)** を **ON** にすると、非表示になります。

*3 タッチ操作で切り替えることができます。

*4 **MENU/OK** ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは **MENU/OK** ボタンを再度長押しします。

EVF と LCD の切り替え

VIEW MODE ボタンを押すごとに、ファインダー (EVF) と液晶モニター (LCD) の表示が以下のように切り替わります。撮影時と再生時でそれぞれ切り替わります。



 セットアップメニューの **表示設定 > VIEW MODE 設定** でも EVF と LCD の表示を切り替えることができます。

撮影時

設定	内容
 SENSOR アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 SENSOR アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。セットアップメニューの 表示設定 > 撮影画像表示 で設定された内容で液晶モニターに表示されます。動画撮影時は選択できません。

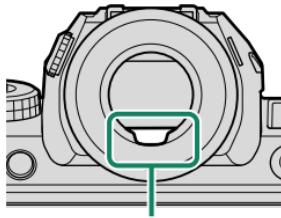
 セットアップメニューの **表示設定 > VIEW MODE 設定 > 撮影時** で **Q** ボタンを押すと、切り替わる項目を選べます。

再生時

設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。

アイセンサーについて

- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしているときはアイセンサーが無効になります。



アイセンサー

EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

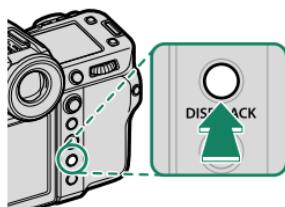
屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー (EVF) の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター (LCD) の明るさや鮮やかさを調整します。

縦表示について

表示設定 > 縦横自動回転表示を **ON** にすると、カメラを縦向きで撮影するときにファインダー (EVF) または液晶モニター (LCD) の情報表示が縦向きになります。

情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



■ EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。

ファインダー (EVF)

フル



フル (情報表示なし)



ノーマル



ノーマル (情報表示なし)



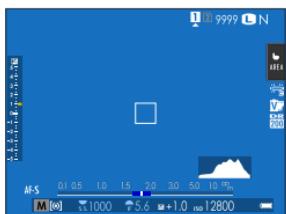
2画面



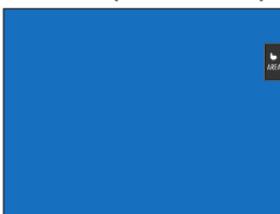
2画面はマニュアルフォーカスで静止画撮影をするときのみ使用できます。

液晶モニター (LCD)

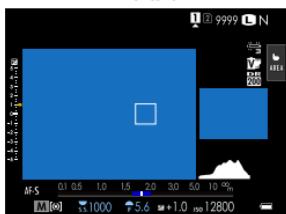
ノーマル



ノーマル (情報表示無し)



2画面



INFO画面



 2画面はマニュアルフォーカス時のみ使用できます。

2画面について

「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面（大きい画面）とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面（小さい画面）の2画面を表示します。

「ノーマル」画面の表示について

撮影時の「ノーマル」画面に表示したい項目は、**表示設定** > 画面のカスタマイズで選択できます。

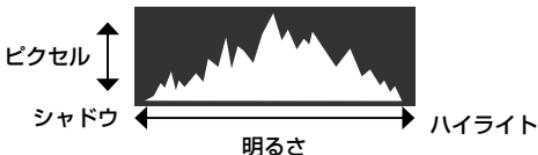
- 1 **DISP/BACK** ボタンを押して、「ノーマル」画面に切り替えます。
- 2 セットアップメニューから **表示設定** > 画面のカスタマイズを選びます。
- 3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。
 - フレーミングガイド
 - AF フレーム
 - 合焦マーク
 - AF 時の距離指標
 - MF 時の距離指標
 - ヒストグラム
 - ライブビューハイライト警告
 - 撮影モード
 - 絞り / シャッター速度 / ISO
 - 情報表示背景
 - 露出補正表示
 - 露出補正ゲージ
 - フォーカスモード
 - 測光
 - シャッター方式
 - フラッシュ
 - 連写モード
 - ブレ防止
 - タッチパネルモード
 - ホワイトバランス
 - フィルムシミュレーション
 - ダイナミックレンジ
 - ブーストモード
 - T/S レンズ シフト量
 - T/S レンズ レボルビング量
 - 冷却ファン設定
 - 撮影可能枚数
 - 画像サイズ & 画質モード
 - 動画モード & 録画時間
 - 35mm フォーマットモード
 - 通信状況
 - マイクレベル
 - ガイダンスマッセージ
 - 記録メディア無し時ガイダンス
 - 日時表示
 - バッテリー残量表示
 - 画面枠
- 4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。
- 5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

画面枠について

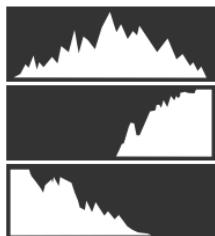
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに**画面枠**をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したもので、被写体によってグラフ形状は異なります。

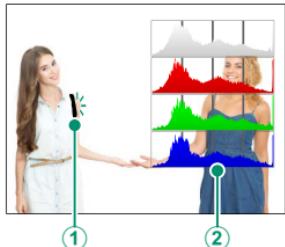


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



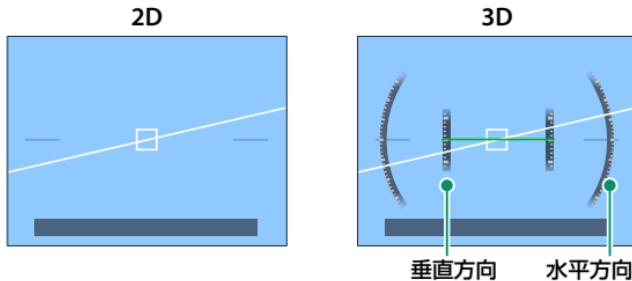
ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGB ヒストグラムとライブビュー ハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（図 358、385）。

- ①高輝度部分が点滅
- ②RGB ヒストグラム表示



電子水準器について

カメラの傾きを表示します。 **■ 表示設定 > 電子水準器設定** で表示の設定を切り替えることができます。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときに使用します。



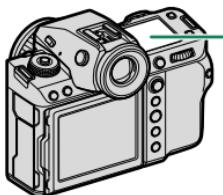
- **OFF の場合**：電子水準器を表示しません。
- **2D の場合**：水平方向の傾きを白い線で表示します。カメラが水平になると、線が緑色で表示されます。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。
- **3D の場合**：水平方向と垂直方向の傾きを表示します。



電子水準器切替を割り当てたファンクションボタンを押して、2D表示と3D表示を切り替えることができます。

サブ液晶モニター

サブ液晶モニターでシャッタースピードや絞り値、ISO感度などの設定を確認できます。静止画撮影時と動画撮影時で表示する項目が異なります。



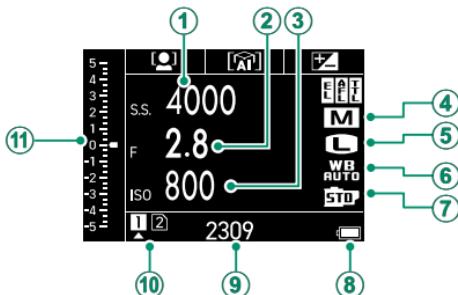
サブ液晶モニター

工場出荷時の設定

工場出荷時の設定は次のとおりです。

表示する項目は 表示設定 > サブ液晶モニター設定で変更できます。

静止画撮影時

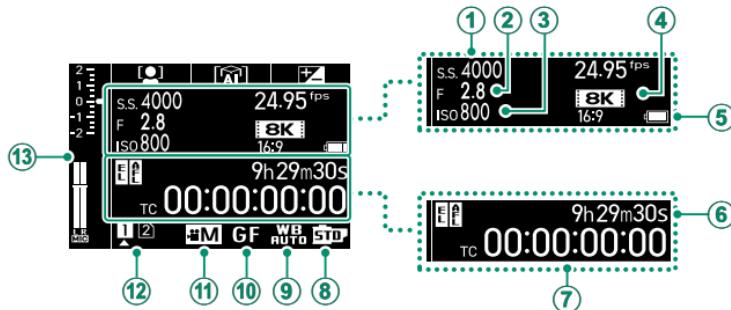


工場出荷時の設定

① シャッター速度	⑦ フィルムシミュレーション
② 絞り	⑧ バッテリー残量表示
③ ISO	⑨ 撮影枚数
④ 撮影モード	⑩ カードスロット設定
⑤ 画像サイズ	⑪ ゲージ
⑥ ホワイトバランス	

バッテリー残量表示、撮影枚数、カードスロット設定は設定では変更できません。

動画撮影時



工場出荷時の設定

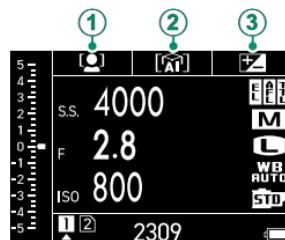
- | | |
|-------------|--------------------|
| ① シャッター速度 | ⑧ フィルムシミュレーション |
| ② 絞り | ⑨ ホワイトバランス |
| ③ ISO | ⑩ 動画フォーマット |
| ④ 動画モード | ⑪ 撮影モード |
| ⑤ バッテリー残量表示 | ⑫ カードスロット設定 |
| ⑥ 記録可能時間 | ⑬ 露出補正ゲージ & マイクレベル |
| ⑦ タイムコード | |

 動画モード、バッテリー残量表示、カードスロット設定は設定では変更できません。

ファンクションボタンに割り当てられている機能の確認

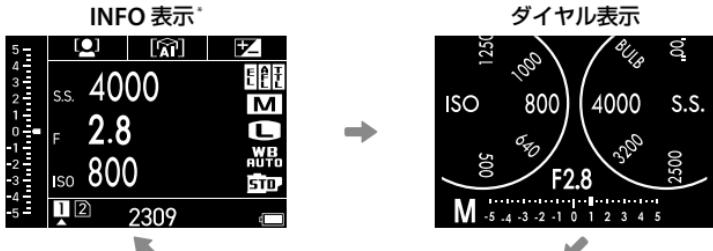
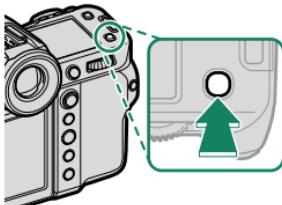
■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で Fn1 ボタン、Fn2 ボタン、Fn3 ボタンに割り当てた機能をサブ液晶モニターで確認できます。

- ① Fn1 ボタン
- ② Fn2 ボタン
- ③ Fn3 ボタン

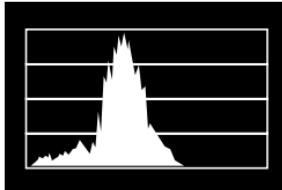


サブ液晶モニターの表示の切り替え

サブ液晶モニター切替ボタンを押すごとに、表示が切り替わります。



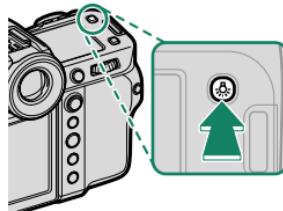
ヒストグラム



* 動画撮影時は動画の INFO 表示が表示されます。

サブ液晶モニター照明ボタン

サブ液晶モニターが見えづらいときなどは、サブ液晶モニター照明ボタンを押すと、サブ液晶モニターの照明が点灯します。もう一度押すと、照明が消灯します。

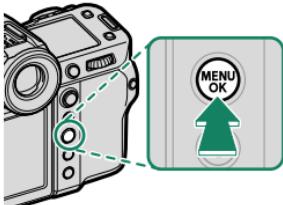


サブ液晶モニター背景色について

■表示設定 > サブ液晶モニター背景色でサブ液晶モニターの背景色を黒（黒背景）または白（白背景）に設定できます。サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

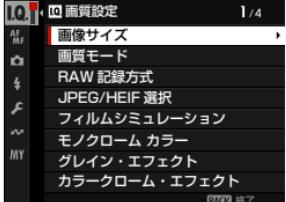
メニューの使い方

MENU/OKボタンを押すと、メニューが表示されます。



メニュー画面について

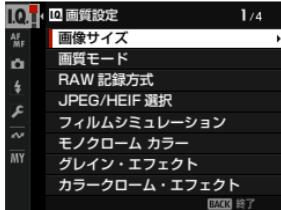
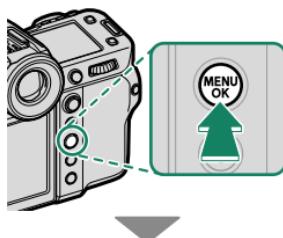
メニュー画面は静止画撮影時 / 動画撮影時 / 再生時によって表示が異なります。

撮影時	 <p>静止画 / 動画切替スイッチが STILL のとき</p>	 <p>静止画 / 動画切替スイッチが MOVIE のとき</p>	 <p>画像を再生しているとき</p>
			
			

メニュータブへの移動

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。



- 2 フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。



- 3 フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブを選びます。

- 4 フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。

 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

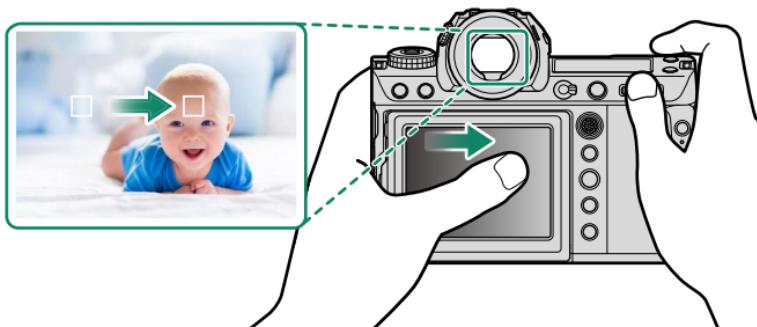
撮影時のタッチ操作について

タッチパネルを使用するときは、**■操作ボタン・ダイヤル設定** > **タッチパネル設定** > **■タッチパネル設定**を**ON**にします。



EVF 使用時のタッチ操作

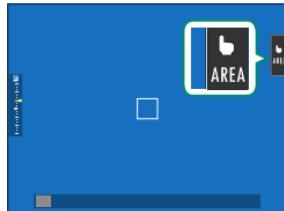
ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**■操作ボタン・ダイヤル設定** > **タッチパネル設定** > **EVFタッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定できます。



 **AF** フォーカス設定 > **被写体検出 AF 設定**が**被写体検出 ON**のときは、ピントを合わせる被写体を選べます。

LCD 使用時のタッチ操作

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチするごとに、タッチ操作を変更できます。LCD 使用時は次のタッチ操作が行えます。



タッチパネルモード	意味
AF AF OFF	<ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AFロックします。AFロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュAFの動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。
エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
OFF	タッチパネルモードを無効にします。

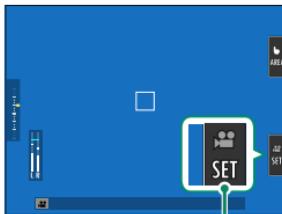
- ①
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
 - ピント位置拡大中は、タッチパネルの動作が異なります (図 163)。
- ②
- 操作ボタン・ダイヤル設定** > **タッチパネル設定** > **タッチパネル設定**が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
 - フォーカス設定** > **タッチパネルモード**でもタッチ操作を切り替えることができます。動画撮影時のタッチ操作については、「動画撮影時のタッチ操作 (タッチパネルモード: 図 203)」をご覧ください。

動画専用操作モード

撮影メニューの **動画設定** > **動画専用操作モード** を **ON** にするか、撮影画面の動画専用モードボタンを押すと、コマンドダイヤルとタッチ操作で次の撮影時の設定を変更できます。動画撮影時に、静止画撮影とは別に露出を設定したい場合や、カメラの操作音を記録したくないときに便利です。

- シャッタースピード
- 絞り
- 露出補正
- 感度
- 内蔵マイクレベル設定／外部マイクレベル設定

- 風音低減
- ヘッドホン音量
- フィルム シミュレーション
- ホワイトバランス
- ブレ防止モード
- ブレ防止モードブースト



動画専用モードボタン

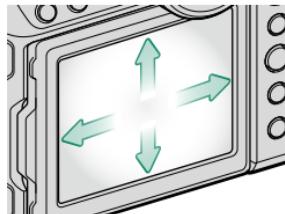


- 動画専用操作モードをオンにすると絞りリングの操作は無効になります。
- 動画専用操作モードのときに動画専用モードボタンを押すと、撮影の設定を変更したり、動画専用操作モードをオフにしたりすることができます。
- **外部マイクレベル設定**は外部マイク接続時のみ設定できます。

タッチファンクション

このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能を呼び出すことができます（図 385）。

- **T-Fn1**（画面を上フリック）
- **T-Fn2**（画面を左フリック）
- **T-Fn3**（画面を右フリック）
- **T-Fn4**（画面を下フリック）



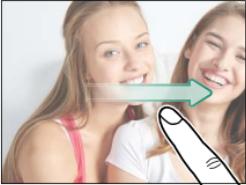
- 割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。



- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **タッチパネル設定** > **Tfn タッチファンクションを ON**にしてください。

再生時のタッチ操作について

操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > □ タッチパネル設定が **ON** のときは、1コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

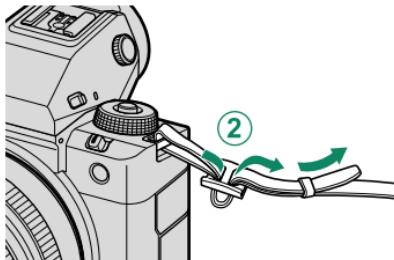
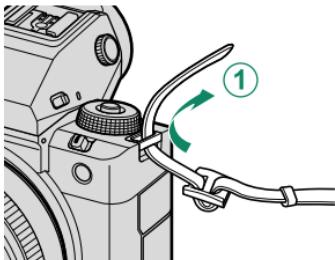
スワイプ	ダブルタップ
 <p>画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。</p>	 <p>画面を2回タップすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。</p>
マルチタッチ（ピンチアウト）	ドラッグ
 <p>画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。</p>	 <p>拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。</p>
マルチタッチ（ピンチイン）	
 <p>画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。</p>	
<p> 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。</p>	

撮影の準備

ストラップを取り付ける

カメラにストラップを取り付けます。

ショルダーストラップは、次のようにストラップ取り付け部（2箇所）に取り付けます。

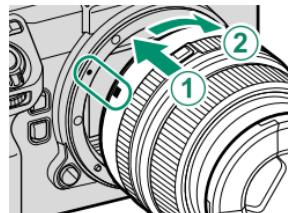


(!) ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のレンズが使用できます。

カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて (①)、矢印の方向にレンズをゆっくり回しながら (②) カメラにレンズを取り付けます。

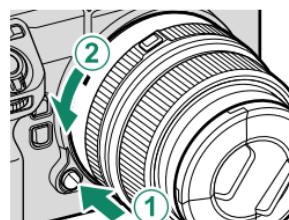


- !
 - レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
 - カメラ内部には触れないでください。
 - 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
 - レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して (①)、矢印の方向にレンズをゆっくり回してください (②)。

- !
 - レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。



別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のアクセサリーが使用できます。

① レンズを取り付けたり取り外したりするとき（レンズ交換）は、以下のことにご注意ください。

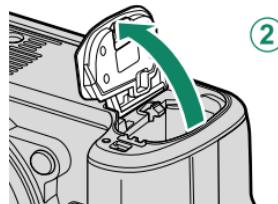
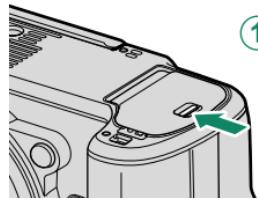
- ・ゴミやほこりの付着に注意してください。
- ・直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- ・レンズキャップを取り付けて行ってください。
- ・絞りリングなど、可動する部分を持ってレンズを回さないでください。
- ・レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。

バッテリーを入れる

カメラにバッテリーを入れます。

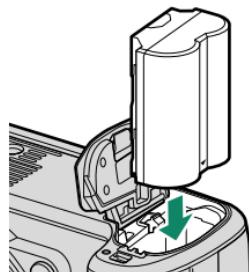
- 1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

- !
 - カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
 - バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



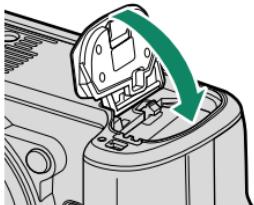
- 2 バッテリーを図のように入れます。

- !
 - バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
 - バッテリーがしっかりと固定されていることを確認してください。



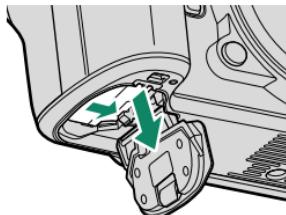
3 バッテリーカバーを閉めます。

① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。



バッテリーを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



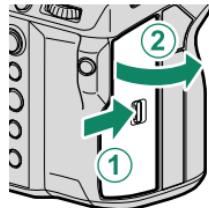
① 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを入れる

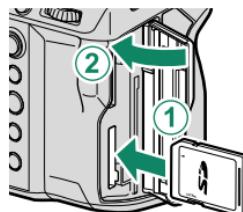
撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。

 このカメラには2つのメモリーカードスロットがあります。スロット1はCFexpressカード用、スロット2はSD/SDHC/SDXCメモリーカード用です。

- 1 メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。



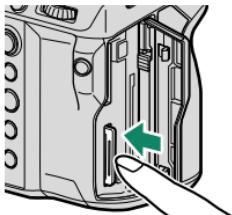
- 2 メモリーカードを入れ、メモリーカードスロットカバーを閉めます。



-  • メモリーカードのフォーマット中や、データの記録／消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
 - 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を離すと、ロックが外れて取り出せます。



- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出しがあります。指は静かに離してください。
- 画面に ! が表示されたときは、メモリーカードが熱くなっていることがあります。しばらくたってからメモリーカードを取り出してください。

2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、**■ 保存設定 > カードスロット設定**で変更できます。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 ■ 保存設定 > スロット選択 (■ 順次記録時) で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像やHEIF画像をそれぞれ保存します。この設定は ■ 画質設定 > 画質モード が、 SUPER FINE+RAW 、 FINE+RAW 、 NORMAL+RAW のときのみ有効です。	 RAW+JPEG  RAW+HEIF

動画の記録先スロットは、**■ 動画設定 > メディア記録設定**で変更できます。

使用可能なメモリーカード

- このカメラは、CFexpress Type B カードおよび SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I/UHS-II に対応しています。
- 高速連写撮影をするときは、CFexpress カードまたは UHS-II のメモリーカードをおすすめします。
- 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります（図 72）。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。

- !**
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
 - メモリーカードにデータを記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。
 - メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
 - 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
 - メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
 - メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
 - カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パーソナルコンピューターやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



メモリーカードの代わりに外付け SSD を使用する

このカメラでは SSD に静止画や動画を記録することができます。USB 端子に SSD を接続すると、画面にアイコンが表示され、記録先が自動的に SSD に切り替わります。メモリーカードに記録する場合は、カメラの電源をオフにしてから SSD を取り外してください。



-  再生時は SSD を接続していても  **再生メニュー** > **スロット切り替え**で再生する SSD やメモリーカードを選択できます。

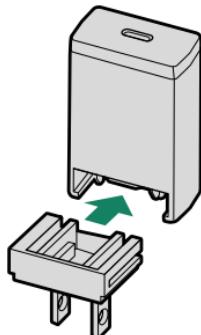
バッテリーを充電する

安全上の理由から、ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。

- ①
- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W235 です。
 - 充電時間は約 180 分です。

1 AC パワーアダプターにプラグアダプターを取り付けます。

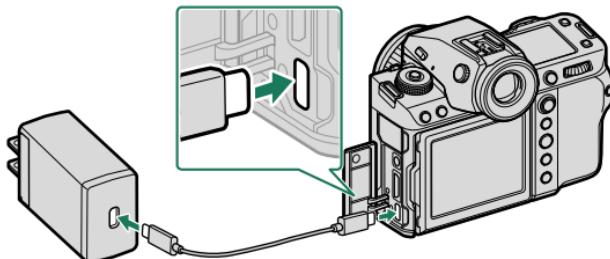
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、プラグアダプターを確実に奥まで差し込みます。



- ①
- 付属のプラグアダプターは、AC パワー アダプター AC-5VJ 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。
 - プラグアダプターは、仕向け国によって形状が異なります。

2 バッテリーを充電します。

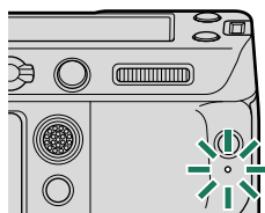
カメラと AC パワーアダプターを付属の USB ケーブルで接続します。AC パワーアダプターを屋内の電源コンセントに差し込みます。



- ①
- カメラの USB 端子 (Type-C) に USB ケーブルを接続します。
 - USB ケーブルは端子の奥までしっかりと差し込んでください。

充電状態の表示

インジケーター・ランプでバッテリーの充電状態を示します。



インジケーター・ランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電異常



- 付属の AC パワーアダプターは 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターが必要な場合があります）。
- AC パワーアダプター、および USB ケーブルは、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ~ 2日前）には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- AC パワーアダプターを使用しないときは、コンセントから AC パワーアダプターを抜いてください。
- バッテリーを長期間充電しないとバッテリーの品質が保持できなくなり、充電できなくなるおそれがあります。定期的に充電することをおすすめします。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなることがあります。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **Bluetooth ON/OFF** が **ON** のときはバッテリーの持続時間が短くなります。

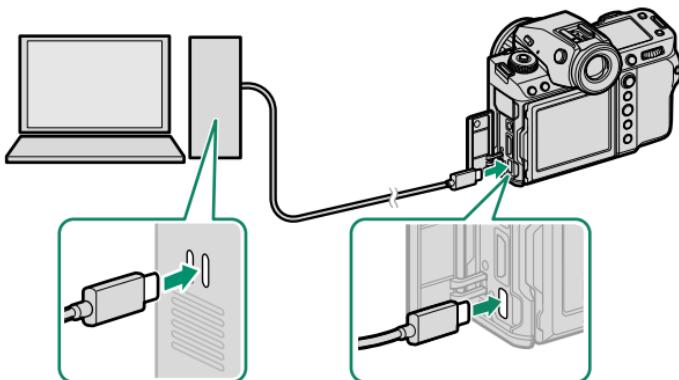


- 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、給電になります。給電中はバッテリーが少しずつ消費されます（図 328）。
- 画面に給電状態アイコンが表示されます。



パソコンに接続してバッテリーを充電する

このカメラは、USB充電に対応しています。パソコンコンピューターメーカーが動作保証するOSおよびUSBインターフェイスで使用できます。



充電するときは、パソコンコンピューターの電源をオンにしてください。

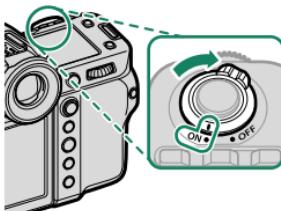


- ・カメラの電源がオンのときは充電できません。
- ・付属のUSBケーブルを接続します。
- ・USBハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンコンピューターを接続してください。
- ・充電中にパソコンコンピューターが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンコンピューターの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USBケーブルを接続しなおしてください。
- ・パソコンコンピューターの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- ・充電時間の目安は約600分です（入力5V/500mAの場合）。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



! レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- 撮影中に  (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッター ボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
-  **消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッター ボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



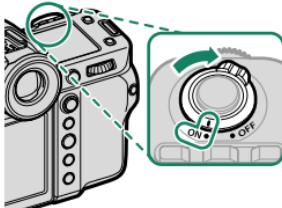
表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80% です。
	バッテリーの残量は約 60% です。
	バッテリーの残量は約 40% です。
	バッテリーの残量は約 20% です。
	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。以下の手順で初期設定を行ってください。

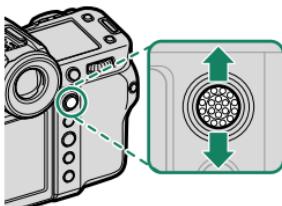
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 地域の設定画面が表示されます。

フォーカスレバーでお住まいの地域とサマータイムの設定をしてから**設定完了**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



 地域を設定しないときは **DISP/BACK** ボタンを押して設定をスキップしてください。

4 日時を設定します。



5 スマートフォンアプリケーションに関する画面が表示されます。

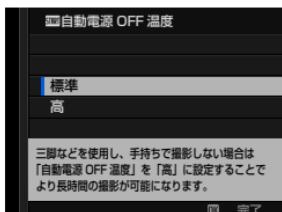
- 画面に表示されるQRコードをスマートフォンで読み取ると、スマートフォンアプリケーションをダウンロードできます。
- MENU/OK**ボタンを押すと、次の画面に進みます。

スマートフォンアプリケーションを使用すると、撮影画像の転送やカメラの操作をワイヤレスで行うことができます (図 247)。



6 自動電源 OFF 温度の設定画面が表示されます。

- カメラの温度が上昇したときに自動で電源をオフにする温度を設定できます。
- MENU/OK**ボタンを押すと、撮影画面が表示されます。



7 メモリーカードをフォーマット（初期化）します（図 332）。

未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 >  言語/LANG. を選びます。

2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押します。

設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

1  基本設定 > 日時設定を選びます。

2 日時を設定します。

フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、
フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押します。

日時が設定されます。

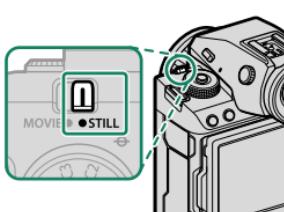
3

基本的な撮影と再生

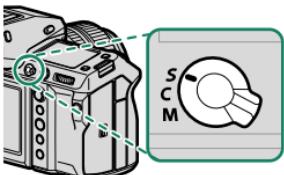
プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[図 76](#)）。

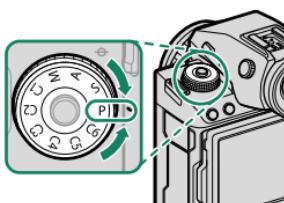
- 1** 静止画／動画切替スイッチを **STILL** に設定します。



- 2** フォーカスマード切換レバーを **S** に設定します。

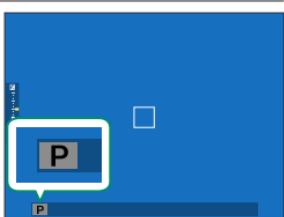


- 3** モードダイヤルを **P** に合わせます。



! モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

- 4** 撮影画面に **P** が表示されていることを確認します。



5 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。



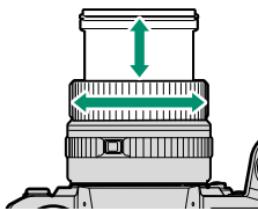
- レンズやAF補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



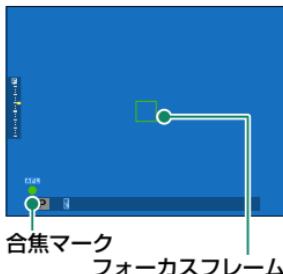
6 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



-
- 7 シャッターボタンを半押しして、被写体に
ピントと露出を合わせます。



- ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- ピントが合わないときは、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF**が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



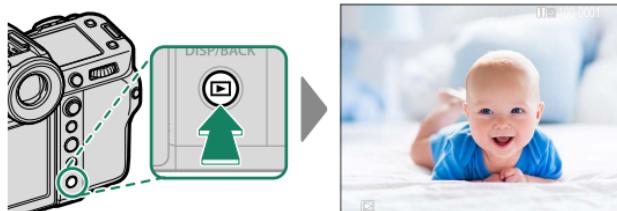
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするためにAF補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

-
- 8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

静止画を再生する

撮影した画像を再生します。

- ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。

-
- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
 - 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりするときがあります。

再生するメモリーカードについて

- ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。
回 **再生メニュー** > **スロット切り替え**からも再生するメモリーカードの切り替えができます。

HDMI 出力

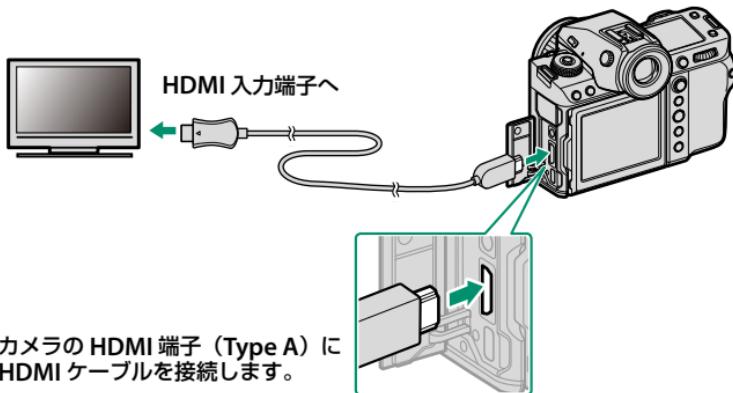
市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

1 カメラの電源をオフにします。

2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。

テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 カメラの電源をオンにします。

テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません (☞ 65)。

- !** • ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
• HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。

撮影画面の出力

ライブビューや動画をテレビに表示したり、HDMI 入力で録画できる外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして **[再生]** ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



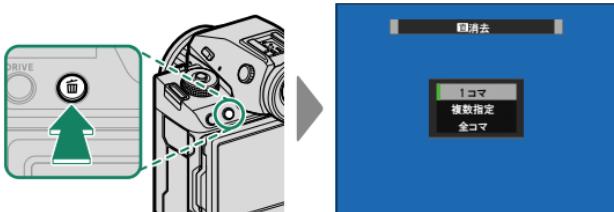
- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。

! 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1コマ再生中に  ボタンを押して、1コマを選びます。



2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。



- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (☞ 228)。
- **再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去**をご覧ください (☞ 224)。

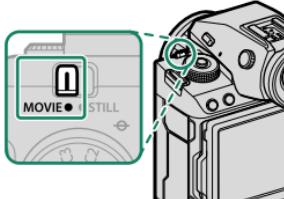
4

動画の撮影と再生

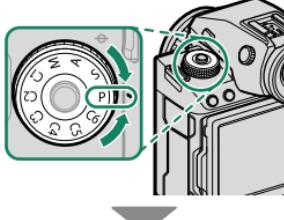
動画を撮影する

ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に設定します。



- 2 モードダイヤルを **P** に合わせます。



表示画面に **AUTO** が表示されます。

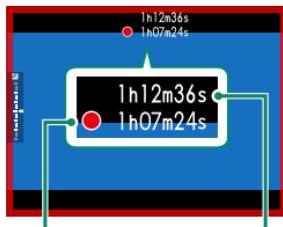


! モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影中は画面の外周が赤色で、ハイスピード撮影中は緑色で表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）と撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



動画撮影の撮影時間

動画撮影の残り時間

4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないよう注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



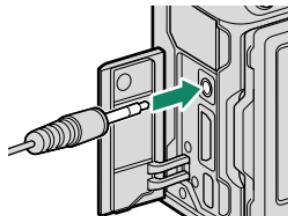
- 以下の点に気を付けることで、より長く撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る
- 動画の記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。**■ 動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケーターランプまたはAF補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中は±2の範囲で露出補正が可能で、ズームリングがあるレンズを使用している場合は、ズームリングでズーム操作を行えます。
- 動画設定 > REC 枠表示を OFF** に設定すると画面の外周の色表示をオフにできます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
 - 感度の変更
 - 次の操作によるAFのやり直し
 - シャッターボタンの半押し
 - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
 - タッチパネル操作
 - ヒストグラム**や**電子水準器切替**を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**AF フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します（ 97）。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください。

外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。
外部マイクはプラグインパワーを必要としない
φ 3.5 mm ピンで取り付けるものをご使用ください。
詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



XLRマイクアダプターについて

このカメラではティアック株式会社製 XLR マイクアダプター (TASCAM CA-XLR2d-F) を使用できます。詳しくは以下の TASCAM のウェブサイトをご覧ください。

<https://tascam.jp/jp/product/ca-xlr2d/>

動画の設定について

- 静止画 / 動画切替スイッチを **MOVIE** に設定してから **MENU/OK** ボタンを押すと、動画撮影メニューが表示されます。
- 動画モード**で動画サイズやフレームレートなどを変更できます。
- メディア記録設定**でファイル形式やビットレート、動画の記録先スロットなどを変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**AF フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定**が**顔検出 ON** または**被写体検出 AF 設定**が**被写体検出 ON** のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出 ON** や**被写体検出 ON** にしても顔検出や被写体検出は行われません。

- ① **動画設定** > **メディア記録設定**の設定によって使用できるメモリーカードが異なります。
- ProRes撮影の場合はCFexpressカードをご使用ください。
 - ビットレートが720Mbpsの場合はCFexpressカードまたはビデオスピードクラスV90以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが360Mbpsの場合はCFexpressカードまたはビデオスピードクラスV60以上のメモリーカードをご使用ください。
 - ビットレートが100Mbpsまたは200Mbpsの場合はCFexpressカードまたはUHSスピードクラス3以上のメモリーカードをご使用ください。

背景ボケを生かした動画について

絞りができるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。モードダイヤルを **A** (絞り優先)、または、**M** (マニュアル) に設定し、絞り値を調整します。

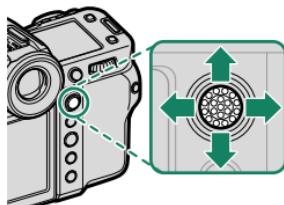
動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

□ ボタンを押して画像が再生されているときに動画を選択すると、 が表示されます。動画を選択してからフォーカスレバーを下に押すと、動画を再生できます。



動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。



	1 コマ再生中	再生中	■ 一時停止中
上	情報表示の切り替え		停止
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



① スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

-
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量** でも設定できます。
 - カメラとテレビを HDMI ケーブルで接続してから **□** ボタンを押すと、撮影した動画をカメラのかわりにテレビで見ることができます (64)。

動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。



5

撮影に関する設定

P、S、A、Mで撮影する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

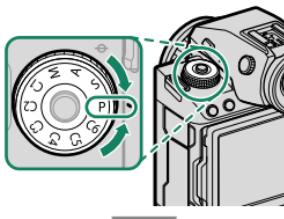
プログラム（P）撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えすることもできます。

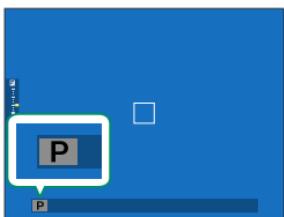
- 静止画／動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



- モードダイヤルを **P** に合わせます。



表示画面に **P** が表示されます。



- ①
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「—」と表示されます。
 - モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

プログラムシフトの設定

フロントコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



次のとき、プログラムシフトは使用できません。

- **フラッシュ設定** > **フラッシュ機能設定**の発光モードが**TTL**のとき
- **画質設定** > **ダイナミックレンジ**が**AUTO**のとき
- 動画を撮影しているとき



電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

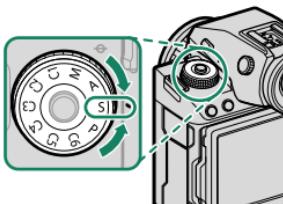
シャッタースピード優先 (S) 撮影

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

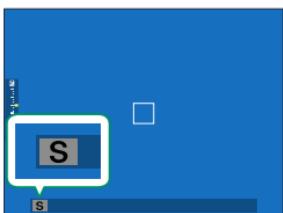
- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



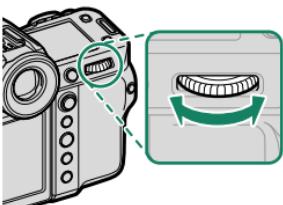
- 2 モードダイヤルを **S** に合わせます。



表示画面に **S** が表示されます。



- 3 リアコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。



- !
 - 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
 - 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「--」と表示されます。
 - モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。



- シャッターボタンを半押ししている間や **AFON** ボタンを押している間もシャッタースピードを変更できます。
- シャッタースピードを 1 秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定** > **長秒時ノイズ低減**を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。

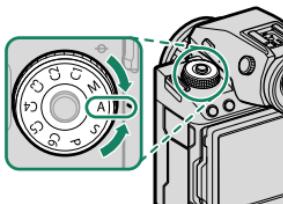
絞り優先（A）撮影

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

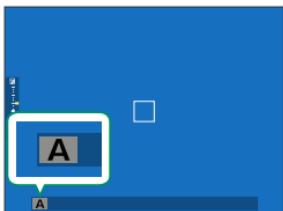
- 1 静止画 / 動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



- 2 モードダイヤルを **A** に合わせます。



表示画面に **A** が表示されます。



- 3 レンズの絞りリングを回して、絞り値を設定します。



- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定**で変更できます。



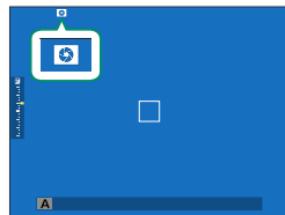
- 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
- モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。



シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます。



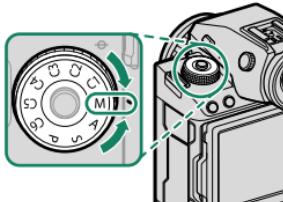
マニュアル（M）撮影

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケーターを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。

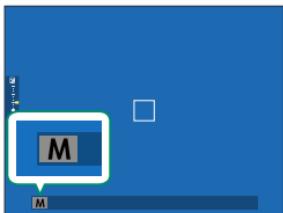
- 1 静止画／動画切替スイッチを **STILL** に合わせます。



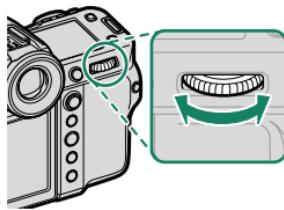
- 2 モードダイヤルを **M** に合わせます。



表示画面に **M** が表示されます。



- 3 リアコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、レンズの絞りリングを回して絞り値を設定します。



- 露出インジケーターを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。
- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングにAポジションやCポジションがあるレンズで、絞りリングをAポジションまたはCポジションに設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定**で変更できます。

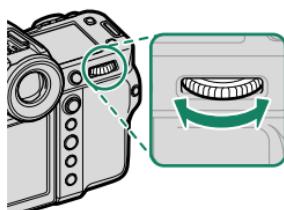


- モードダイヤルは、ダイヤルロック解除ボタンを押してロックを解除してからダイヤルを回してください。

バルブ撮影

シャッタースピードを **BULB** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

- 1 シャッタースピードを **BULB** に合わせます。



2 シャッターを全押ししている間、シャッターが開きます。

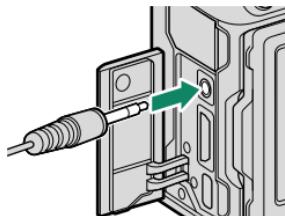
- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- シャッターボタンから指を離すとシャッターが閉じて撮影を終了します。撮影を終了すると、撮影した画像の処理を行います。処理が終わるまでの時間が表示されます。

 ドライブモードで**1コマ撮影**と**多重露出撮影**以外を選んでいるときや、
 **撮影設定** > **シャッター方式**で**電子シャッター**を選んでいるときは、バルブ撮影はできません。

 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、 **画質設定** > **長秒時ノイズ低減**を**ON**にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートレリーズを使用する

長時間露光撮影時には、リモートレリーズが便利です。マイク / リモートレリーズ端子に、市販の ϕ 2.5 mm → 3.5 mm 変換アダプターを介して、別売のリモートレリーズ RR-100 や市販の電子式リモートレリーズを取り付けます。



 マイク / リモートレリーズ端子にリモートレリーズを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。MENU/OKボタンを押して、マイク / リモートレリーズ設定を  リモートレリーズに設定してください。

マイク / リモートレリーズの設定を確認してください
OK 決定 BACK キップ

露出設定プレビューについて

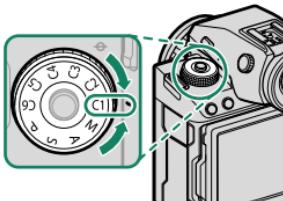
 表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映が露出反映 / WB 反映のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



 フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わるのは、マニュアル時モニター露出 / WB 反映を露出反映 / WB 反映以外にしてください。

カスタムモード

モードダイヤルを **C1** (カスタム 1) から **C6** (カスタム 6) のいずれかに合わせると、あらかじめ登録しておいた撮影メニューの設定で撮影できます。



現在の設定を反映する

現在の撮影メニューの設定をカスタム登録できます。

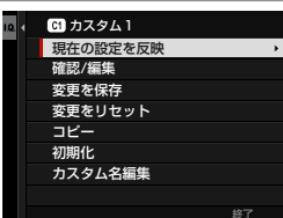
1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

動画の設定を登録する場合は、動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** で登録します。

2 現在の設定を反映したい場所を **C1** ~ **C6** から選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 現在の設定を反映選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



4 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。

現在の撮影メニューの設定が保存されます。



カスタム設定の内容を変更する

選んだカスタム設定の内容を変更して保存できます。

1 撮影メニューから 画質設定 > カスタム登録 / 編集 を選び、MENU/OK ボタンを押します。

 動画の設定を変更する場合は、動画撮影メニューの 動画設定 > カスタム登録 / 編集 で変更します。

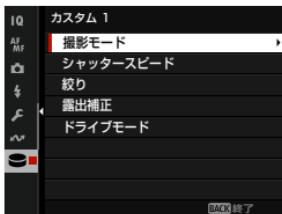
2 設定を変更したいカスタムを選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 確認 / 編集 を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 4 撮影メニューの一覧からカスタム登録したいメニューの項目を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。
- 選んだ項目の設定ができます。



- 5 **MENU/OK** ボタンを押すと、項目の設定を終了して撮影メニューの一覧に戻ります。
- 続けて別の項目を設定することができます。

- 画質設定 > カスタム登録内容の自動更新をしないに設定している場合、設定を変更した項目には赤い丸が表示され、自動的に保存されません。**
- 設定を変更した項目を選んで **Q** ボタンを押すと、選んだ項目を個別に保存できます。
 - 手順 3 の画面に戻り、**変更を保存**を選ぶと、設定を変更した項目をすべて保存できます。**変更をリセット**を選ぶと、変更をすべて保存せずに元の設定に戻します。
 - 赤い丸が付いた変更中のカスタムをコピーした場合に、変更中のカスタムがコピーの対象となります。

カスタム設定をコピーする

選んだカスタム設定の内容を別のカスタム設定に上書きできます。カスタム設定の名前を変更している場合、コピー先のカスタム名はコピー元のカスタム名と同じになります。

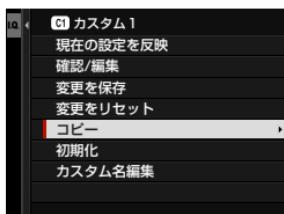
- 1 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 動画メニューをコピーするときは、動画撮影メニューの **動画設定 > カスタム登録 / 編集** を選びます。**

- 2 コピー元のカスタム設定を選び、MENU/OKボタンを押します。



- 3 コピーを選び、MENU/OKボタンを押します。



- 4 C1～C6から、コピーしたい場所を選び、MENU/OKボタンを押します。

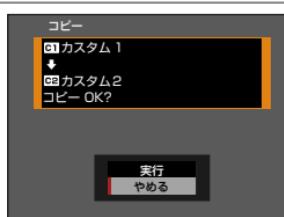
確認画面が表示されます。



すでに作成されているカスタム設定を選べば、そのカスタム設定に登録されている内容を上書きします。



- 5 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。
カスタム設定が上書きされます。



カスタム設定を初期化する

選んだカスタム設定を初期化します。

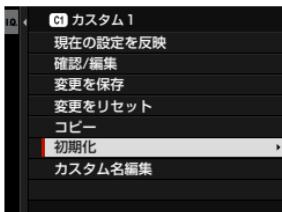
1 撮影メニューから 画質設定 > カスタム登録 / 編集を選び、MENU/OKボタンを押します。

 静止画撮影時の設定が初期化されます。動画撮影時の設定を初期化したいときは、動画撮影メニューの  動画設定 >  カスタム登録 / 編集を選んでください。

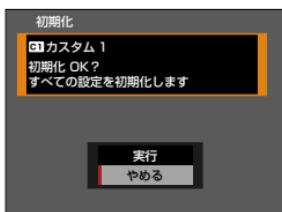
2 初期化したいカスタム設定を選び、MENU/OKボタンを押します。



3 初期化を選び、MENU/OKボタンを押します。 確認画面が表示されます。



4 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。 選んだカスタム設定が初期化されます。



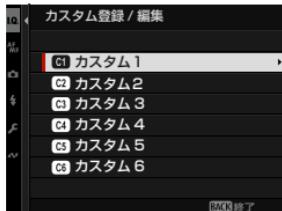
カスタム設定の名前を変更する

カスタム設定の名前を変更できます。

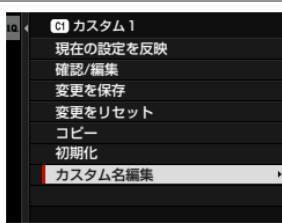
- 1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

 静止画撮影時の名前が変更されます。動画撮影時の名前を変更したいときは、動画撮影メニューの **動画設定** > **カスタム登録 / 編集** を選んでください。

- 2 名前を変更したいカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 カスタム名編集を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



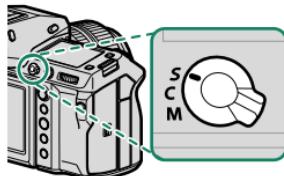
- 4 カスタム設定の名前を入力して設定を選びます。

カスタム設定の名前が変更されます。

オートフォーカス撮影

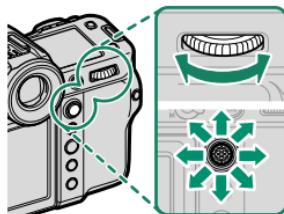
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを S または C に設定します (図 93)。



- 2 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > AF モードから AF モードを選びます (図 95)。

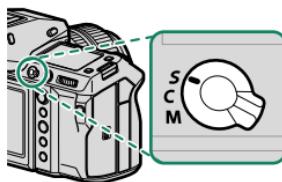
- 3 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (図 97)。



- 4 撮影します。

フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



フォーカスモードの種類

フォーカスモード	内容
S (AF-S)	シングルAFで撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
C (AF-C)	コンティニュアスAFで撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
M (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します(図101)。

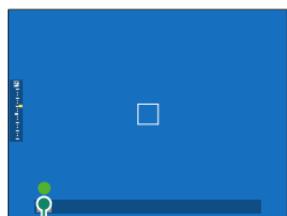


- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**AF MODE** フォーカス設定 > ブリAFを **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	S のときにピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	C のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	M のときに表示されます。



AF モードの選択

フォーカスモードと AF モードの組み合わせで、さまざまな撮影シーンに応じたフォーカス設定を選択できます。

AF モードの設定方法

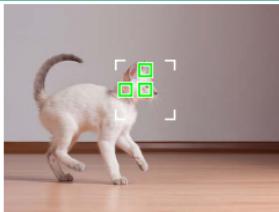
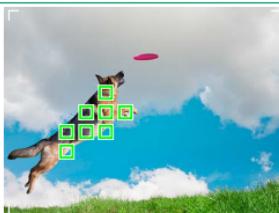
1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

2  フォーカス設定 > AF モードを選びます。

3 設定する AF モードを選びます。

AF モードの種類

- フォーカスモードが S (AF-S) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンにピントを合わせます。	
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (97、99)、  フォーカス設定 > AF モード オール設定で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

• フォーカスモードが C (AF-C) のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせ続けます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向いたAFモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンに常にピントを合わせ続けます。	
 ト r r a c k i n g	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (97, 99)、  フォーカス設定 > AF モードオール設定で設定したフォーカスエリアを選択できます。	

フォーカスエリアの変更

フォーカスモードが **S** または **C** のときのフォーカスエリアを変更できます。

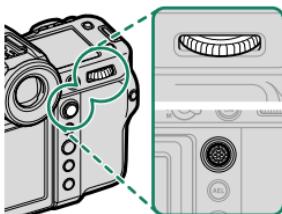
1 フォーカスエリアの変更方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
- 3 フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。

 タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (図 34)。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。AFモードの設定によって操作が異なります。



AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
	8方向移動	中央押し	回す	中央押し
■	移動した方向に フォーカスエリア が移動	フォーカスエリア が中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100%に戻る
□				なし
□				



- ワイド / トラッキングのフォーカスエリアは、フォーカスモードが C のときのみ有効です。
- DISP/BACK ボタンを押してフォーカスエリアを中央に戻すこともできます。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面はAFモードの設定によって異なります。



- 小さな四角（□）ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。
- ゾーンカスタム1、ゾーンカスタム2、ゾーンカスタム3は フォーカス設定 > ゾーンカスタム設定で設定できます。

AF フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えで フォーカスエリアポイント の点数を 117 と 425 から 選べます。	117のフォーカスエリア ポイントを 3×3 、 5×5 、 7×7 、ゾーンカスタム1、 ゾーンカスタム2、ゾーン カスタム3から選べます。	コンティニュアスAFで トラッキングしたい被写体の 位置にフォーカスエリアを 移動できます。

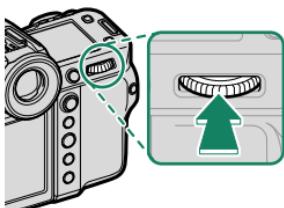
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AFフレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

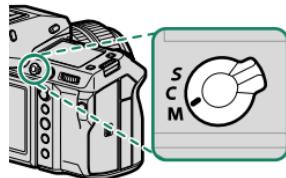


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF モード**を **□ シングルポイント**に設定してください。
- フォーカスモードが **C** または **■ フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、**■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他の機能を割り当てるることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てる 것도できます (☞ 385)。

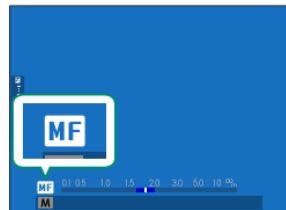
マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

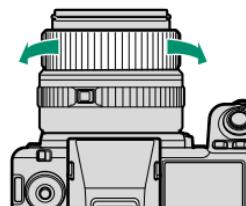


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。



- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリング**で設定できます。
- レンズ側で **M**（マニュアルフォーカス）を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M**（マニュアルフォーカス）で撮影できます。

マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

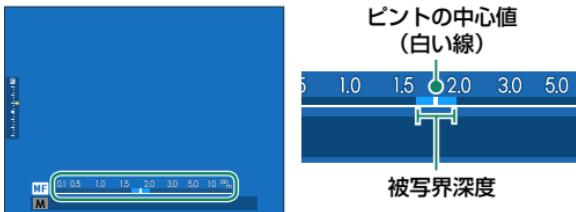
- AFロックまたは**AF-ON**が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定** >  **ワンプッシュ AF 時の動作**で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C** (コンティニュアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定** > **距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
 - 表示設定** > **画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に を入れる。
 - DISP/BACK** ボタンを押して、ノーマル（情報表示あり）画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を **フォーカス設定** > **被写界深度スケール**で設定できます。フィルム基準はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、ピクセル基準はパーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

【拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

■ **フォーカス設定 > フォーカスチェックをON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- 拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、MFアシストにデジタルスプリットイメージまたはデジタルマイクロプリズムを設定しているときは、倍率変更できません。

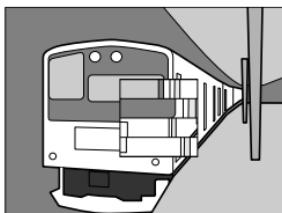
【画面に表示された画像で確認する

ピントの確認方法を静止画撮影メニューの **■ フォーカス設定 > MFアシスト** (■ 158) または動画撮影メニューの **■ フォーカス設定 > MFアシスト** (■ 201) で選べます。

- 静止画撮影時と動画撮影時で使用できるピントの確認方法が異なります。

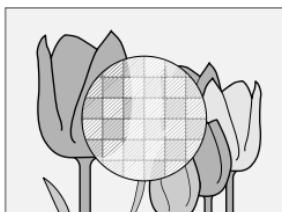
● デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



● デジタルマイクロプリズム

ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。



● フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



● フォーカスメーター

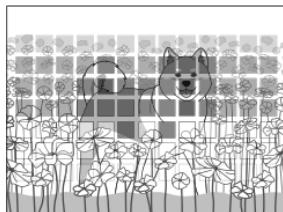
フォーカスエリアの下に矢印が表示され、被写体の前後どちらにピントが合っているかを示します。矢印が左を指しているときは被写体より手前に、右を指しているときは被写体の後ろにピントが合っています。矢印が真上を指すようにフォーカスを調整してください。



操作ボタン・ダイヤル設定 > フォーカスリングを 反時計回りに設定すると、矢印の表示は左右逆になります。

● フォーカスマップ

フォーカスエリアポイントに四角の指標が表示され、ピントが合っているポイントと合っていないポイントを色で示します。被写体にピントが合っているポイントや被写体と同じ距離のポイントには緑色の指標が表示されます。ピントの位置よりも手前のポイントには黄色の指標、後ろのポイントには青色の指標が表示されます。



- 動画撮影メニューの フォーカス設定 > MF アシストで指標の色をモノクロに変更できます。このとき、ピントの位置よりも手前のポイントには白色の指標、後ろのポイントには黒色の指標が表示されます。
- オートフォーカスが苦手な被写体では指標が表示されないことがあります (☞ 99)。

ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

ISO 感度を割り当てた **Fn** ボタンを押すと ISO 感度の設定画面が表示されます。

設定	説明
AUTO1	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。
AUTO2	AUTO1 、 AUTO2 、 AUTO3 にそれぞれ異なった 基準 ISO 感度 、 上限 ISO 感度 、 低速シャッター限界 を設定できます（ 107 ）。
80 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
L (40) H (25600) H (51200) H (102400)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。



- ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- 操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定**で、フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できるようにすることができます。

ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

AUTO 設定について

AUTO1、**AUTO2**、**AUTO3** を選ぶと、それぞれ異なった値の基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	80～12800		80	
上限 ISO 感度	200～12800	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/4000～30 秒、AUTO	AUTO		

基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。



- 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- 低速シャッター限界を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。

測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

■ 撮影設定 > 測光で使用する測光モードを設定します。

! 測光モードを変更するときは、 フォーカス設定 >  顔検出 / 瞳 AF 設定と被写体検出 AF 設定を OFF にしてください。

設定	説明
 マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  （マルチ）をおすすめします。
 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 スポット	画面の約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

  フォーカス設定 > 測光 & フォーカスエリア連動を ON にしているときは、フォーカスフレームの位置を測光します（[159](#)）。

露出補正

画像の明るさを調整できます。

露出補正を割り当てた **Fn** ボタンを押しながらリアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。

 **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で使用するコマンドダイヤルを変更することができます。

-  • モードによって補正段数が制限されることがあります。
• 露出補正の結果は撮影画面に反映されます。ただし、以下の設定では反映されないことがあります。
 - 露出補正量が±3段を超えたとき
 - ダイナミックレンジを **200 200%**、**400 400%**に設定したとき
 - **D レンジ優先**を強または弱に設定したとき

この場合、シャッター速度ボタンを半押しすると、補正した明るさを液晶モニターまたはファインダーで確認できます。

なお、動画モードにおいて  **ダイナミックレンジ**を **200 200%**、**400 400%**に設定、または、F-Log撮影の場合も露出補正が反映されないことがあります。この場合は撮影モードをマニュアル (**M**) にして直接露出を指定することで対応してください。

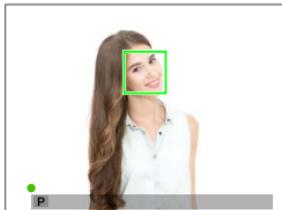
AE/AF ロック撮影

シャッター ボタンを半押しすると、明るさとピントが固定されます。

1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッター ボタンを半押しします。

被写体に露出とピントが合い、AF フレームが緑点灯します。



3 そのままシャッター ボタンを全押しして、撮影します。

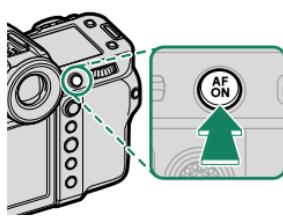
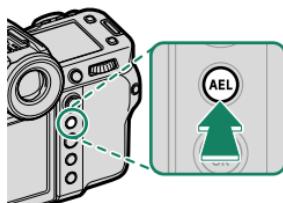
5

 シャッター ボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、 操作 ボタン・ダイヤル 設定 > 半押し AF、半押し AE を ON にしておく必要があります。

ボタンによる AE/AF ロック

AEL ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。**AFON** ボタンに **AF LOCK** のみを割り当てた場合、**AFON** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます。

- **AEL** ボタンまたは **AFON** ボタンで AE ロック / AF ロックしたときは、シャッター ボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- **■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK** 設定を押下切替にすると、**AEL** ボタンまたは **AFON** ボタンから指を離しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。



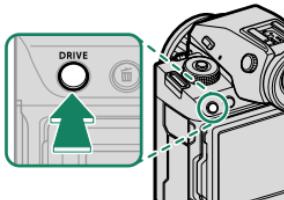
- AE ロック中にフォーカスレバーでフォーカスポイントの位置を変更することができます。
- **AEL** ボタンや **AFON** ボタンには **■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。また使用するボタンは変更できます (図 387)。

■ ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

1 **DRIVE** ボタンを押します。

ライブモード選択画面が表示されます。



2 フォーカスレバーの上下でブラケティングの種類を選びます。

ライブモード	BOOK	ライブモード	BOOK
ISO ISO ブラケティング	113	BKT ブラケティング	114
WB ホワイトバランス BKT	113		

5

撮影に関する設定

3 フォーカスレバーの左右で変化量などの設定値を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

ブラケティングの種類と設定が決定されます。

5 撮影します。

ISO ISO ブラケティング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度はドライブモード選択画面で $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 ± 1 から選べます。

WB ホワイトバランス BKT

一度シャッター ボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから ± 1 、 ± 2 、 ± 3 ステップの幅をドライブモード選択画面で設定できます。

BKT ブラケティング

■ AE ブラケティング

画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。■ 撮影設定 > **AE ブラケティング設定**で1コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序などを設定できます。

 アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定したステップ数で撮影されません。

■ フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は■ 撮影設定 > **フィルムシミュレーション BKT**で設定します。

■ DR ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。

 ISO 感度を固定値に設定しているときは自動的に ISO320 以上になります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、ISO 感度は元の設定に戻ります。

FOCUS フォーカス BKT

一度シャッターボタンを押すと、設定に応じてピントを変えながら連続で撮影されます。■ 撮影設定 > フォーカス BKT 設定で撮影の方法をマニュアルまたは AUTO から選べます。



- 撮影中は、ズーム操作を行わないでください。
- 三脚のご使用をおすすめします。

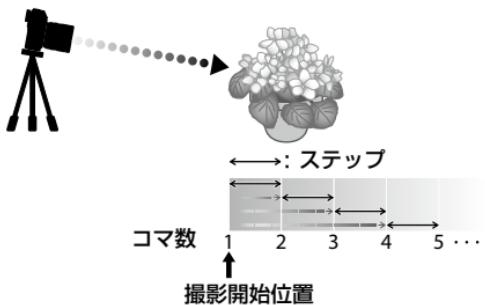
マニュアル

マニュアルを選ぶと、次の項目を手動で設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。

コマ数 / ステップとピント位置の関係について

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。



- ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- ステップの数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広くなります。
- ピント位置が無限遠に到達すると、コマ数の設定に関わらず撮影を終了します。

AUTO

AUTO を選ぶとコマ数とステップをカメラが自動で設定します。

1 撮影メニューから  撮影設定 > フォーカス BKT 設定 を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 **AUTO** を選んでから、撮影間隔を設定します。

撮影画面が表示されます。

3 被写体のもっとも手前にピントを合わせて **MENU/OK** ボタンを押します。

距離指標上に **A** が設定されます。

 もっとも遠い方を先に設定しても、ピントを合わせる範囲は変わりません。



4 被写体のもっとも遠い方にピントを合わせて **DISP/BACK** ボタンを押します。

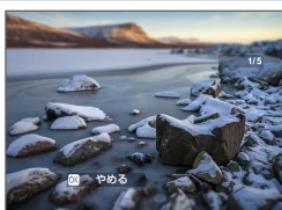
距離指標上に **B** が設定され、ピントを合わせる範囲 (**A** と **B** の間) が設定されます。

 **DISP/BACK** ボタンの代わりに **MENU/OK** ボタンを押して再度 **A** を設定することもできます。



5 撮影します。

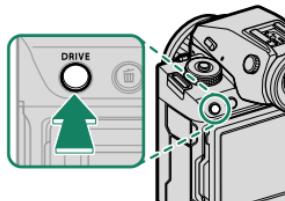
カメラがコマ数とステップを自動で設定します。撮影コマ数は撮影画面に表示されます。



連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 2 **CH** 高速連写、**CL** 低速連写のいずれかを選び、シャッターボタンを押すと連続撮影します。

シャッターボタンから指を離すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ①
- 連写中にファイル No. が 9999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
 - 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
 - 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
 - シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わることあります。
 - 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
 - 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。
 - 撮影設定** > **シャッターモード** の設定によって選べる連写の種類が異なります。

ピントや露出について

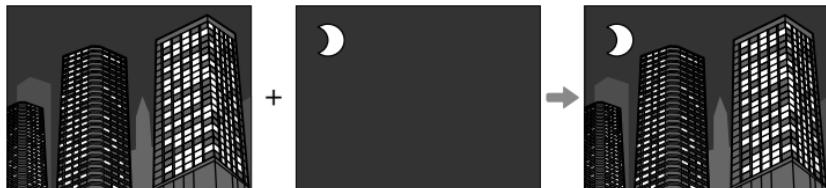
- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスマードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **半押し AE** を **OFF** にしてください。



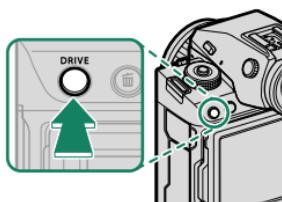
絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が有効にならない場合があります。

多重露出撮影

複数の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1 **DRIVE** ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、多重露出を選びます。



- 2 画像をどのように合成するかを選択します。

設定	説明
加算	撮影した画像の露出を加算して合成します。合成する枚数に応じてマイナスの露出補正をしてください。
加算平均	重ね合わせた画像の露出が適正になるように自動的に露出を補正して合成します。同じ構図で撮影したときは背景が適正露出になるように補正されます。
比較（明）	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも明るい部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。
比較（暗）	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも暗い部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。

- 3 1枚目の画像を撮影します。

4 MENU/OK ボタンを押します。

2枚目の撮影画面になります。

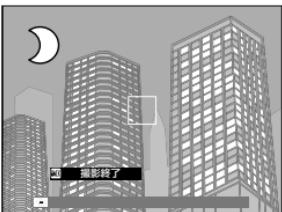


- 1枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- DISP/BACK** ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



5 2枚目の画像を撮影します。

1枚目の画像が撮影画面に薄く表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。



6 MENU/OK ボタンを押します。

2枚の画像を合成した画像が表示されて、次の画像の撮影画面になります。



- 2枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- DISP/BACK** ボタンを押すと、撮影した画像が合成され、多重露出撮影を終了します。



7 繰り返し撮影します。

一度に9枚までの画像を合成できます。

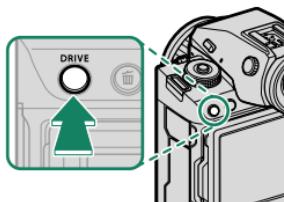
8 撮影が終わったら DISP/BACK ボタンを押します。

撮影した画像を合成した画像が保存されて、多重露出撮影を終了します。

ピクセルシフトマルチショット

ボディ内手ブレ補正を利用して、0.5画素単位でシフトした画像を4枚または16枚撮影し、それぞれRAW画像で記録できます。撮影したRAW画像はパーソナルコンピューターの専用アプリケーションで合成処理を行い、高解像のRAW画像を生成できます。

- 1** **DRIVE**ボタンを押してドライブモード選択画面を表示させ、ピクセルシフトマルチショットリアルカラーまたはピクセルシフトマルチショット高解像度+リアルカラーを選びます。



- 2** 撮影間隔を設定します。

- 撮影間隔は最短に設定することをおすすめします。
- 1枚ごとにフラッシュを発光させて撮影する場合は、撮影間隔をフラッシュのチャージ時間に合わせて設定してください。

- 3** シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- メモリーカードに撮影したRAW画像が記録されます。
- 振動を伝えないようにするため、セルフタイマーまたはリモートレリーズで撮影してください。

- 4** パーソナルコンピューターで合成処理を行います。

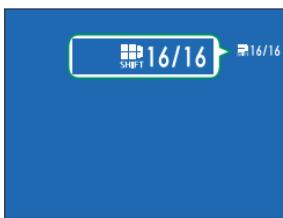
- 合成処理はFUJIFILM Pixel Shift Combinerで行えます。
- 高解像度のRAW画像の現像はCapture One社のCapture One Express for Fujifilm、Capture One for Fujifilm、Capture One Proをご使用ください。FUJIFILM X RAW STUDIO、RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIXでは現像できません。



- ・パーソナルコンピューターのソフトウェアの詳細やダウンロードは以下をご覧ください。
 - **FUJIFILM Pixel Shift Combiner :**
<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>
 - **Capture One Express for Fujifilm :**
<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>
 - **Capture One for Fujifilm :**
<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>
 - **Capture One Pro :**
<https://www.captureone.com/ja/explore-features>
- ・ピクセルシフトマルチショットはテザー撮影にも対応しています。テザー撮影は FUJIFILM Pixel Shift Combiner で行います。
- ・フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/5$ 秒 (14bit RAW 記録時)、 $1/25$ 秒 (16bit RAW 記録時) 以下です。
- ・ピクセルシフトマルチショット撮影時は、以下の制限があります。
 - 電子シャッターのみでの撮影になります。
 - ISO 感度は最大 1600 に制限されます。ISO 1600 以上または **AUTO** に設定している場合は ISO 1600 になり、ISO 1600 未満に設定している場合は、設定値のままになります。
 - **RAW 記録方式**はロスレス圧縮のみになります。
 - フォーカスマードが **C** (AF-C) の場合は、**S** (AF-S) で撮影されます。**S** (AF-S) または **M** (マニュアル) の場合は、設定されているフォーカスマードのまま撮影されます。
 - 動きのある被写体や撮影中に振動、明るさの変化がある場合は、うまく合成できないことがあります。
 - **■ 撮影設定 > フリッカー低減**は自動的に **OFF** になります。
 - 露出補正は 4 枚または 16 枚すべて同じ設定で撮影されます。

再生表示

ピクセルシフトマルチショットで撮影された画像を1コマ再生すると、ピクセルシフトマルチショットを示すアイコンが表示されます（図214）。



MEMO

6

撮影メニュー

画質設定 (静止画)

静止画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
[IQ] (画質設定) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

L 4:3	(11648 × 8736)	L 65:24	(11648 × 4304)
L 3:2	(11648 × 7768)	L 5:4	(10928 × 8736)
L 16:9	(11648 × 6552)	L 7:6	(10192 × 8736)
L 1:1	(8736 × 8736)		
M 4:3	(8256 × 6192)	M 65:24	(8256 × 3048)
M 3:2	(8256 × 5504)	M 5:4	(7744 × 6192)
M 16:9	(8256 × 4640)	M 7:6	(7232 × 6192)
M 1:1	(6192 × 6192)		
S 4:3	(4000 × 3000)	S 65:24	(4000 × 1480)
S 3:2	(4000 × 2664)	S 5:4	(3744 × 3000)
S 16:9	(4000 × 2248)	S 7:6	(3504 × 3000)
S 1:1	(2992 × 2992)		

 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えると保持されます。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
SUPER FINE	圧縮率が低い最高画質のモードです。
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像や HEIF 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **SUPER FINE**、**FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（図 385）。再度ファンクションボタンを押すか、撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている 画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
SUPER FINE	SUPER FINE+RAW
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
SUPER FINE+RAW	SUPER FINE
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

記録方式

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全に復元できます）。「Capture One Express for Fujifilm ^{*1} 」、「Capture One for Fujifilm ^{*1} 」、「Capture One ^{*1} 」、「RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX ^{*2} 」、「FUJIFILM X RAW STUDIO」などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落せずに現像できます。記録した画像は非圧縮と同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 30～90%、16bit RAW で約 45～100%になります。
圧縮	データを非可逆圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全には復元できません）。記録した画像は非圧縮とほぼ同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 25～35%、16bit RAW で約 30～40%になります。

*1 対応時期については Capture One 社のウェブサイトをご覧ください。
<https://www.captureone.com/>

*2 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>

出力

設定	説明
16 bit	16 ビットの RAW 画像を出力します。
14 bit	14 ビットの RAW 画像を出力します。

! **16 bit** はドライブモードが **1 コマ撮影** または **ピクセルシフトマルチショット** のときのみ有効です。

JPEG/HEIF 選択

記録する画像のファイル形式を JPEG と HEIF で切り替えることができます。

設定	説明
JPEG	JPEG で撮影します。再生互換性に優れたファイル形式です。
HEIF	HEIF で撮影します。圧縮効果に優れた保存形式ですが、画像の再生や転送できる環境が限られています。



- ・多重露出のときは、**HEIF** に設定していても自動的に **JPEG** に切り替わります。
- ・**HEIF** を選んでいるときは、**明瞭度**の設定は無効になります。また、**色空間**は **sRGB** になります。
- ・HEIF 画像は拡張子が「.HIF」のファイルとしてメモリーカードに保存されます。このファイルをパーソナルコンピューターで再生する場合は、ファイルの拡張子を「.HEIC」に変更してください。ただし、カメラとパーソナルコンピューターを USB 接続して画像を転送する場合、拡張子は自動的に「.HEIC」に変更されます。

フィルム シミュレーション

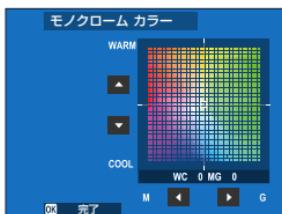
撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 ASTIA/ ソフト	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 クラシッククローム	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 REALA ACE	標準的な発色とメリハリのある階調であらゆるシーンに適します。
 PRO Neg. Hi	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
 PRO Neg. Std	やわらかな階調で肌色の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
 クラシックネガ	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 ノスタルジックネガ	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気を表現します。
 ETERNA/ シネマ	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
 ETERNA ブリーチバイパス	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。

設定	説明
 ACROS	<p>質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACROS + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 • ACROS + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 • ACROS + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 モノクロ	<p>モノクロで表現します。さらに Ye、R、G のフィルターを選んでコントラストを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モノクロ + Ye フィルター：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。 • モノクロ + R フィルター：コントラストを強調し、青空が濃くなります。 • モノクロ + G フィルター：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。
 セピア	<p>セピア調で表現します。</p> <p> • フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。</p> <p>• この設定はショートカット機能でも設定できます（図 376）。</p> <p>• フィルムシミュレーションについては、以下のウェブサイトも併せてご覧ください。</p> <p>https://fujifilm-x.com/ja-jp/tag/the-world-of-film-simulation/?post_type=xstories</p>

モノクローム カラー

フィルムシミュレーションの **A ACROS** または **B モノクロ** で撮影したモノクロの色調を、赤みがかかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。**WARM** から **COOL**、または **G**（緑）から **M**（マゼンタ）の 2 つの軸で調整できます。



グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を与えます。

強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。

粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

カラークローム・エフェクト

赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

カラークローム ブルー

青系の色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

スムーススキン・エフェクト

人物の肌をなめらかに補正します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、逆光や明暗差の大きなシーンで白とびを抑えて、より見た目に近い画像を撮影できます。

設定	おすすめ用途
AUTO (自動調整)	100 100% コントラストのある画像が撮影できます。
	200 200% 明暗差が大きいシーンでの、白とびを抑えます。
	400 400%

① ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、**100 100%** または **200 200%** で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。
- **200 200 %** は ISO 感度が ISO 160 以上 ISO 12800 以下、**400 400 %** は ISO 320 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。

設定	説明
AUTO	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
強	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
弱	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
OFF	階調補正を行いません。



- 弱は ISO 感度が ISO 160 以上 ISO 12800 以下、強は ISO 320 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- D レンジ優先が OFF 以外に設定されている場合、トーンカーブ、ダイナミックレンジは自動的に設定されるため、変更することができなくなります。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO ホワイト優先	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で白色が再現されやすくなります。
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、AUTO をおすすめします。
AUTO 霧囲気優先	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。白熱電球下で、より温かみのある霧囲気を出します。
カスタム 1	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
カスタム 2	
カスタム 3	
色温度設定	色温度を設定します。
晴れ	晴天の屋外での撮影用です。
日陰	曇天や日陰などでの撮影用です。
蛍光灯 1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯 2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯 3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。
水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO** / AUTO ホワイト優先 / AUTO 霧囲気優先 / 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の霧囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 376）。

WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK**

ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- フォーカスレバーでシフト量を調整するときは、フォーカスレバーによる斜め移動はできません。

カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。



- 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス（ \square_1 / \square_2 / \square_3 ）を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面内に表示します。



- MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
- カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。

3 シャッターボタンを全押しして設定します。



前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



- 「OVER」と表示されたときは - (マイナス) 側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは + (プラス) 側に露出補正してから、再度測定してください。

K 色温度を設定する

光源の色温度に合わせて設定します。



色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度が表示されます。



2 フォーカスレバーで色温度を調整し、
MENU/OK ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。



-  • リアコマンドダイヤルを回して 10K きざみで調整することもできます。
• 色温度は 2500K から 10000K の間で調整できます。
• シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 MENU/OK ボタンを押します。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したもので、色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

トーンカーブ

トーンカーブを参考にしながら、ハイライト部やシャドウ部の調子をそれぞれ設定できます。硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。



設定	設定値
ハイライト	-2 ~ +4
シャドウ	-2 ~ +4

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値
-4
-3
-2
-1
0
+1
+2
+3
+4

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値
-4
-3
-2
-1
0
+1
+2
+3
+4

高感度ノイズ低減

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値
-4
-3
-2
-1
0
+1
+2
+3
+4

明瞭度

ハイライト部とシャドウ部の階調をなるべく保ったまま、画像をはっきりとさせます。画像をはっきりとさせたいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値

-5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5

!! 0以外の値に設定して撮影した場合、画像処理のため保存に時間がかかります。

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値

ON

OFF

!! ON にすると、画像処理のため保存に時間がかかります。

点像復元処理

ON にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみすみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値

ON

OFF

色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影ではsRGBに設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

ピクセルマッピング

撮影画像や動画の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、 画質設定タブを選びます。

2  ピクセルマッピングを選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、ピクセルマッピングを実行します。

- !** • 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
• 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
• カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
• 処理には数十秒程度かかることがあります。

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます。保存した設定で撮影するときは、モードダイヤルを **C1** (カスタム 1) から **C6** (カスタム 6) のいずれかに合わせてから撮影します (図 86)。

カスタム登録内容の自動更新

カスタム登録の内容を自動更新できます。

設定	説明
する	カスタム設定 (カスタム 1 ~ 6) の内容を変更すると、設定内容が自動的に更新されます。
しない	カスタム登録の内容を自動更新しません。カスタム登録内容を変更する場合は手動で行います (図 87)。

■ マウントアダプター設定

マウントアダプターを装着したときの設定を行います。

 動画の設定も同時に変更されます（図 197）。

シャッター選択

レンズシャッター付きレンズをご使用の場合は、シャッター制御をボディ（カメラ本体）で行うか、レンズのシャッターで行うかを選びます。

 ご使用になるレンズによっては、機能しない場合があります。

レンズ登録

レンズ 1～レンズ 6 にそれぞれレンズの設定を登録できます。OFF を選ぶとレンズの補正は行いません。

焦点距離設定

ご使用になるレンズの実焦点距離をフォーカスレバーで設定します。



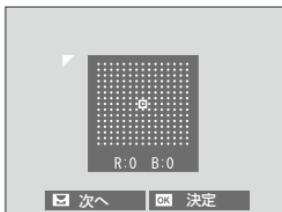
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。タル型と糸巻き型の補正を、それぞれ強、中、弱の 3 段階で補正できます。



色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。

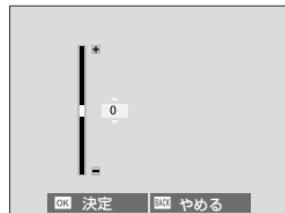


- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 フォーカスレバーで補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - レッド / シアン（横軸方向）: -9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - ブルー / イエロー（縦軸方向）: -9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。

 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5**～**+5**と**0**（ゼロ）の計11段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

レンズ名編集

レンズ名を編集できます。

フォーカス設定（静止画）

静止画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、

AF（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フォーカスエリア選択

フォーカスマードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスマードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（図 97）。

6

撮影メニュー

AF モード

フォーカスマードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します（図 95）。

ゾーンカスタム設定

AF モードがゾーンのときのフォーカスエリアの範囲を変更できます。

サブメニュー

ゾーンカスタム 1

ゾーンカスタム 2

ゾーンカスタム 3

AF モードオール設定

AF モードがオールのときに選べるフォーカスエリアを設定します。撮影スタイルに合わせて、使用したいフォーカスエリアだけを設定できます。フォーカスマードが **S**（AF-S）または **C**（AF-C）のときでそれぞれ設定できます。

サブメニュー

AF-S

AF-C

AF-C カスタム設定

フォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた **SET 1～5** を選びます。**SET 6 カスタム** で設定値を任意で設定することもできます。



設定	説明
SET 1 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適応する標準的な設定です。
SET 2 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようします。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
SET 3 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようします。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
SET 4 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようします。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
SET 5 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
SET 6 カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。SET 1～5 で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください (☞ 148、150)。

各設定の特性について

それぞれの設定は、被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値で構成されています。

被写体保持特性

AFエリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとします。



設定値

0 1 2 3 4

- ① • 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AFエリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとします。



設定値

0 1 2

- ① 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などのAFが苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

ゾーンエリア特性

ゾーンAFエリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを決める特性です。



設定	説明
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回AFではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、その後はロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。

① ゾーンエリア特性はAFモードに **■ゾーン**を選んでいるときのみ有効です。

SET 1～5 の特性について

SET 1～5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。



- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。フォーカスレバーで設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。設定画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、設定をリセットします。

- 3 **DISP/BACK** ボタンで設定を決定します。

縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときの AF モードを別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

AF ポイント表示

 **AF フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド / トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。**

設定値	
ON	
	OFF

フォーカスポイント循環

フォーカスエリアを画面の一番端まで移動したときに、画面端で止まるか、反対側の端に回り込むかを設定できます。

設定	説明
する	フォーカスエリアが画面の一番端に移動すると、反対側の端に回り込みます。
しない	フォーカスエリアが画面端で止まります。

フォーカス点数切り替え

AF モードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117 点 (9 × 13)	117 点 (9 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
425 点 (17 × 25)	425 点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ON にすると、シャッター ボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃さないときに有効です。

設定値

ON

OFF

 **ON** にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

AF 補助光

ON にすると、シャッター ボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値

ON

OFF

 • シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
• 被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
• 人の目に近づけて発光させないでください。

 動画の設定も同時に変更されます (200)。

[] 顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物の明るさが適正になるように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。



設定	説明
顔検出 ON	<p>顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  瞳 AF OFF : 顔検出のみを行い、瞳 AF は行いません。 •  瞳 AF AUTO : 顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。 •  瞳 AF 右目優先 : 顔を検出したときに優先して右目にピントを合わせます。 •  瞳 AF 左目優先 : 顔を検出したときに優先して左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。



- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
- **顔検出 ON** に設定すると、**被写体検出 AF 設定**は自動的に **OFF** になります。



- ・フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに顔を検出すると、顔の上に白い枠が表示されます。
- ・フォーカスエリア内に複数の顔を検出した場合は、カメラが自動で顔を選択します。
- ・画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる顔を変更できます。**AF モード**が **【】** ワイドのときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる顔を変更することもできます。
- ・目にピントが合っているときに**右目 / 左目切替**を割り当てたファンクションボタンを押すと、ピントを合わせる目を切り替えることができます。
- ・ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- ・撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- ・縦位置撮影時も顔を検出できます。
- ・メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- ・この設定はショートカット機能でも設定できます（**376**）。

被写体検出 AF 設定

動物や乗り物など、あらかじめ設定された種類の被写体を検出し、その被写体にピントを合わせるかどうかを設定できます。

設定	説明
被写体検出 ON	<p>被写体検出を使用します。さらに検出する被写体の種類を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物：犬、猫を検出して追尾します。 ・ 鳥：鳥、昆虫を検出して追尾します。 ・ クルマ：主にモータースポーツの車両や、車両のフロント部分を検出して追尾します。 ・ バイク & 自転車：バイクや自転車のライダーを検出して追尾します。 ・ 飛行機：飛行機のコクピットや機首、ボディ、ドローンを検出して追尾します。 ・ 電車：鉄道車両の運転室や車両前面を検出して追尾します。
OFF	被写体検出を使用しません。

被写体検出 ON に設定すると、 **顔検出 / 瞳 AF 設定**は自動的に **OFF** になります。



- フォーカスエリア内やフォーカスエリアの近くに被写体を検出すると、被写体の上に白い枠が表示されます。
- フォーカスエリア内に複数の被写体を検出した場合は、カメラが自動で被写体を選択します。
- 画面をタッチしてフォーカスエリアを移動すると、ピントを合わせる被写体を変更できます。**AF モード**が **□ ワイド**のときはフォーカスレバー操作でピントを合わせる被写体を変更することもできます。
- ピントを合わせた被写体が撮影画面から外れると、被写体が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、被写体以外の場所に白い枠が残ることがあります。
- 撮影条件によっては連写後に選択した被写体が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も被写体を検出できます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 376）。

AF+MF

ON に設定すると、AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回したときに AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF

- ①  • 距離指標付レンズをお使いの場合はレンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。

-  • フォーカスリングを回してから一定時間カメラを操作しないと、自動的に設定されているフォーカスマードに戻ります。
- **MF アシスト**のデジタルスプリットイメージとデジタルマイクロプリズムは使用できません。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

 フォーカス設定 > フォーカスチェックを **ON** にしてフォーカスリングを回すと、**AF モード**がシングルポイントのときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回して切り替えます。

MFアシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスマードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（図 104）。

設定	説明
デジタル スプリット イメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に 3 本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージはモノクロ、カラーのいずれかを選べます。
デジタル マイクロ プリズム	ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。
フォーカス ピーリング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーリングレベルの組み合わせを選べます。
OFF	通常表示です（MFアシストを使用しません）。

MFアシストフォーカスリング運動

ON にすると、マニュアルフォーカス時にフォーカスリングを回したときのみ **MFアシスト** で設定した表示が表示されます。

設定値
ON
OFF

フォーカスチェック

ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスマードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF



- ・フォーカスレバーを中央に押すと通常表示に戻ります。
- ・拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光がマルチまたはスポットのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF



ワンプッシュ AF 時の動作

フォーカスマードが **M** のときの AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。



動画の設定も同時に変更されます（ 202）。

被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パーソナルコンピューターなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

 動画の設定も同時に変更されます（[202](#)）。

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッター ボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカス モードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていなくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

 **AF+MF** が **ON** のときは、設定にかかわらずピントが合っていなくてもすぐに撮影できます。

 フォーカスリミッター

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。

設定	説明
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。
カスタム	最短距離と最長距離を指定してピントを合わせる範囲を設定できます。 • 実行：設定した範囲で撮影します。 • 設定：2つの対象物を指定して、その間の範囲にピントを合わせるように設定します。
プリセット1	あらかじめ設定されている範囲でピントを合わせて撮影します。
プリセット2	

-  • ピントを合わせる範囲を、使用するレンズの最短撮影距離よりも手前に設定した場合、フォーカスリミッターは無効になります。
- フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。
- 撮影距離範囲切り替えスイッチがあるレンズを装着すると、カメラとレンズの両方の設定が有効になります。それぞれのピントを合わせる範囲が重なるように設定してください。
-  • カスタム設定時は次の操作もできます。
- タッチパネルで2つの対象物をタッチして指定することもできます。
 - 対象物を選びかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。
 - 動画の設定も同時に変更されます（ 202）。

タッチパネルモード

液晶モニター (LCD) のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
   	<p>AF</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、タッチした被写体にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、AF OFF アイコンをタッチします。 フォーカスモードが M (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。 <p>AF OFF</p> <p>エリア選択</p> <p>OFF</p>
	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
	タッチパネルモードを無効にします。



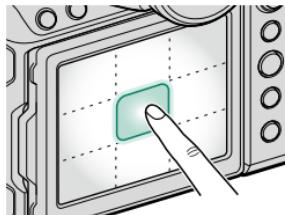
- タッチパネルの動作は AF モードによって異なります。
- 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

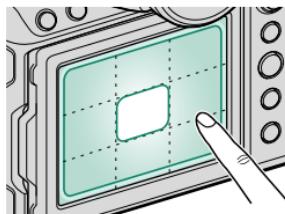
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



撮影設定（静止画）

静止画撮影時の設定を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
■（撮影設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定	説明
2秒	シャッターを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターを押すときにカメラが動くのを防ぐなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
10秒	シャッターを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

- !**
- シャッターを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかつたり、適正な明るさにならなかつたりすることがあります。
 - セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

セルフタイマー設定保持

ON にすると、電源をオフにしてもセルフタイマーの設定が維持されます。

設定値	
ON	
	OFF

セルフタイマーランプ

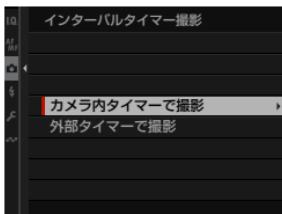
ON にすると、セルフタイマー撮影中にセルフタイマーランプが点滅します。夜景を撮影するときなどは **OFF** に設定してください。

設定値	
ON	
	OFF

インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから  撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 2 カメラ内タイマーで撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



 タイマー付きリモートリリーズで撮影するときは外部タイマーで撮影を選んでください。撮影画面に戻り、リモートリリーズで撮影ができます。

- 3 撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



4 開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



!
バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。



- 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。AC パワーアダプター AC-5VJ をご使用ください。
- インターバルタイマー撮影中に □ ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。もう一度 □ ボタンを押すか、撮影の時間になると、撮影画面に戻ります。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- インターバルタイマー撮影中で画面の表示が消えているときは、インジケーターランプが緑色に点滅します。
- 撮影回数を ∞ に設定すると、インターバルタイマー撮影設定前の画面に表示されていた撮影可能枚数まで撮影します。

インターバルタイマー撮影露出平準化

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にカメラが自動で露出を調整し、直前に撮影された画像と明るさが大きく変化しないようにします。

設定値	
ON	OFF
① <ul style="list-style-type: none">被写体の明るさが大きく変化するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合、インターバルタイマー撮影の撮影間隔を短くすることをおすすめします。マニュアル（M）撮影のときは、感度が AUTO のときのみ露出の平準化を行います。	

インターバルタイマー撮影間隔優先

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にシャッタースピードが撮影間隔よりも長くならないよう、カメラが自動でシャッタースピードを調整します。

設定値	
ON	OFF
① シャッタースピードが A （オート）のときのみ有効です。	

AE ブラケティング設定

AE ブラケティング撮影の撮影コマ数などを設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AE ブラケティングで撮影するコマ数と明るさの変化量（ステップ数）を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コマ：撮影するコマ数を選びます。 ・ ステップ：明るさの変化量を選びます。
1コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1コマ：シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。 ・ 連続：シャッターボタンを1度押すと、コマ数 / ステップ数設定の設定にしたがって連続撮影します。
撮影順序設定	AE ブラケティングの撮影順序を設定できます。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する3枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ（フィルム1、フィルム2、フィルム3）設定します（**130**）。

フォーカス BKT 設定

フォーカス BKT 撮影の方法をマニュアルか **AUTO** で選べます（**115**）。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（**108**）。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
EF 電子先幕シャッター	カメラが状況に応じて電子先幕またはメカニカルシャッターで撮影します。
ME メカニカル+電子	カメラが状況に応じてメカニカルまたは電子シャッターで撮影します。
EE 電子先幕シャッター+電子	カメラが状況に応じて電子先幕、電子、メカニカルシャッターのいずれかで撮影します。

EF 電子先幕シャッターに設定していても高速シャッターを使用すると、MS メカニカルシャッターになります。



- 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
 - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
 - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
 - シャッター音を消して撮影できますが（ 340）、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- 電子先幕シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
 - シャッタースピードが高速になるほど露光ムラが大きくなり、被写体のボケ像が欠けて写ることがあります。



電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- ISO 感度は 80 ~ 12800 に制限されます。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。ただし、ピクセルシフトマルチショット撮影時は発光します。

フリッカー低減

蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定	説明
全コマ	全コマでフリッカー低減処理を行います。1コマ目のみでフリッカー低減処理を行う場合に対し、連写速度が遅くなります。
1コマ目のみ	1コマ目のみでフリッcker低減処理を行い、2枚目以降（連写時）はその処理を継続します。連写中にフリッckerが見えてきてしまうことがあります。
OFF	フリッcker低減を行いません。



- フリッcker低減を使用すると、撮影にかかる時間が長くなります。
- 電子シャッターでは、**フリッcker低減が OFF**になります。
- 動画撮影では、使用できません。

フリッカーレス S.S. 設定

ON にすると、LED 照明などで発生するフリッcker現象の影響を低減するために、通常よりもシャッタースピードを細かく設定することができます。

設定値	
ON	
	OFF



撮影モードが **S** または **M** のときのみ有効です。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます（図 106）。

ブレ防止モード

手ブレ補正の ON/OFF を設定します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスマードが C のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。OFF のときは、  が表示されます。

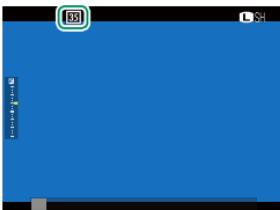


- レンズに手ブレ補正のスイッチ (OIS スイッチ) がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。

35mm フォーマットモード

撮影メニューの 撮影設定で 35mm

フォーマットモードを設定すると、画角が 35mm になり、画面の表示も変更されます。



設定	説明
ON	画角が 35mm になり、画面の表示も変更されます。
OFF	35mm フォーマットモードを使用しません。
AUTO	自動検出に対応しているマウントアダプターを装着しているときは、35mm フォーマットモードに自動で切り替わります。



- セットアップメニューの 表示設定 > 画面のカスタマイズで 35mm フォーマットモードのアイコンを表示させるかどうか (工場出荷時の設定値は 設定できます (参照 25, 349))。
- 撮影メニューの 画質設定 > 画像サイズは 3:2 固定になります。


冷却ファン設定

別売の冷却ファンの動作を設定できます（ 416）。

設定	説明
AUTO1	カメラの温度が上昇したとき、自動的に低速でファンが動作します。
AUTO2	カメラの温度が上昇したとき、自動的に高速でファンが動作します。 動作音が大きくなり、動画に記録されることがあります。
低速	低速でファンが動作します。
高速	高速でファンが動作します。動作音が大きくなり、動画に記録されることがあります。
OFF	ファンを停止します。


ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

 スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

フラッシュ設定（静止画）

静止画撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
⚡（フラッシュ設定）タブを選びます。



フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ／シンクロターミナル」をご覧ください（**400**）。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。

TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。

	<ul style="list-style-type: none"> TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに TTL-LOCK を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（385）。 ロックしていても調光補正はできます。 直前の発光条件でロックを設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。
---	--

LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光 + キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。

	フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。
---	-------------------------------

コマンダー設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

CH 設定

コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4

動画設定（動画）

動画撮影に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
■（動画設定）タブを選びます。



動画設定一覧

現在の動画撮影の設定を一覧表示します。

■ 動画のクイックメニューが表示されているときに **DISP/BACK** ボタンを押しても表示できます。

動画フォーマット

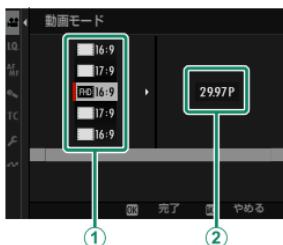
使用するレンズに応じて、撮影する動画のフォーマットを変更できます。画像サイズやアスペクト比は**動画モード**で設定します。

設定	説明
GF	GF シリーズのレンズに最適なフォーマットで撮影します。
Premista	Premista シリーズのレンズに最適なフォーマットで撮影します。
35mm	35mm フォーマットのレンズに最適なフォーマットで撮影します。
アナモフィック (35mm)	アナモフィックレンズに最適なフォーマットで撮影します。レンズの倍率や、撮影時にデスクイーズ表示するかどうかを設定できます。

- ! • **アナモフィック (35mm)** は設定された倍率に合わせて防振機能が動作します。アナモフィックレンズ以外のレンズを使用するときは**アナモフィック (35mm)**に設定しないでください。
- **アナモフィック (35mm)** でデスクイーズ表示をオンにしていても、■ 動画設定 > HDMI 出力設定の HDMI 出力情報表示が OFF のときは、HDMI 出力はデスクイーズ表示されません。

動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレートを変更できます。



- 1 撮影メニューから **動画設定** > **動画モード** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 フォーカスレバーの上下で動画の画像サイズとアスペクト比を選び(①)、フォーカスレバーを右に動かします。
選択できる設定値は**動画フォーマット**の設定によって異なります。
- 3 フレームレートを選び(②)、**MENU/OK** ボタンを押します。

設定値

23.98P | 24P | 25P | 29.97P | 50P | 59.94P



フレームレートは、動画モードによって選択できる設定値が異なります。

ハイスピード撮影

ハイスピード動画を撮影するかどうかを設定できます。素早く動く被写体の撮影や、肉眼では確認しづらい一瞬のアクションもスローモーションのような映像で楽しむことができます。**ON** を選ぶと撮影時と再生時のフレームレートをそれぞれ設定できます。

 **ON HDMI ONLY** を選ぶと HDMI 端子に接続した外部レコーダーにのみ出力することができます。このとき、再生時のフレームレートは選べません。

画像サイズ

設定値

FHD 16:9

FHD 17:9

撮影時

設定値

100P

120P

再生時

設定値

23.98P

24P

25P

29.97P

50P

59.94P

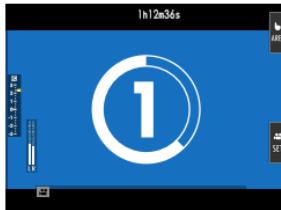


- 音声は記録されません。
- 撮影 1 秒に対し、設定されたビットレートを目標に圧縮してメモリーカードに記録します。
- 再生フレームレートによって選択できる撮影フレームレートが変わります。

⌚ セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてから録画が開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数がカウントダウン表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定値

3秒

5秒

10秒

OFF

メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式、ビットレート、プロキシ動画についての設定ができます。

メディア記録設定

動画の記録先やファイル形式、圧縮方式などを設定できます。

動画の記録先

撮影した動画の記録先や記録方法、出力先を設定できます。

設定	説明
1	メモリーカードスロット 1 にのみ保存します。
2	メモリーカードスロット 2 にのみ保存します。
1→2	メモリーカードスロット 1 に保存します。メモリーカードの容量がなくなったら、メモリーカードスロット 2 に自動的に切り替えて保存します。
1+2	2 枚のメモリーカードに同時に保存します。
SSD	USB 端子に接続した SSD にのみ出力します。
HDMI	HDMI 端子に接続した機器にのみ出力します。

! バックアップする動画の動画モードを変更することはできません。撮影時の設定で記録されます。

ファイル形式、圧縮方式

動画のファイル形式や、圧縮方式を設定できます。

設定	説明
H.264 ALL-I 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを ALL-I で圧縮します。
H.264 LongGOP 420 MOV	再生互換性が高い圧縮方式です。4:2:0 8bit データを Long GOP で圧縮します。
H.264 LongGOP 420 MP4	WEB へのアップロードなどに適した動画を撮影できます。
H.265 ALL-I 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを ALL-I で圧縮します。
H.265 LongGOP 420 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:0 10bit データを Long GOP で圧縮します。
H.265 ALL-I 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを ALL-I で圧縮します。
H.265 LongGOP 422 MOV	H.264 よりも圧縮効率が高い圧縮方式です。4:2:2 10bit データを Long GOP で圧縮します。
ProRes HQ MOV*	ProRes 422 HQ フォーマットの動画を保存します。
ProRes 422 MOV*	ProRes 422 フォーマットの動画を保存します。
ProRes LT MOV*	ProRes 422 LT フォーマットの動画を保存します。

* 動画の記録先で **1** を選んでいるときのみ



- ProRes はパーソナルコンピューターなどの編集を前提とした形式です。
- HDMI 端子に接続した機器には、H.264 の場合は 4:2:2 8bit、H.264 以外の場合は 4:2:2 10bit で出力します。
- **ALL-I** は撮影したコマを 1 コマずつ圧縮する方式です。データ量は大きくなります、各コマのデータが保存されているので編集を前提とした動画撮影に適しています。
- **Long GOP** は良好な画質と高い圧縮率を備えた圧縮方式です。データ量は小さく、長時間の撮影に適しています。
- **動画モード、ハイスピード撮影、F-Log/HLG 撮影** の設定によって、設定できるファイル形式や圧縮方式が異なります。

ビットレート

動画のビットレートを設定できます。

設定値

50Mbps | 100Mbps | 200Mbps | 360Mbps | 720Mbps



- ビットレートはハイスピード動画や圧縮方式の設定によって選択できる設定値が異なります。映像によっては設定値より低い値となる場合があります。
- ProRes 撮影時のビットレートは画像サイズやフレームレート、ProRes の種類によって自動的に設定されます。詳細は Apple のウェブサイトをご確認ください。

プロキシ設定（ProRes 記録時のみ）

ProRes 撮影時にプロキシ動画を同時に記録するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON (H.264)	H.264 形式のプロキシ動画を記録します。
ON (ProRes Proxy)	ProRes Proxy のプロキシ動画を記録します。
OFF	プロキシ動画を記録しません。

- !
- 画像サイズが 8K でフレームレートが 29.97P または 25P のときは、プロキシ動画は記録できません。
 - プロキシ動画のある元の動画をカメラで消去すると、元の動画とプロキシ動画の両方が消去されます。元の動画だけ、またはプロキシ動画だけをカメラで消去することはできません。
 - パーソナルコンピューターでメモリーカード内の動画を消去するときは、元の動画とプロキシ動画を同時に消去してください。

HDMI 出力設定

HDMI 端子に接続した機器に撮影画面を出力する場合の設定ができます。

HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値
ON
OFF

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。

設定値
ON
OFF

RAW 出力設定

HDMI 端子に接続した外部レコーダー用に RAW 動画を出力するかどうかを設定します。

設定	説明
RAW 出力設定 ATOMOS	Atomos 社製の外部レコーダー用の RAW 動画を出力します。
RAW 出力設定 Blackmagic	Blackmagic design 社製の外部レコーダー用の RAW 動画を出力します。
OFF	RAW 動画を出力しません。



- 動画の画像サイズは自動的に 8K に変更されます。
- RAW 出力時はメモリーカードに記録できません。
- RAW** で撮影された映像は、カメラ内部の画像補正処理が反映されません。
- ISO 感度は ISO640 以上、ISO12800 以下になります。
- 外部レコーダーの表示画質は、外部レコーダーの仕様にもとづいて RAW から作られる映像であり、最終的なポストプロダクションなどで得られる映像を再現できない場合があります。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、カメラの画面の拡大表示機能は使用できません。
- RAW** で撮影された映像を、対応している外部レコーダー以外で HDMI 出力すると、モザイク画像が表示され正しく表示できません。
- RAW 出力時は動画モード、ハイスピード撮影は無効になります。

動画クロップ倍率固定モード

動画のクロップ倍率を、**動画フォーマット**の設定に応じて固定します。動画設定を変更したときに撮影範囲を合わせやすくなります。

設定値
ON
OFF

F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG (Hybrid Log-Gamma) による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
F-Log	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
FLog2	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log2 で撮影された映像が記録・出力されます。
	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。



- **F-Log** および **FLog2** は、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。
FLog2 は **F-Log** よりもダイナミックレンジが広いガンマカーブです。
F-Log は ISO 感度が ISO 400 以上、ISO 12800 以下、**FLog2** は ISO 感度が ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 640 以上、ISO 12800 以下になります。
- フィルムシミュレーションの映像 () は、撮影メニューの 画質設定 > フィルム シミュレーションで選んでいる設定になります。

データレベル設定

撮影する動画の信号値の範囲を設定できます。

設定	説明
ビデオレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 16 ~ 235、10bit の場合は 64 ~ 940 の制限された範囲で記録します。
フルレンジ	動画の階調を 8bit の場合は 0 ~ 255、10bit の場合は 0 ~ 1023 の範囲で記録します。

測光

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（[108](#)）。

フリッカーレス S.S. 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（[171](#)）。

設定値	
ON	
	OFF

ブレ防止モード

手ブレ補正のモードを設定します。

設定	説明
IBIS/OIS	センサーシフト式 (IBIS) と光学式 (OIS) のブレ補正を行います。OIS を搭載していないレンズを使用している場合は、IBIS でブレ補正を行います。
IBIS/OIS + DIS	IBIS と OIS に加え、電子式 (DIS) のブレ補正を行います。動画モードに応じて画角がクロップされます。大きな手ブレを補正することができます。
OFF	ブレ補正を行いません。OFF のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ (OIS スイッチ) がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることができます。

ブレ防止モードブースト

手ブレ補正の強さを設定します。

設定	説明
ON	構図を固定して撮影する場合に適しています。
OFF	構図を変えながら撮影する場合に適しています。



ブレ防止モードブーストを割り当てたファンクションボタンを押すと、動画撮影中に設定を切り替えることができます (図 385)。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
H (25600)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。
100 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
AUTO	被写体の明るさに応じて ISO 感度 (ISO100 ~ ISO12800) が自動的に設定されます。

ゼブラ設定

動画モードの画面に、露出オーバーで白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示できます。

設定	説明
ゼブラ右	 右上がりのゼブラ表示になります。
ゼebra左	 左上がりのゼebra表示になります。
切	ゼebra表示しません。

ゼブラレベル

ゼebra設定のゼebraレベル（輝度レベル）を設定します。

設定値										
50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

ウェーブフォーム / ベクトルスコープ

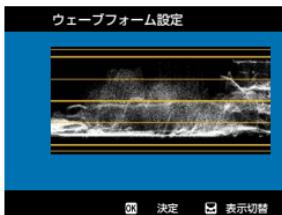
動画撮影時に色信号や輝度信号を表示できます。フォーカスレバーやコマンドダイヤルで表示する位置や大きさを変更できます。

設定値

ウェーブフォーム	パレード	ベクトルスコープ	OFF
----------	------	----------	-----

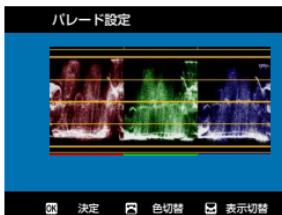
ウェーブフォーム

ウェーブフォームを表示します。



パレード

RGB パレードを表示します。フロントコマンドダイヤルを回して色の表示方法を変更できます。



ベクトルスコープ

ベクトルスコープを表示します。



OFF

ウェーブフォーム、パレード、ベクトルスコープを表示しません。

動画専用操作モード

ON にすると、コマンドダイヤルとタッチ操作で撮影時の設定を変更できます。動画撮影時、カメラの操作音を記録したくないときに便利です（図 36）。

設定値	
ON	
	OFF

REC 枠表示

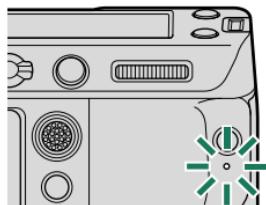
ON にすると、動画の撮影中であることを示す赤い枠を画面に表示します。

設定値	
ON	
	OFF

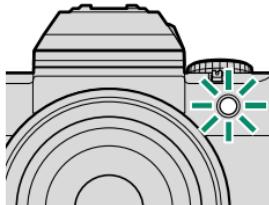
 ハイスピード撮影時は緑色の枠が表示されます。

タリーランプ

動画撮影中に点灯するランプの切り替え（インジケーターランプまたはAF補助光ランプ）や点灯または点滅の設定を変更できます。



インジケーターランプ



AF補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケーターランプが点灯します。
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケーターランプが点滅します。
前面 背面	動画撮影中はインジケーターランプとAF補助光ランプが点灯します。
前面 背面 OFF	動画撮影中はAF補助光ランプが点灯します。
前面 背面	動画撮影中はインジケーターランプとAF補助光ランプが点滅します。
前面 背面 OFF	動画撮影中はAF補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケーターランプとAF補助光ランプは消灯します。

 **冷却ファン設定**

静止画と共にメニューです（図173）。

 **カスタム登録 / 編集**

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（図86）。

 **カスタム登録内容の自動更新**

静止画と共にメニューです（図142）。

 **ワイヤレス通信**

静止画と共にメニューです（図173）。

画質設定（動画）

動画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
[Q] (画質設定) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フィルム シミュレーション

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（**130**）。

モノクローム カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（**132**）。

🎥 ダイナミックレンジ

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。

設定	説明
■100 100%	
■200 200%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」(図 134) を参照してください。
■400 400%	



- 動画撮影時のダイナミックレンジには、**AUTO**（自動調整）はありません。
- 200 200%は ISO 感度が ISO 200 以上 ISO 12800 以下、■400 400%は ISO 400 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- 動画設定 > **F-Log/HLG** 撮影が ■ MP HDMI MP の場合に設定できます。

🎥 ホワイトバランス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (図 136)。

🎥 トーンカーブ

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (図 140)。

🎥 カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (図 140)。

シャープネス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください
([140](#))。

高感度ノイズ低減

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください
([140](#))。

フレーム間ノイズリダクション

AUTO にすると、撮影条件に応じて自動的にフレーム間のノイズを軽減します。

設定値	
AUTO	
	OFF

 カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出ることがあります。

ピクセルマッピング

静止画と共にメニューです ([142](#))。

F-Log2 D レンジ優先

動画フォーマットが **GF** または **Premista** で、画像サイズが **[DCI]** または **[4K]**、フレームレートが 30fps 以下の F-Log2 撮影をするときにダイナミックレンジをより広くするかどうかを設定できます。オンにするとローリングシャッター現象が発生する場合があります。

設定値	
ON	OFF

周辺光量補正

ON にすると、動画の周辺光量を補正します。

設定値	
ON	OFF



- 別売のマウントアダプターを使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着した場合、**ON** にすると、撮影メニューの **画質設定** > **マウントアダプター設定** > **周辺光量補正**（**145**）で設定した内容で、動画の周辺光量を補正します。
- 撮影した動画に縞模様が発生する場合は **OFF** にしてください。

マウントアダプター設定

静止画と共に通のメニューです（**143**）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

フォーカス設定（動画）

動画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
AF（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



フォーカスエリア選択

フォーカスマードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスマードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（**97**）。

 動画撮影中はフォーカスエリアのサイズ変更はできません。

6

撮影メニュー

AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
ワイド / トラッキング	フォーカスマードが C のときにフォーカスレバーを中央に押すか画面をタッチすると、被写体を自動で追尾します。フォーカスマードが S のときはピントを合わせる被写体をカメラが自動的に選びます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

AF-C カスタム設定

動画撮影時にフォーカスマードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。

被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」(148) を参照してください。

設定値

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---



- 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。速度を速くしたいときは「+」側に、遅くしたいときは「-」側に設定します。

設定値

-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----

フォーカスポイント循環

静止画と共にメニューです (151)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

AF 補助光

静止画と共にメニューです (図 152)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

顔検出 / 瞳 AF 設定

動画撮影時の顔検出の設定ができます。

設定	説明
顔検出 ON	設定については「  顔検出 / 瞳 AF 設定」(図 153) を参照してください。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

(!) 動画撮影時はフォーカスマード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 >  顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON のときは、自動的に **C**(コンティニュアス AF)になります。また、フォーカスマードが **M** のときは、 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしても顔検出は行われません。

被写体検出 AF 設定

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (図 155)。

(!) 動画撮影時はフォーカスマード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 >  被写体検出 AF 設定が被写体検出 ON のときは、自動的に **C**(コンティニュアス AF)になります。また、フォーカスマードが **M** のときは、 被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON にしても被写体検出は行われません。

 **AF+MF**

ON になると、フォーカスマードが **S** や **C** のときにマニュアルフォーカスで撮影できます。**AFON** ボタンを押すと解除できます。

設定値

ON

OFF

 **MF アシスト**

マニュアルフォーカス時（フォーカスマードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します（[104](#)）。

設定	説明
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。
フォーカスマーテー	画面上の矢印の向きで被写体の前後どちらにピントが合っているかを表示します。
フォーカスマーテー + ピーキング	フォーカスマーテーとフォーカスピーキングの両方を使用してピントが確認できます。
フォーカスマップ	ピントが合っている場所や外れている場所を示す指標を画面上に表示します。
OFF	通常表示です（MF アシストを使用しません）。

 **MF アシストフォーカスリンク連動**

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（[158](#)）。

フォーカスチェック

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください（図 159）。

ワンプッシュ AF 時の動作

静止画と共にメニューです（図 159）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

被写界深度スケール

静止画と共にメニューです（図 160）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

フォーカスリミッター

静止画と共にメニューです（図 161）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

⌚ タッチパネルモード

液晶モニター（LCD）のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 AF	<p>ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 フォーカスモードが M (MF) のときは、動画スタンバイ中はタッチした場所でワンプッシュAFの動作を行い、動画撮影中はタッチした場所にフォーカスエリアを移動します。
 エリア選択	<p>フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーカスモードが S (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、AF-ON を割り当てたボタンを押してください。 フォーカスモードが C (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。 フォーカスモードが M (MF) のときは、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させます。
 OFF	<p>タッチパネルモードを無効にします。</p>

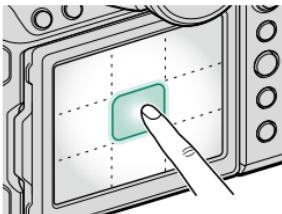
- ⌚ タッチパネルモードの動作は AF モードによって異なります。
- ⌚ 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。

ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

■ 画面の中央をタッチしたときの動作

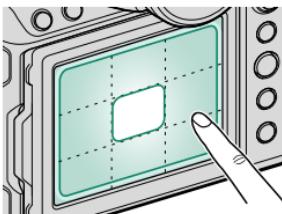
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画／動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



フォーカスチェックロック

拡大表示中に動画撮影を開始したときに、拡大表示を維持したまま撮影するかどうかを設定できます。

設定値

ON

OFF

オーディオ設定（動画）

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
■（オーディオ設定）タブを選びます。



内蔵マイクレベル設定

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

外部マイクレベル設定

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

マイク端子設定

マイク入力端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

マイクレベルリミッター

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値
ON
OFF

風音低減

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値
ON
OFF

ローカットフィルター

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	
	OFF

ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。

マイク / リモートレリーズ設定

マイク / リモートレリーズ端子にマイクを取り付ける場合は  マイク、リモートレリーズを取り付ける場合は  リモートレリーズを選択してください。

設定値	
 マイク	
	 リモートレリーズ

XLRマイクアダプター設定

XLRマイクアダプターを使用しているときに、マイク入力チャンネルなどを設定できます。

サブメニュー	内容
マイク入力チャンネル	<p>カメラの内蔵マイクも使用して4ch録音をするか、XLRマイクアダプターのマイクのみで2ch録音をするかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 4ch XLR+カメラ：カメラの内蔵マイクも使用して、4ch録音をします。• 2ch XLRのみ：XLRマイクアダプターに取り付けられた外部マイクのみで2ch録音をします。
4ch音声モニタリング	<p>動画撮影中にヘッドホンなどでモニタリングする音声を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• XLR：XLRマイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声をモニタリングします。• カメラ：カメラの内蔵マイクの音声をモニタリングします。
HDMI4ch音声出力	<p>HDMI端子に取り付けられた外部レコーダーに出力する音声を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• XLR：XLRマイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を出力します。• カメラ：カメラの内蔵マイクの音声を出力します。

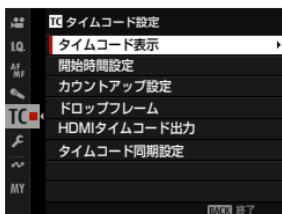


- XLRマイクアダプターを使用するときはファインダーを取り外してください。
- カメラのマイク端子に外部マイクが取り付けられているときは、内蔵マイクの代わりに外部マイクの音声を使用します。
- 4ch録音は動画のファイル形式がMOVのときのみ行えます。

タイムコード設定（動画）

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間／分／秒／フレーム）についての設定ができます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
TC（タイムコード設定）タブを選びます。



タイムコード表示

ON にすると、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
ON	
	OFF

開始時間設定

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間／分／秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

カウントアップ設定

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うかを選べます。

設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

ドロップフレーム

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウントと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。



- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC 00:00:00:00

ON

TC 00:00:00:00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF**になります。

HDMI タイムコード出力

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかを選びます。

設定値	
ON	
	OFF

タイムコード同期設定

外部機器とタイムコードを同期するかどうかを設定できます。

ATOMOS AirGlu BT と接続

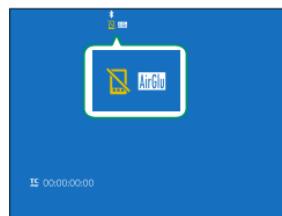
ON にすると、ペアリングされている外部機器と接続してタイムコードを同期します。スマートフォンと同時接続できないため、画面にスマートフォンアイコンが黄色に点灯します。

設定値	
ON	
	OFF

ペアリング登録

ATOMOS AirGlu BT とカメラをペアリングします。

- ATOMOS AirGlu BT と接続すると、画面にアイコンが表示されます。



- ATOMOS AirGlu BT とのペアリングを解除するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定 > Bluetooth 機器一覧**で行います。

タイムコードの同期状態

タイムコードの同期状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	同期状態
TC 00:00:00:00 (白)	タイムコードの同期機能を使用していません。
TC 00:00:00:00 (白)	タイムコードを同期しています。
TC ----:----:---- (黄)	外部機器と切断中、またはタイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。
TC ----:----:---- (赤)	フレームレートの設定が異なるため、タイムコードを同期していません。 ATOMOS AirGlu BT と接続を ON にしたあと、一度同期したことがありカメラ内でカウントを続けている場合、数値は表示されます。

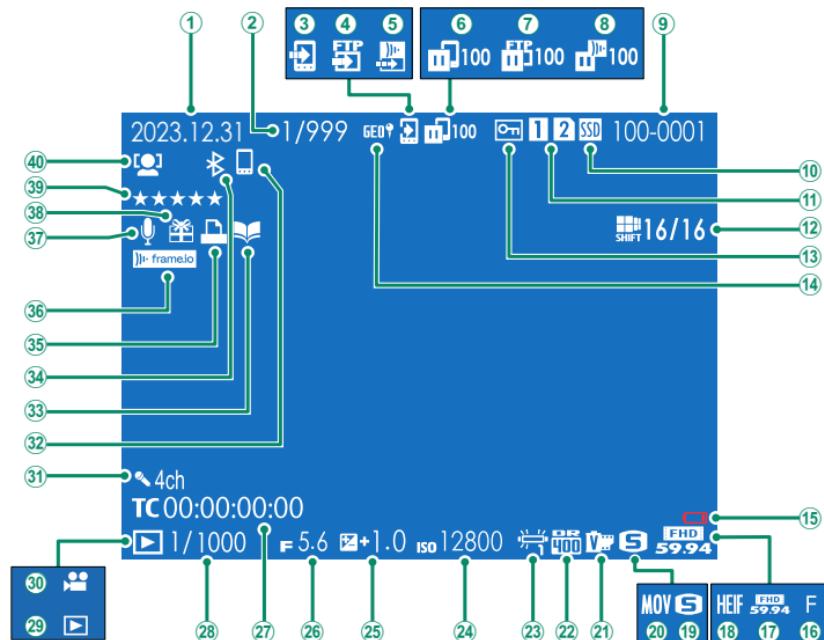
7

画像の再生と再生メニュー

再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻	56, 58, 333	㉑ フィルム シミュレーション	130
② コマ数表示		㉒ ダイナミックレンジ	134
③ 画像転送予約		㉓ ホワイトバランス	136
④ FTP 画像転送予約		㉔ ISO 感度	171
⑤ Frame.io 画像転送予約		㉕ 露出補正	109
⑥ 画像転送状況		㉖ 絞り値	77, 80, 82
⑦ FTP 画像転送状況		㉗ タイムコード	209
⑧ Frame.io 画像転送状況		㉘ シャッタースピード	77, 78, 82
⑨ コマ NO.	369	㉙ 再生モード	63
⑩ SSD 接続状態	49	㉚ 動画アイコン	73
⑪ カードスロット	220	㉛ 4ch 音声	208
⑫ ピクセルシフトマルチショット	121	㉜ Bluetooth 接続先	247
⑬ プロテクト	228	㉝ フォトブックアシスト	236
⑭ 位置情報	373	㉞ Bluetooth ON/OFF	
⑮ バッテリー残量不足	55	㉟ プリント予約	238
⑯ 画質モード	127	㉟ Frame.io 接続状態	274
⑰ 動画モード	178	㉛ ボイスメモ	230
⑱ HEIF 画像	129	㉛ プレゼント	63
⑲ 画像サイズ	126	㉛ レーティング	231
⑳ ファイル形式	182	㉛ 顔検出	153

情報表示の切り替え

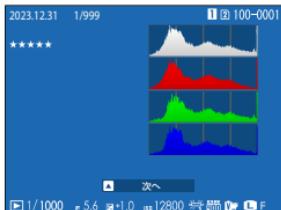
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



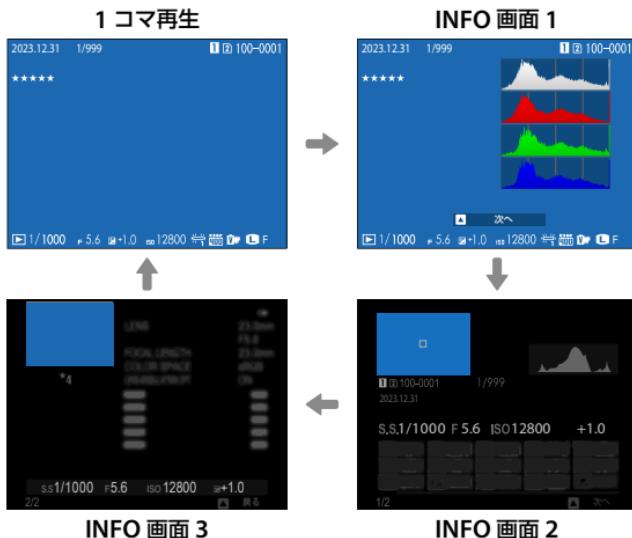
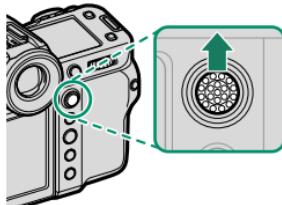
情報表示なし



INFO 画面

撮影時の情報確認

1コマ再生時にフォーカスレバーを上に動かすと撮影時の情報を確認できます。



ピントの位置を拡大表示する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1コマ再生に戻ります。

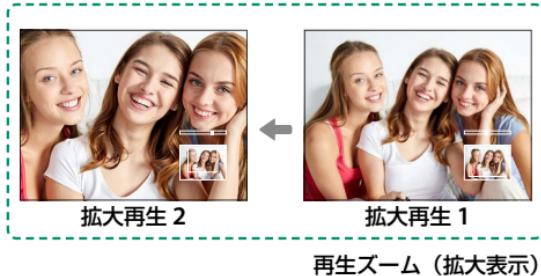


再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。リアコマンドダイヤルを左右に回すと図の順に表示が切り替わります。図と逆の向きに回すと逆の順に切り替わります。

 拡大表示や一覧表示のときに **DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すと1コマ再生画面に戻ります。



再生ズーム

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK**ボタンまたは**MENU/OK**ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。

 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定** > **画像サイズ**によって変わります。

ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。



- フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK**ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードや SSD を選びます。

再生画面で **■** ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パーソナルコンピューターを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて別ファイルで保存（現像）できます。

現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

2 回 再生メニュー > RAW 現像を選びます。

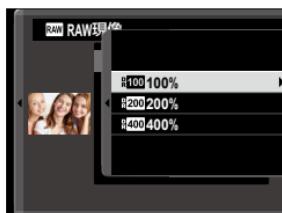
3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。

5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



6 フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Q ボタンを押します。

保存する画像のプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押して、別ファイルとして保存します。

RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、RAW 現像を表示できます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存する画像ファイルの形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
D レンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルム シミュレーション	色調を変更できます。
モノクローム カラー	フィルム シミュレーションの  ACROS や  モノクロで撮影したモノクロ画像の色調を調整できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を与えます。
カラークローム・エフェクト	赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。
カラークローム ブルー	青系の色情報を階調豊かに表現します。
スムーススキン・エフェクト	人物の肌をなめらかに補正します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
トーンカーブ	画像のハイライト部やシャドウ部の強弱を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
高感度ノイズ低減	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
明瞭度	画像をはっきりとさせます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

① 撮影時の設定によって設定できない項目があります。

HEIF を JPEG/TIFF に変換

撮影した HEIF 画像を JPEG 画像や TIFF 画像に変換できます。

画像を選択

変換したい HEIF 画像を選択して、変換できます。

ファイル形式

変換するファイル形式を設定できます。

設定値

JPEG

TIFF 8bit

TIFF 16bit

保存先スロット選択

変換した画像の保存先を設定できます。

設定値

SSD

スロット 1

スロット 2

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。

① 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。

2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- ②
- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようご注意ください。
 - **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、**!** が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
 - 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。
-  • **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

• プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

同時消去

■ 保存設定 > ■ カードスロット設定を分割記録にして 2 枚のカードに記録した RAW 画像と JPEG 画像や HEIF 画像を同時に消去するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	RAW 画像を消去すると、別のカードに同時記録した JPEG 画像や HEIF 画像も消去されます。
OFF	RAW 画像を消去しても、別のカードに同時記録した JPEG 画像や HEIF 画像は消去されません。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2 回 再生メニュー > トリミングを選びます。

3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。

4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。

5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。



- ・拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- ・トリミングを行ったからの記録画素数が 640 のときは、実行が黄色で表示されます。
- ・トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 回 再生メニュー > リサイズを選びます。

3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。



元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロジェクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロジェクトできます。

1 回再生メニュー > プロテクトを選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none">手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選びます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

! メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

-  • 画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。
• 再生画面で **AFON** ボタンを押してもプロテクトを設定したり解除したりすることができます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

1  表示設定 > 縦横自動回転再生を **ON** にします。

2 再生画面で回転したい画像を選びます。

3 回再生メニュー > 画像回転を選びます。

4 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。

5 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。



- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパーソナルコンピューターで再生する場合は、画像は回転表示しません。
-  表示設定 > 縦横自動回転再生を **ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

ボイスメモ設定

静止画に音声を記録できます。

1 回再生メニュー > ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。

ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、 が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、 音設定 > 再生音量でも設定できます。

レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

1 回再生メニュー > レーティングを選びます。

2 フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。



- フロントコマンドダイヤルの代わりにフォーカスレバーで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AEL** ボタンを押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。
- 以下の画像はレーティングを設定できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）

画像コピー

カメラのメモリーカードスロット1(以下、スロット1)に装着したメモリーカードやメモリーカードスロット2(以下、スロット2)に装着したメモリーカード、USB端子に接続したSSDとの間で、画像をコピーできます。

1 回再生メニュー>画像コピーを選びます。

2 コピーの方法を選びます。

設定	説明
SSD→スロット1	SSDの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。
SSD→スロット2	SSDの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット1→SSD	スロット1のメモリーカードの画像をSSDにコピーします。
スロット1→スロット2	スロット1のメモリーカードの画像をスロット2のメモリーカードにコピーします。
スロット2→SSD	スロット2のメモリーカードの画像をSSDにコピーします。
スロット2→スロット1	スロット2のメモリーカードの画像をスロット1のメモリーカードにコピーします。

3 フォーカスレバーを右に動かします。

4 コピーするコマ数を選びます。

設定	説明
1コマ	表示中の画像をコピーします。 ・手順5のあとにフォーカスレバーを左右に動かして、続けてコピーする画像を選べます。
全コマ	すべての画像をコピーします。

5 MENU/OKボタンを押して、コピーを開始します。

- ①** • コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
• 32GB以下のSDメモリーカード(32GBを含む)の場合、ファイルサイズが4GBを超えたファイルはコピーされず、コピーを終了します。

スマートフォンに画像転送

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに画像を転送できます。

1 スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送を選びます。



予約リセットを選びと、スマートフォンへの画像転送予約をすべて解除できます。

2 転送予約する画像を選びます。

MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込んだり、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

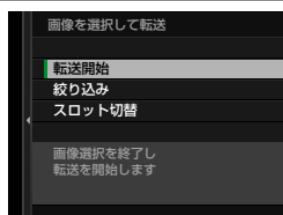
- Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。

- AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



3 **DISP/BACK** ボタンを押してから転送開始を選びます。

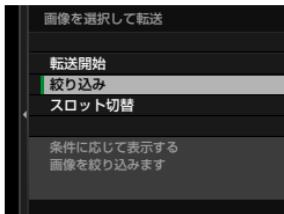
画像が転送されます。



画像の絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示する画像の絞り込みや、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- ・ 絞り込みを選ぶと、表示する画像を絞り込むことができます。
- ・ スロット切替を選ぶと画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。



- ・ 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- ・ 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ・ ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、電源 **OFF** 中の画像転送が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- ・ **操作ボタン・ダイヤル設定** > **Fn1 ボタン設定** を **選択 & スマートフォン転送予約** に設定しておくと、**Fn1** ボタンを押して画像選択画面を呼び出すこともできます。

 ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。



- スマートフォンアプリケーションについては、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://app.fujifilm-dsc.com/>
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn1 ボタン設定**を ワイヤレス通信に設定しておくと、Fn1 ボタンを押してスマートフォンと通信できます。

再生時デスクイーズ表示

ON にすると、**動画設定 > 動画フォーマット**をアナモフィック (35mm) に設定して撮影した動画を、撮影時に指定した倍率で再生します。

設定値	
ON	
	OFF

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

1 フォトブックを作成する

1 回再生メニュー > フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上に動かすと表示されている画像を選択または選択解除し、下に動かすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/photoprinting/print>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。

1 回再生メニュー>プリント予約 (DPOF) を選びます。

2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定 <input checked="" type="checkbox"/>	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



 手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

-  • DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめネットワーク /USB 設定メニューの **instax プリンタ接続設定**で、instax SHARE プリンターのプリンタ名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 回 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。

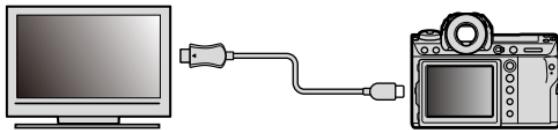


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定値

16:9

4:3

 4:3 で撮影した静止画をテレビで全画面表示したいときは、**16:9** に設定してください。**16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。

ネットワーク /USB 機能と設定 メニュー

8

ネットワーク/USB 機能の概要

このカメラはパーソナルコンピューターやスマートフォンと接続して、撮影した画像を転送したり、パーソナルコンピューターやスマートフォンでカメラを操作して撮影することができます。

このカメラでできること

このカメラでできることは次の通りです。

接続セット選択で選んで使用できる機能

ネットワーク/USB 機能	内容	24
スマートフォン アプリケーションと接続	スマートフォンと Bluetooth® で接続して、撮影した画像を転送したり、ライブビューを確認しながらカメラを操作できます。	247
USB カードリーダー	パーソナルコンピューターやスマートフォンと USB ケーブルで接続して、メモリーカード内の画像を転送できます。	252
ウェブカメラ	パーソナルコンピューターと USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。	257
instax プリント	instax プリンターと接続して、撮影した画像をプリントできます。	258
テザー撮影	USB ケーブルでパーソナルコンピューターと接続し、テザー撮影ができます。	260
RAW 現像	カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピューター上で行えます。	291
設定の保存読み込み	パーソナルコンピューターにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。	292

これらの機能は接続セット選択で選んで使用できます。

接続セット登録 / 編集で設定すると使用できる機能

ネットワーク /USB 機能	内容	書
テザー撮影	無線 LAN や有線 LAN ケーブルでパソコン 컴퓨터と接続し、テザー撮影ができます。	260
FTP サーバーへ ファイル転送	FTP サーバーに撮影したファイルを転送できます。	278
リモート録画機能	パソコンコンピューターやタブレットのブラウザーからカメラをリモート操作して動画を撮影できます。	293

これらの機能は接続セット登録 / 編集で機能と通信方法を接続セットに登録してから、登録した接続セットを選ぶと使用できます。

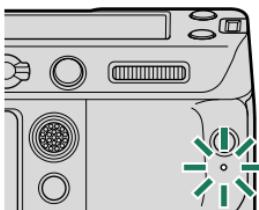
ネットワーク /USB 設定メニューで設定すると使用できる機能

ネットワーク /USB 機能	内容	書
Frame.io へ ファイル転送	Frame.io に撮影したファイルを転送できます。	270

この機能はネットワーク /USB 設定メニューで設定をすると使用できます。

カメラのインジケーターランプの表示

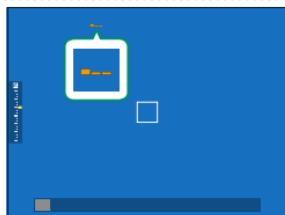
カメラのインジケーターランプで、パーソナルコンピューターや Frame.io、FTP サーバーなどとの接続状態を確認できます。



インジケーターランプ	接続状態
赤色点滅	ネットワークに接続していません。
赤色点灯	ネットワークに接続していません。転送待ちの画像があります。
橙色点滅	ネットワークに接続していますが、パーソナルコンピューターのテザー撮影ソフトウェアまたはFrame.io、FTP サーバーと接続していません。
橙色と赤色の交互点灯	ネットワークに接続していますが、パーソナルコンピューターのテザー撮影ソフトウェアまたはFrame.io、FTP サーバーと接続していません。転送待ちの画像があります。
緑色点滅	テザー撮影またはFrame.ioへの転送、FTP 転送、リモート録画ができます。
緑色と赤色の交互点灯	テザー撮影またはFrame.ioへの転送、FTP 転送ができます。転送待ちの画像があります。

EVF や LCD の表示

パソコンやFrame.io、FTPサーバーなどの接続状態はEVFやLCDに表示されるアイコンでも確認できます。



アイコン	接続状態
	ネットワークに接続していません。
	ネットワークに接続していますが、パソコンやFrame.io、FTPサーバーとの接続していません。
	テザー撮影またはFrame.ioへの転送、FTP転送、リモート録画ができます。

接続セットについて

接続セットとは機能と通信方法の組み合わせです。接続セットを選択して使用することで、カメラをパソコンやスマートフォンと連携して使用できます。

接続セットの選択

MENU/OK ボタンを押して、 (ネットワーク / USB 設定) タブを選び、**接続セット選択**を選びます。使用したい機能を選びます。



 無線 LAN でテザー撮影をするときは、**接続セット登録 / 編集**で新しい接続セットをウィザード形式で作成し、登録してください。

接続セットの登録

使用する機能と通信方法をネットワーク / USB 設定メニューの**接続セット登録 / 編集**で登録します。

使用したいネットワーク / USB 機能を接続セット登録 / 編集 > ウィザード登録で選び、登録を完了します (図 313)。



スマートフォンアプリケーション を使用する

カメラとスマートフォンを Bluetooth® で接続すると、撮影画像をスマートフォンへ転送したり、ライブビューを確認しながらカメラをスマートフォンで操作できます。

 撮影画像の転送時は自動的に無線 LAN で接続します。

スマートフォンにアプリケーションをインストールする

カメラとスマートフォンを接続するためには、あらかじめ専用のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。以下のウェブサイトをご覧いただき、スマートフォンにアプリケーションをインストールしてください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

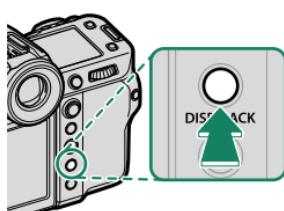


 使用できるアプリケーションはスマートフォンの OS によって異なります。

カメラとスマートフォンを接続する

カメラとスマートフォンをペアリングして、Bluetooth® で接続します。

1 撮影画面で **DISP/BACK** ボタンを長押しします。

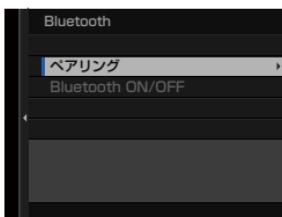


 再生画面で長押ししたときは、手順 3 に進みます。

2 Bluetooth を選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 ペアリングを選び、MENU/OK ボタンを押します。

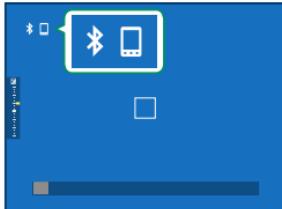


4 スマートフォンのアプリケーションを起動し、カメラとペアリングします。

詳しい手順は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

ペアリングをすると、自動的にカメラとスマートフォンが Bluetooth で接続されます。カメラとスマートフォンが接続されると、カメラの表示画面にスマートフォンアイコンと白い Bluetooth アイコンが表示されます。



- 一度ペアリングを行うと、スマートフォンアプリケーションを起動するたびに自動的にカメラと接続します。
- スマートフォンと接続しないときは Bluetooth をオフにするとカメラの消費電力を抑えることができます。

スマートフォンアプリケーションを使用する

スマートフォンアプリケーションを使用するときは、あらかじめ**接続セット選択**で**1: 標準設定**を選んでから、スマートフォンのアプリケーションを起動してください。

 あらかじめ **Bluetooth/スマートフォン設定** > **Bluetooth ON/OFF** を **ON** にしてください。

スマートフォンアプリケーションで選んで画像を転送する

スマートフォンアプリケーションで転送する画像を選んで、スマートフォンに画像を転送することができます。

 スマートフォンアプリケーションの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

撮影した画像を自動的に転送する

ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **撮影時 自動画像転送**を **ON** にすると、撮影した画像がペアリングしているスマートフォンに自動的に転送されます。



- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、電源 **OFF** 中の画像転送が **ON** のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **スマートフォン送信時圧縮**を **ON** にすると、転送する画像のサイズを圧縮して転送します (図 322)。
- ネットワーク /USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **ファイル形式選択**で、転送する画像のファイル形式を設定できます。

再生メニューから画像を選んで転送する

スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送で、選んだ画像を Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送できます。

1 スマートフォンに画像転送 > 画像を選択して転送を選びます。

 予約リセットを選ぶと、スマートフォンへの画像転送予約をすべて解除できます。

2 転送予約する画像を選びます。

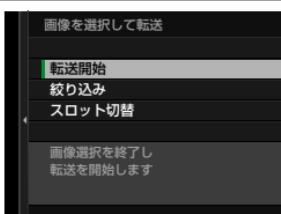
MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込んだり、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



3 **DISP/BACK** ボタンを押してから転送開始を選びます。

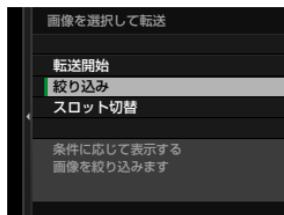
画像が転送されます。



画像の絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示する画像の絞り込みや、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- ・絞り込みを選ぶと、表示する画像を絞り込むことができます。
- ・スロット切替を選ぶと画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



- ① 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。



- ・同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- ・以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- ・ネットワーク/USB 設定メニューの **Bluetooth/スマートフォン設定** > **Bluetooth ON/OFF** が ON で、電源 OFF 中の画像転送が ON のときは、カメラの電源がオフのときでも画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- ・**操作ボタン・ダイヤル設定** > **Fn1 ボタン設定** を **選択 & スマートフォン転送予約** に設定しておくと、**Fn1** ボタンを押して画像選択画面を呼び出すこともできます。

USB カードリーダーとして使用する

カメラとスマートフォンやパソコンをUSBケーブルで接続すると、撮影画像を転送できます。

スマートフォンに画像を転送する

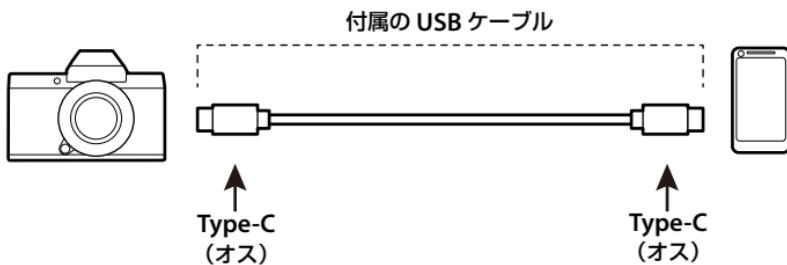
スマートフォンに画像を転送するときは、ネットワーク/USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定を自動** または **給電 OFF / 通信 ON** にしてからカメラとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。

Android のスマートフォンをお使いの方

スマートフォンに搭載されているUSB端子の形状によって、接続方法が異なります。

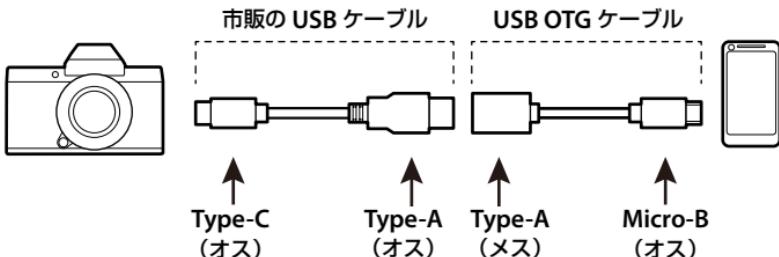
USB Type-C の場合

付属のUSBケーブルをご使用いただけます。



USB Micro-B の場合

USB OTG 対応ケーブルでカメラとスマートフォンを接続します。



- スマートフォンが USB OTG に対応している必要があります。
- USB Type-C と USB Micro-B のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。OTG ケーブルを使用してください。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの USB 給電 / 通信設定を自動または給電 OFF/ 通信 ON にします。

2 接続セット選択で 2: USB カードリーダーを選びます。

3 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。



「Camera Importer」以外のアプリケーション（「フォト」など）へのアクセスを許可するかどうかを確認する通知が表示された場合は、「キャンセル」をタップして手順 4 に進みます。

4 スマートフォンを操作して、「Android システム・USB PTP に接続しました」の通知をタップします。

5 USB デバイス用のアプリケーションの中から「Camera Importer」を選びます。

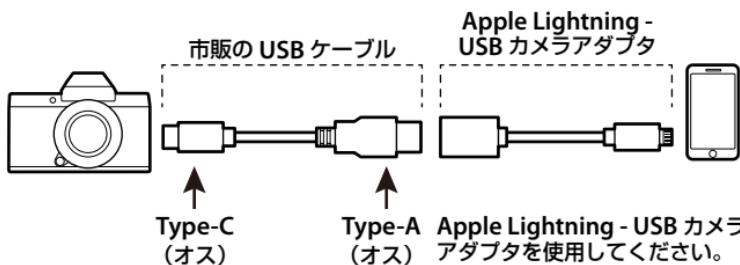
自動的に「Camera Importer」アプリケーションが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



「Camera Importer」アプリケーションから「There is no MTP device connected」などの通知が表示された場合は、USB ケーブルを抜いて、手順 3 からやり直してください。

iOS のスマートフォンをお使いの方

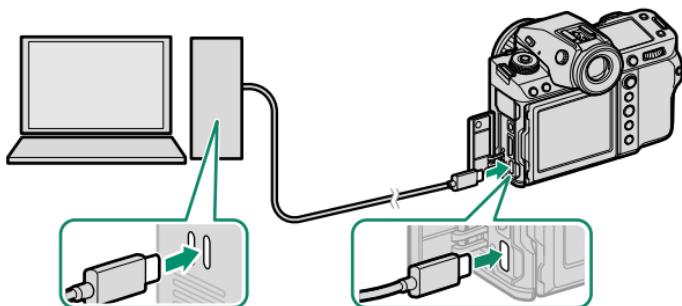
カメラアダプタでカメラとスマートフォンを接続します。カメラには USB 端子 (Type-C) が搭載されているので、別途カメラアダプタの USB 端子 (Type-A) と接続するケーブルをご用意ください。



- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を給電 OFF / 通信 ON にします。
 - 2 接続セット選択で 2: USB カードリーダーを選びます。
 - 3 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。
「写真」アプリケーションを起動すると、画像 / 動画をインポートできます。
- ①**
- USB Type-C を搭載した iPad などを接続するときは、Type-C to C の USB ケーブルを使用してください。
 - USB Type-C と Lightning のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。カメラアダプタを使用してください。

パソコン用コンピューターに画像を転送する

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの USB 給電 / 通信設定を自動または給電 OFF/ 通信 ON にします。
- 2 接続セット選択で 2: USB カードリーダーを選びます。
- 3 カメラの電源をオフにします。
- 4 パーソナルコンピューターを起動します。
- 5 USB ケーブルで、カメラとパーソナルコンピューターを接続します。



USB 端子 (Type-C)

! USB ケーブルは、長さが 1m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

- 6 カメラの電源をオンにします。

- 7 画像を転送します。

- **Mac OS X / OS X / macOS の場合** : OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。ファイルサイズが 4GB を超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。
- **Windows の場合** : OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。

- ①
- USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
 - USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコン 컴퓨터を接続してください。
 - 画像をコピーするときは、バッテリーカードに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
 - メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
 - カメラとパソコン パソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーター ランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
 - カメラとパソコン パソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
 - メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコン パソコンの接続を外したあとに行ってください。
 - ソフトウェアでネットワークサーバー上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコン パソコンのようをご利用になれないことがあります。
 - パソコン パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコン パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
 - インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ウェブカメラとして使用する

カメラをパーソナルコンピューターに接続して、ウェブカメラとして使用できます。

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの USB 給電 / 通信設定を自動または給電 OFF/ 通信 ON にします。
- 2 接続セット選択で 6: USB WEBCAM を選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (図 255)。
- 4 ウェブカメラを使用するアプリケーション上で、カメラを選択します。

instax プリントする

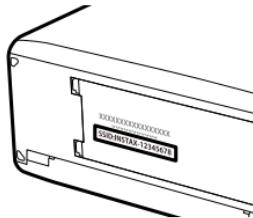
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像をプリントできます。

プリンターとの接続を設定する

ネットワーク /USB 設定メニューの **instax プリンター接続設定** を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

- 接続セット選択で 1: 標準設定を選択します。
- プリンターの電源を入れます。
- 再生メニューの instax プリンター プリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

- 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

テザー撮影をする

USB や無線 LAN、有線 LAN でカメラとパソコン 컴퓨터を接続し、パソコン 컴퓨터上でカメラを操作して静止画を撮影できます。

- USB 接続でテザー撮影をする (☞ 260)
- 無線 LAN 接続でテザー撮影をする (☞ 262)
- 有線 LAN 接続でテザー撮影をする (☞ 267)

USB 接続でテザー撮影をする

USB ケーブルでカメラとパソコン 컴퓨터を接続して、テザー撮影をします。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 OFF/ 通信 ON にします。

2 接続セット選択で 3: USB テザー撮影 自動または 4: USB テザー撮影 固定 を選びます。



- **3: USB テザー撮影 自動**を選ぶと、接続したパソコン 컴퓨터の電源がオンのときは自動的にテザー撮影状態になります。パソコン 컴퓨터と接続していないときや、パソコン 컴퓨터の電源がオフのときはテザー撮影状態にはならず、撮影した画像はカメラのメモリーカードに保存されます。
- **4: USB テザー撮影 固定**を選ぶと、パソコン 컴퓨터と接続していないときもカメラは常にテザー撮影状態になり、撮影しても画像は保存されません。

3 カメラとパソコン 컴퓨터を USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (☞ 255)。

4 テザー撮影をします。

「Adobe Lightroom Classic + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」、「FUJIFILM X Acquire」などのソフトウェアをご使用ください。



- テザー撮影の詳しい方法は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://app.fujifilm-dsc.com/jp/tether/>
- 使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/>

無線 LAN 接続でテザー撮影をする

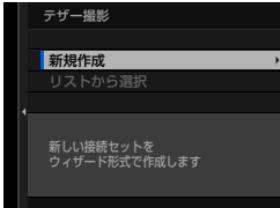
無線 LAN に接続し、ネットワーク上にあるパーソナルコンピューターでテザー撮影をします。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録でテザー撮影を選びます (図 313)。

2 新規作成を選びます。



リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの編集ができます。



3 確認画面が表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押します。



4 無線 LAN を選びます。



すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

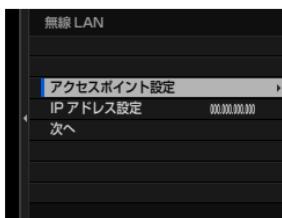


5 新規作成を選んで通信セットを作成します。

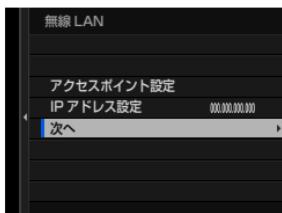


6 無線 LAN の設定をします。

- **アクセスポイント設定**：「アクセスポイント登録で簡単接続する（図 264）」をご覧ください。
- **IP アドレス設定**：「IP アドレスを設定して接続する（図 265）」をご覧ください。



7 無線 LAN の設定が終わったら、次へを選びます。



8 通信セットの名前を登録します。



9 接続セットの登録をします。

MENU/OK ボタンを押します。



10 新規作成を選びます。

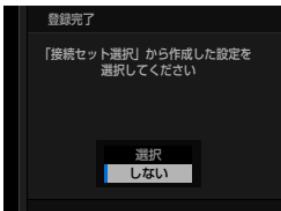


11 接続セットの名前を登録します。



12 選択を選びます。

 **接続セット選択**あとから選択することもできます。



13 パーソナルコンピューターでテザー撮影をします。

テザー撮影可能なソフトウェアをご使用ください。

-  • テザー撮影の詳しい方法は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://app.fujifilm-dsc.com/jp/tether/>
- 使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/>

アクセスポイント登録で簡単接続する

無線 LAN ルーターの簡単接続機能を使用してパーソナルコンピューターと接続し、テザー撮影をします。

1 簡単設定を選びます。

 **手動設定**を選ぶと手動で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。



2 画面の指示にしたがって無線 LAN ルーターを操作します。

 フォーカスレバーを上に動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。



3 登録が完了したら MENU/OK ボタンを押します。

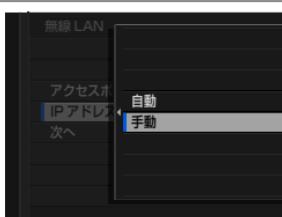


IP アドレスを設定して接続する

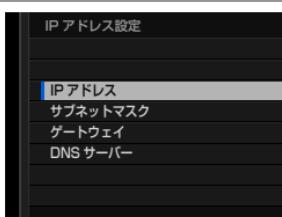
手動で IP アドレスなどのネットワーク /USB 設定を登録し、テザー撮影をします。

1 手動を選びます。

 自動を選ぶとカメラに IP アドレスが自動的に割り当てられます。



2 手動でアドレスの設定をします。



- IP アドレスを選んで IP アドレスを入力します。



- サブネットマスクを選んでサブネットマスクを入力します。



- ゲートウェイを選んでゲートウェイを入力します。



- DNS サーバーを選んで DNS サーバーを入力します。



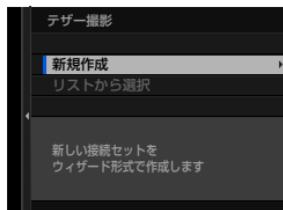
有線 LAN 接続でテザー撮影をする

有線 LAN 接続し、ネットワーク上にあるパーソナルコンピューターでテザー撮影することができます。

- 1 カメラの LAN 端子に有線 LAN ケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。
- 2 ネットワーク /USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録でテザー撮影を選びます。
- 3 新規作成を選びます。



リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの編集ができます。



- 4 確認画面が表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 5 有線 LAN を選びます。



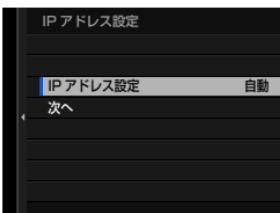
6 新規作成を選んで通信セットを作成します。

 すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。



7 IP アドレス設定 выбираます。

- 自動を選ぶと、ネットワークから割り当てられた IP アドレスを使用します。
- 手動を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます。「IP アドレスを設定して接続する（図 265）」をご覧ください。



8 IP アドレス設定が終わったら、次へを選びます。



9 通信セットの名前を登録します。



10 接続セットの登録をします。

MENU/OK ボタンを押します。



11 新規作成を選びます。

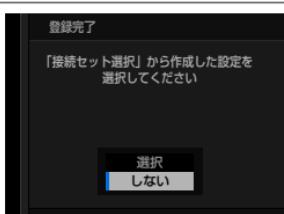


12 接続セットの名前を登録します。



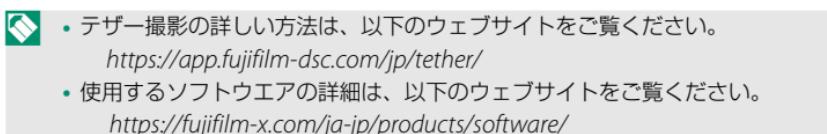
13 選択を選びます。

接続セット選択あとから選択することもできます。



14 パーソナルコンピューターでテザー撮影をします。

テザー撮影可能なソフトウェアをご使用ください。



Frame.io にファイル転送する

撮影したファイルを Frame.io に転送できます (図 425)。

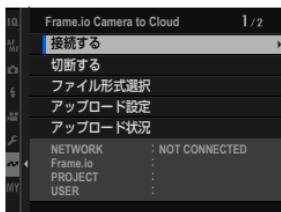
- 無線 LAN で接続する (図 270)
- 有線 LAN で接続する (図 272)

 カメラの日付設定をしていない場合は正しい日付を事前に設定してください。

無線 LAN で接続する

無線 LAN で Frame.io と接続します。

- 1** Frame.io Camera to Cloud > 接続するを選びます。

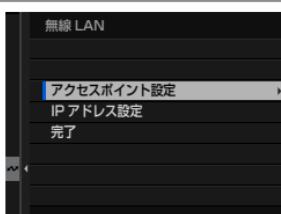


- 2** 無線 LAN を選びます。



- 3** アクセスポイント設定選択します。

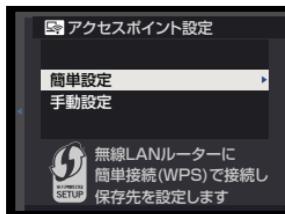
IP アドレス設定を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます (図 273)。



4 簡単設定を選びます。



手動設定を選ぶと手動で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。



5 画面の指示にしたがって無線 LAN ルーターを操作します。



フォーカスレバーを上に動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。

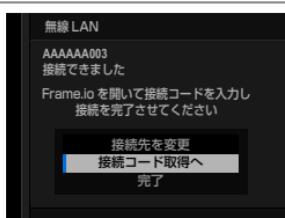


6 登録が完了したら MENU/OK ボタンを押します。



7 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



8 パーソナルコンピューターなどから Frame.io へログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

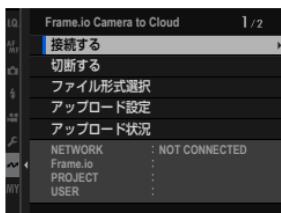
9 Frame.io にファイルを転送します (図 275)。

有線 LAN で接続する

有線 LAN ケーブルで接続して Frame.io と接続できます。

1 カメラの LAN 端子に有線 LAN ケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。

2 Frame.io Camera to Cloud > 接続するを選びます。

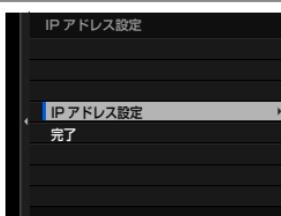


3 有線 LAN を選びます。



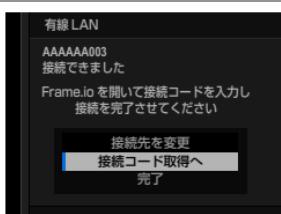
4 IP アドレスの設定方法を選びます。

- 自動を選ぶと、ネットワークから割り当てられた IP アドレスを使用します。
- 手動を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます (図 273)。



5 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



6 パーソナルコンピューターなどからFrame.ioへログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

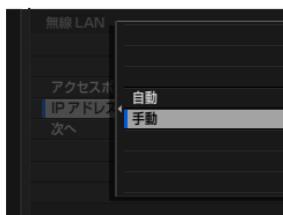
7 Frame.ioにファイルを転送します(図275)。

IP アドレスを設定して接続する

手動でIPアドレスなどのネットワーク/USB設定を登録し、Frame.ioに接続します。

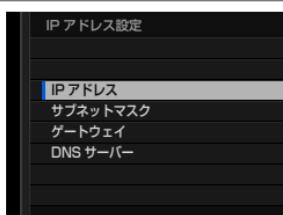
1 手動を選びます。

 **自動**を選ぶとカメラにIPアドレスが自動的に割り当てられます。



2 手動でアドレスの設定をします。

- IPアドレスを選んでIPアドレスを入力します。



- サブネットマスクを選んでサブネットマスクを入力します。



- ゲートウェイを選んでゲートウェイを入力します。



- DNS サーバーを選んで DNS サーバーを入力します。



接続状態の確認

Frame.io との接続状態は EVF や LCD に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	接続状態
frame.io (白)	Frame.io に接続しています。
frame.io (黄)	Frame.io へのファイル転送をカメラ側で一時停止しています。接続を再開するには、 Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の転送 / 一時停止を転送 にしてください。
frame.io (グレー)	Frame.io に接続していません。
frame.io (赤)	Frame.io サーバーのカメラステータスが paused に設定されています。接続を再開するには、パーソナルコンピューター側などで Frame.io の paused の設定を解除してください。

Frame.io ヘファイルを転送する

Frame.io Camera to Cloud でファイルを選んで転送する

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの **Frame.io Camera to Cloud** を選びます。
- 2 アップロード設定 > 画像を選択して転送 を選びます。



- **NETWORK** にはネットワークへの接続方法が、**Frame.io** には Frame.io との接続状態が表示されます。
- **PROJECT** と **USER** にはパソコンコンピューターなどで Frame.io に入力した内容が表示されます。使用する文字によってはカメラに正しく表示されないことがあります。この場合は文字が「?」で表示されます。

- 3 転送予約するファイルを選びます。

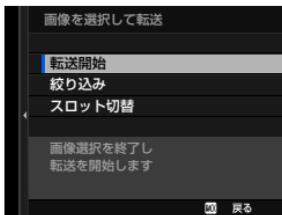
MENU/OK ボタンを押してファイルを選択します。

- 表示するファイルを絞り込んだり、ファイルを表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、ファイルを選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すとファイルを全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始するファイルと終了するファイルを選んで範囲選択できます。



4 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

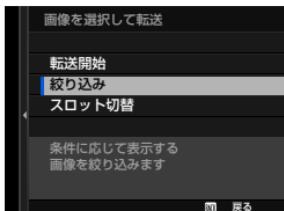
Frame.io にファイルが転送されます。



ファイルの絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

ファイル選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示するファイルの絞り込みや、ファイルを表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- ・絞り込みを選ぶと、表示するファイルを絞り込むことができます。
- ・スロット切替を選ぶとファイルを表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだファイルは選択解除されます。



- ・同じメモリーカードで最大 9999 枚まで転送予約することができます。
- ・Frame.io Camera to Cloud > 電源 OFF 中の画像転送が ON のときは、カメラの電源がオフのときでもファイルを Frame.io に転送します。

撮影したファイルを自動転送する

Frame.io Camera to Cloud > アップロード設定の撮影時 自動画像転送を **ON** にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

再生画面でファイルを選んで転送する

■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > □ Fn1 ボタン設定を □ Fn1 ボタン設定を **Frame.io 転送予約** に設定しておくと、再生画面で **Fn1** ボタンを押して転送予約をしたり、予約を上書き / キャンセルしたりできます。

FTP サーバーへファイル転送する

あらかじめ用意した FTP サーバーとカメラを接続して、撮影した画像を FTP サーバーに転送できます。

FTP サーバーと接続する

- 無線 LAN で接続する (☞ 278)
- 有線 LAN で接続する (☞ 281)

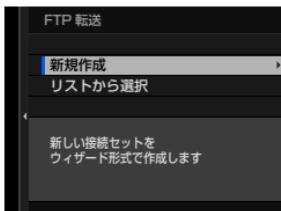
無線 LAN で接続する

無線 LAN で FTP サーバーと接続します。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録で FTP 転送を選びます。

2 新規作成を選びます。

 リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの選択や編集ができます。



3 確認画面が表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。



4 無線 LAN を選びます。



5 新規作成を選んで通信セットを作成します。

すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

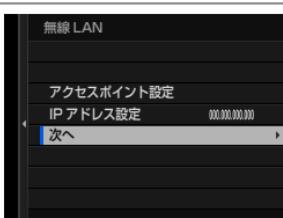


6 無線 LAN の設定をします。

- **アクセスポイント設定**：「アクセスポイント登録で簡単接続する (図 264)」をご覧ください。
- **IP アドレス設定**：「IP アドレスを設定して接続する (図 265)」をご覧ください。



7 無線 LAN の設定が終わったら、次へを選びます。



8 通信セットの名前を登録します。



- 9 確認画面が表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して、FTP サーバーの接続設定をします（[285](#)）。



- 10 FTP サーバーの接続設定が終わったら、接続セットの登録をします。
MENU/OK ボタンを押します。



- 11 新規作成を選びます。



- 12 接続セットの名前を登録します。



13 実行を選んで接続テストをします。

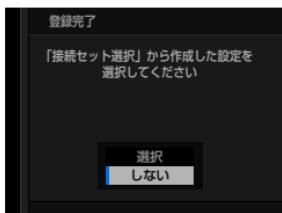
接続テストの成功画面が表示されたら
MENU/OK を押してください。

- 接続テストが失敗したときは通信セットや
ネットワークの設定を確認してください。



14 選択を選んで登録完了します。

- 接続セット選択あとから選択することも
できます。



15 FTP サーバーに画像を転送します (図 288)。

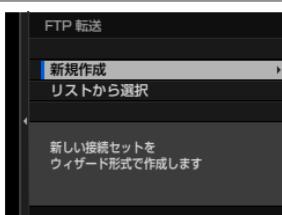
有線 LAN で接続する

有線 LAN ケーブルで接続して FTP サーバーと接続できます。

- カメラの LAN 端子に有線 LAN ケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。
- ネットワーク/USB 設定メニューの接続セット登録/編集 > ウィザードで登録で FTP 転送を選びます。

3 新規作成を選びます。

- リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの選択や編集ができます。



- 4 確認画面が表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 5 有線 LAN を選びます。



- 6 新規作成を選んで通信セットを作成します。

 すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

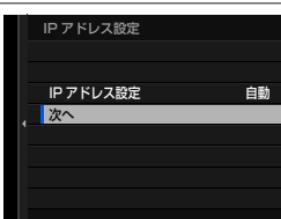


- 7 IP アドレス設定 выбирает.

- 自動を選ぶと、ネットワークから割り当てられた IP アドレスを使用します。
- 手動を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます。「IP アドレスを設定して接続する (図 265)」をご覧ください。



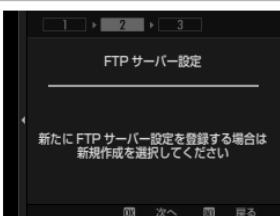
- 8 IP アドレス設定が終わったら、次へを選びます。



9 通信セットの名前を登録します。



10 確認画面が表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して、FTP サーバーの接続設定をします (図 285)。



11 FTP サーバーの接続設定が終わったら、接続セットの登録をします。

MENU/OK ボタンを押します。



12 新規作成を選びます。



13 接続セットの名前を登録します。



14 実行を選んで接続テストをします。

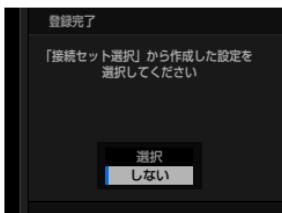
接続テストの成功画面が表示されたら
MENU/OK を押してください。

 接続テストが失敗したときは通信セットや
ネットワークの設定を確認してください。



15 選択を選んで登録完了します。

 接続セット選択あとから選択することも
できます。



16 FTP サーバーに画像を転送します (図 288)。

FTP サーバーとの接続設定

画像を転送する FTP サーバーとの接続を設定します。

1 FTP サーバー設定画面で新規作成を選びます。

 すでに作成した FTP サーバー設定を選ぶと、選んだ FTP サーバー設定の選択や編集ができます。



2 FTP サーバータイプを選びます。



3 FTP サーバーアドレスを設定します。



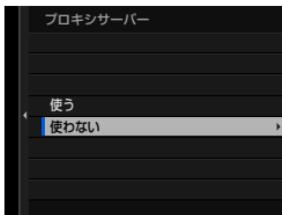
4 FTP サーバーのポート番号を設定します。



5 プロキシサーバーを使用するかどうかを選びます。

ここでは**使わない**を選んだときの手順を説明します。

 **使う**を選んだときは続けてプロキシサーバーのアドレスやポート番号の設定ができます。



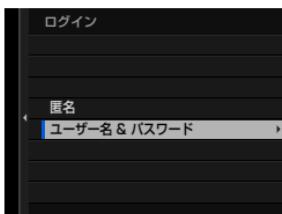
6 パッシブモードを使用するかどうかを選びます。



7 ユーザー名 & パスワードを選びます。

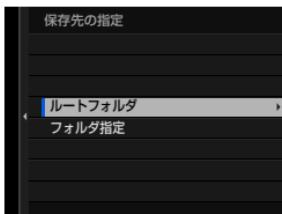
FTPサーバーにログインする時のユーザー名とパスワードを設定します。

 • ユーザー名やパスワードを必要としないFTPサーバーに接続するときは**匿名**を選んでください。
 • **FTPサーバータイプ**に**FTPS**を選んでいると、FTPサーバーを信頼する方法を設定できます。独自のルート証明書を使用する場合は**FTPオプション設定** > **ルート証明書**でルート証明書を設定してください。



8 画像の保存先を選びます。

- **ルートフォルダ**を選ぶと、FTPサーバー上のルートフォルダに保存します。
- **フォルダ指定**を選ぶと、保存するフォルダを指定できます。



9 FTP サーバー上の保存先に同じ名前の画像ファイルがあったときの動作を設定します。

- **する**を選ぶと、同じ名前のファイルがあるときはFTP サーバー上の画像ファイルが上書きされます。
- **しない**を選ぶと、同じ名前のファイルがあるときは、ファイル名の末尾に番号が追加されます（例：DSCF0001_(0).JPG）。



10 FTP サーバー名を設定します。

設定した名称はFTP 選択画面に表示されます。



FTP サーバーへ画像を転送する

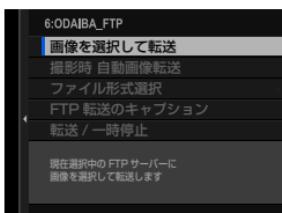
FTP サーバーに転送したい画像を選んで転送予約をします。

- FTP オプション設定で画像を選んで転送する (図 288)
- 撮影した画像を自動転送する (図 290)
- 再生画面で画像を選んで転送する (図 290)

1 FTP オプション設定で画像を選んで転送する

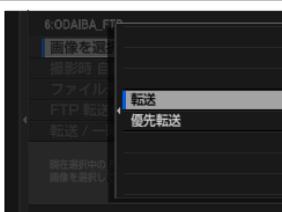
1 ネットワーク /USB 設定メニューの **FTP オプション設定** を選びます。

2 画像を選択して転送を選びます。



3 転送を選びます。

 **優先転送**を選んでから画像を選ぶと、**転送**で選んだ画像よりも先に FTP サーバーに転送されます。



4 転送予約する画像を選びます。

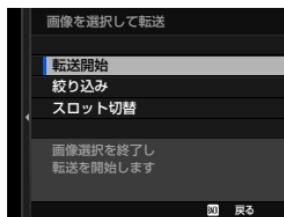
MENU/OK ボタンを押して画像を選択します。

- 表示する画像を絞り込んだり、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えたいときは、画像を選択する前に **DISP/BACK** ボタンを押してください。
- **Q** ボタンを押すと画像を全選択できます。
- **AEL** ボタンを押すと、開始する画像と終了する画像を選んで範囲選択できます。



5 DISP/BACK ボタンを押してから転送開始を選びます。

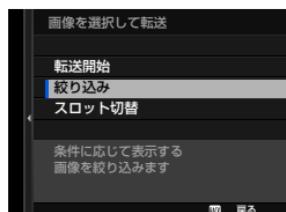
FTP サーバーに画像が転送されます。



画像の絞り込みとメモリーカードスロットの切り替え

画像選択画面で **DISP/BACK** ボタンを押すと、表示する画像の絞り込みや、画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。

- ・絞り込みを選ぶと、表示する画像を絞り込むことができます。
- ・スロット切替を選ぶと画像を表示するメモリーカードスロットを切り替えることができます。



! 絞り込みやスロット切替を選ぶと、その前に選んだ画像は選択解除されます。



- ・同じメモリーカードで最大 9999 枚まで転送予約することができます。
- ・FTP オプション設定 > 電源 OFF 中の画像転送が ON のときは、カメラの電源がオフのときでも画像を FTP サーバーに転送します。

【撮影した画像を自動転送する

ネットワーク/USB 設定メニューの **FTP オプション設定** > **撮影時 自動画像転送**を **ON** にすると、撮影した画像を自動的に転送予約します。

【再生画面で画像を選んで転送する

■ **操作ボタン・ダイヤル設定** > **Fn1 ボタン設定**を **FTP 転送予約** または **FTP 優先転送予約**に設定しておくと、再生画面で **Fn1** ボタンを押して転送予約をしたり、予約を上書き / キャンセルしたりできます。

RAW 現像する

X RAW STUDIO を使用して、カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピューター上で行うことができます。

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの USB 給電 / 通信設定を自動または 給電 OFF / 通信 ON にします。
- 2 接続セット選択で 5 : USB RAW 現像 / 設定保存読み込みを選びます。
- 3 カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続してから、 カメラの電源をオンにします (255) 。
- 4 X RAW STUDIO を起動します。

X RAW STUDIO 上で RAW 現像ができます。

-  使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/>

設定の保存や読み込みをする

FUJIFILM X Acquire を使用して、パソコンコンピューターにカメラの設定を保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの **USB 給電 / 通信設定**を自動または給電 OFF / 通信 ON にします。
- 2 接続セット選択で 5 : **USB RAW 現像 / 設定保存読み込み**を選びます。
- 3 カメラとパソコンコンピューターを USB ケーブルで接続してから、カメラの電源をオンにします (255)。
- 4 FUJIFILM X Acquire を起動します。

FUJIFILM X Acquire 上で設定の保存や読み込みができます。

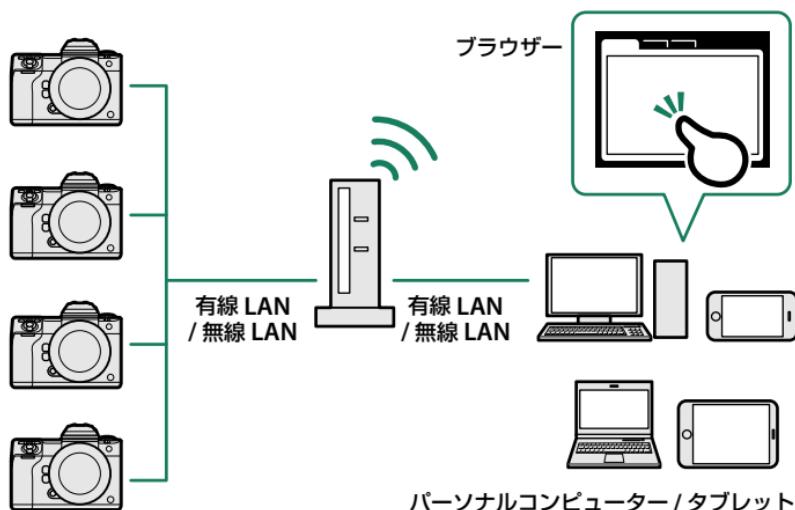
-  使用するソフトウェアの詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/>

ブラウザーからリモートで動画を撮影する

このカメラにはリモート録画機能が搭載されています。パソコンコンピューターやタブレットのブラウザーからカメラに接続することにより、最大4台のカメラをブラウザーで操作して動画を撮影したり、設定を変更したりできます。

ブラウザーからカメラに接続する

パソコンコンピューターやタブレットのブラウザーからカメラに接続して、ブラウザーでカメラを操作できます。



パソコンコンピューターやタブレットでリモート録画機能を使用するときは、あらかじめパソコンコンピューターやタブレットとカメラを無線 LAN または有線 LAN で接続するための接続セットを登録します。

- 無線 LAN で接続する (294)
- 有線 LAN で接続する (299)

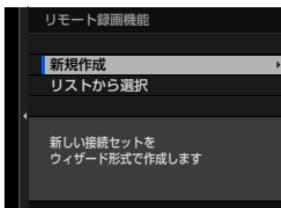
1 無線 LAN で接続する

パソコンコンピューターやタブレットとカメラを無線 LAN で接続するための接続セットを登録します。

1 ネットワーク/USB 設定メニューの接続セット登録/編集 > ウィザードで登録でリモート録画機能を選びます。

2 新規作成を選びます。

 リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの編集ができます。



3 確認画面が表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。



4 無線 LAN を選びます。



5 新規作成を選んで通信セットを作成します。

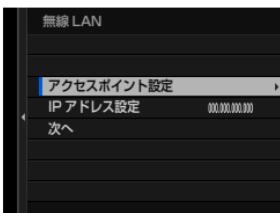
 すでに作成した通信セットを選び、選んだ通信セットの選択と編集ができます。



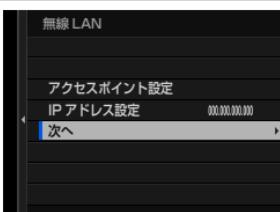
6 無線 LAN の設定をします。

- **アクセスポイント設定**：「アクセスポイント登録で簡単接続する（図 264）」をご覧ください。
 - **IP アドレス設定**：「IP アドレスを設定して接続する（図 265）」をご覧ください。

 高速なアクセスポイント（5GHz 帯など）の使用や接続をおすすめします。



7 無線 LAN の設定が終わったら、次へを選びます。

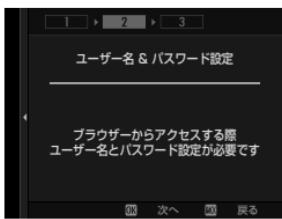


8 通信ヤットの名前を登録します。



9 パーソナルコンピューターやタブレットからカメラに接続するためのユーザー名とパスワードを登録します。

MENU/OK ボタンを押します。



10 ユーザー名を登録します。



11 パスワードを登録します。



12 サーバータイプを選びます。

■ **HTTPS** を選ぶと、パーソナルコンピューターやタブレットのブラウザーにルート証明書をインポートする必要があります (図 298)。



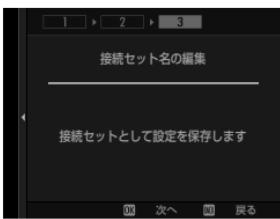
13 登録した設定が表示されます。

MENU/OK ボタンを押します。

■ この設定情報はパーソナルコンピューター やタブレットからカメラに接続するときに 必要です。



- 14** 接続セットの登録をします。
MENU/OK ボタンを押します。



- 15** 新規作成を選びます。

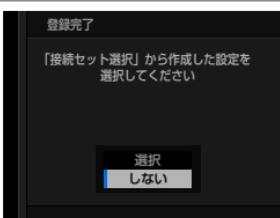


- 16** 接続セットの名前を登録します。



- 17** 選択を選びます。

 **接続セット選択**あとから選択することも
できます。



- 18** パーソナルコンピューターやタブレットからカメラに接続します
( 303)。

HTTPS で接続する場合

サーバータイプに **HTTPS** を選んだときは、お使いのパーソナルコンピューターやタブレットにルート証明書をインストールしてください。ルート証明書のダウンロードとインストールの方法は以下のサイトをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/rootcer/>



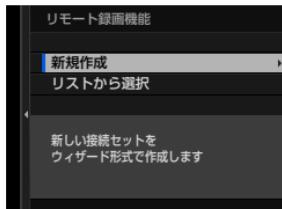
有線 LAN で接続する

パソコンやタブレットとカメラを有線 LAN で接続するための接続セットを登録します。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > ウィザードで登録でリモート録画機能を選びます。

2 新規作成を選びます。

 リストから選択を選ぶと、すでに登録した接続セットの編集ができます。



3 確認画面が表示されたら、MENU/OK ボタンを押します。



4 有線 LAN を選びます。



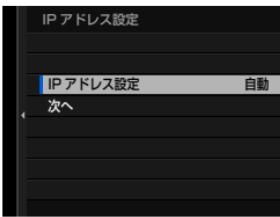
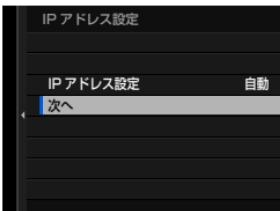
5 新規作成を選んで通信セットを作成します。

 すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択と編集ができます。

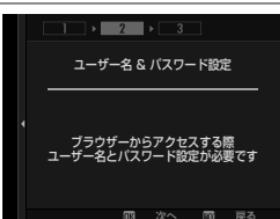


6 IP アドレス設定を選びます。

- ・自動を選ぶと、ネットワークから割り当てられた IP アドレスを使用します。
- ・手動を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます。「IP アドレスを設定して接続する（図 265）」をご覧ください

**7** IP アドレス設定が終わったら、次へを選びます。**8** 通信セットの名前を登録します。**9** パーソナルコンピューターやタブレットからカメラに接続するためのユーザー名とパスワードを登録します。

MENU/OK ボタンを押します。

**10** ユーザー名を登録します。

11 パスワードを登録します。



12 サーバータイプを選びます。

HTTPS を選ぶと、パーソナルコンピューター やタブレットのブラウザーにルート証明書を インポートする必要があります (図 298)。



13 登録した設定が表示されます。

MENU/OK ボタンを押します。

この設定情報はパーソナルコンピューター やタブレットからカメラに接続するときに 必要です。



14 接続セットの登録をします。

MENU/OK ボタンを押します。



15 新規作成を選びます。

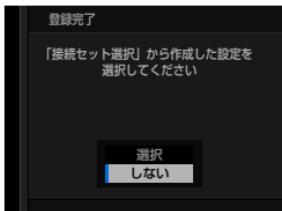


16 接続セットの名前を登録します。



17 選択を選びます。

 **接続セット選択**あとから選択することも
できます。



18 パーソナルコンピューターやタブレットからカメラに接続します
( 303)。

パソコンコンピューターやタブレットからカメラに接続する

パソコンコンピューターやタブレットのブラウザーからカメラに接続します。

 高速なアクセスポイント（5GHz帯など）の使用や接続をおすすめします。

1台目のカメラを接続する場合

ブラウザーを操作してIPアドレスを入力するか、カメラに表示されるQRコードをカメラアプリで読み込んで接続します。

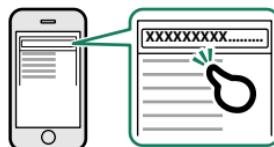
IPアドレスを入力して接続する

- 1 ネットワーク/USB設定メニューの情報表示 > ハードウェア情報を選びます。

カメラのIPアドレスが表示されます。

- 2 パソコンコンピューターやタブレットのブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力します。

(例) カメラのIPアドレスが「192.168.0.11」の場合、「<http://192.168.0.11>」と入力します。



- 3 ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されます。



QR コードを読み込んで接続する

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの情報表示 > ハードウェア情報を選びます。

QR コードが表示されます。

- 2 タブレットのカメラアプリを起動して、QR コードを読み込みます。
ブラウザーが起動し、リモート録画機能の画面が表示されます。

2 台目以降のカメラを接続する場合

ブラウザーのリモート録画機能の画面で IP アドレスを入力するか、QR コードを読み込んで接続します。

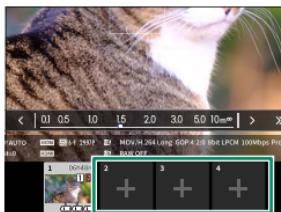
-  2 台目以降のカメラを接続するときは、あらかじめ 1 台目のカメラと **サーバータイプ** を同じ設定にしてください (☞ 298)。

IP アドレスを入力して接続する

- 1 ネットワーク /USB 設定メニューの情報表示 > ハードウェア情報を選びます。

カメラの IP アドレスが表示されます。

- 2 リモート録画機能の画面の「操作対象カメラ選択」で +マークのサムネイルをクリックまたはタップします。



- 3 入力画面が表示されたら、カメラの IP アドレスとユーザー名、パスワードを入力します。
ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されます。



QR コードを読み込んで接続する

 2台目以降のカメラとの接続を QR コードを読み込んで接続したい場合は、あらかじめ 1台目のカメラと 2台目以降のカメラのサーバータイプを **HTTPS** に設定してください。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの情報表示 > ハードウェア情報を選びます。

QR コードが表示されます。

2 「操作対象カメラ選択」で+マークのサムネイルをタップします。



3 「QR コードで接続」をタップして、カメラに表示された QR コードを読み込みます。

ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されます。



2台目以降のカメラの接続を解除する場合

2台目以降のカメラとの接続を解除したい場合は、「リモート録画機能メニュー」で接続機器の解除を選び、解除したいカメラのサムネイルをクリックまたはタップします。

リモート録画機能の表示画面

リモート録画機能の表示画面と各部の詳細については次の通りです。

■ 画面のレイアウトはパソコンやタブレットの画面サイズなどによって異なります。

画面全体



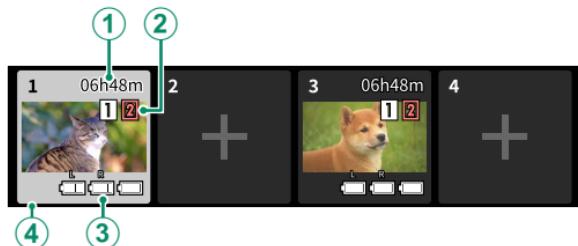
項目	内容
① カメラ設定メニュー	選択しているカメラの設定を変更することができます。
② REC/STOP 対象カメラ選択	録画を開始したり停止したりするカメラを選択できます。複数台を同時に選択することもできます。
③ STOP ボタン	動画撮影を停止します。
④ REC ボタン	動画撮影を開始します。
⑤ 操作対象カメラ選択	接続されているカメラのライブビューがサムネイル表示されます。選択すると、そのカメラを操作することができます。
⑥ カード内動画確認ボタン	選択したカメラ内内のメモリーカードに記録されている動画を確認することができます。
⑦ カメラ設定メニュー（詳細）	選択しているカメラの設定（詳細）を変更できます。
⑧ 画面ロックボタン	リモート録画機能の画面の操作を有効にしたり、無効にしたりすることができます。
⑨ 表示切り替えボタン	画面表示を切り替えることができます。
⑩ リモート録画機能メニュー	リモート録画機能の設定を変更できます（ 309 ）。
⑪ カメラ本体ロックボタン	選択しているカメラ本体をロックしたりロックを解除したり、カメラの操作を無効にできます。



ロック中に接続を解除するとカメラはロックされたままになります。その場合はカメラの電源をオフにしてください。

操作対象カメラ選択

接続されているカメラのライブビューがサムネイル表示されます。選択すると、そのカメラを操作することができます。



項目	内容
① 動画の記録可能時間	動画撮影可能な残り時間が表示されます。残り時間が少なくなるとサムネイルが点滅し、表示時間が赤くなります。
② カードスロット設定	カメラのメディア記録設定が表示されます。記録中のスロットには橙色のマークが付きます。何らかの理由でカードが記録できない状態のときは赤色で表示されます。
③ バッテリー残量表示	バッテリーの残量が表示されます。バッテリー残量が少なくなるとサムネイルが点滅します。
④ サムネイル枠	選択中は枠が表示されます。選択中でなくても、記録中は赤色になります。ハイスピード動画での記録中は緑色になります。

リモート録画機能メニュー

リモート録画機能の設定を変更できます。

ヒストグラムを表示

ヒストグラムの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます。

マイクレベルを表示

マイクレベルの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます。

ウェーブフォーム / ベクトルスコープを表示

ウェーブフォーム / ベクトルスコープの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます (図 190)。

ツールバーを表示

ブラウザーのツールバーを隠したり表示したりを切り替えることができます。

画質優先で表示 / リアルタイム性優先で表示

ライブビューの表示方法を、画質優先 / リアルタイム性優先で切り替えることができます。

- 画質優先では、ライブビューの画質を最大にしますが、ライブビューに遅延が発生する場合があります。
- リアルタイム性優先では、ネットワーク環境によらずライブビュー表示の遅延を最小限にすることができます。

ライトモード / ダークモード

リモート録画機能画面のテーマカラーをライトモード / ダークモードで切り替えることができます。

カメラ接続を終了

「操作対象カメラ選択」で接続解除したいカメラのサムネイルをクリックまたはタップすると、接続を解除できます。

リモート録画機能で録画する

1台もしくは複数台のカメラを選んで録画を開始したり、録画中の一部のカメラのみ録画を停止したりすることができます。

1 録画を開始したいカメラを「REC/STOP 対象カメラ選択」で選びます。
「REC/STOP 対象カメラ選択」でカメラの番号をクリックまたはタップすると、番号の背景が反転表示され、選択されます。

2 「REC ボタン」を押します。
選んだカメラが録画を開始します。録画しているカメラのサムネイル枠に色が付きます。

3 録画を停止したいカメラを「REC/STOP 対象カメラ選択」で選びます。
「REC/STOP 対象カメラ選択」でカメラの番号をクリックまたはタップすると、番号の背景が反転表示され、選択されます。

4 「STOP ボタン」を押します。
選んだカメラが録画を停止します。

撮影した動画を確認する

カメラのメモリーカードに記録されている動画を確認できます。

1 確認したいカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カード内動画確認ボタン」を押します。
選んだカメラのメモリーカード内にあるファイルの一覧が表示されます。

カメラの設定の保存や読み込みをする

接続しているカメラの設定をパソコンコンピューターやタブレットに保存したり、保存した設定を読み込んだりできます。

カメラの設定を保存する

カメラの設定を設定ファイルとしてパソコンコンピューターやタブレットに保存します。

1 設定を保存したいカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カメラ設定メニュー（詳細）」を選び、「設定保存」を選びます。



3 「設定保存」を押します。

パソコンコンピューターやタブレットに設定ファイルが保存されます。

保存した設定をカメラに読み込む

保存した設定ファイルをカメラに読み込みます。

1 設定を読み込みたいカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カメラ設定メニュー（詳細）」を選び、「設定読込」を選びます。



3 読み込みたい設定のファイルを選び「設定読込」を押します。

選んだカメラに設定が読み込まれます。



- ファイルの場所や読み込む方法はパソコンコンピューターやタブレットによって異なります。
- 設定ファイルは同一の機種にのみ使用することができます。

【カメラの設定を他のカメラにコピーする

接続している複数のカメラ同士で設定をコピーします。

1 コピー元のカメラを「操作対象カメラ選択」で選びます。

2 「カメラ設定メニュー（詳細）」を選び、「コピー」を選びます。



3 コピー先のカメラのチェックボックスにチェックを入れ、「設定コピー」を押します。
コピー元のカメラの設定がコピー先のカメラにコピーされます。



 設定ファイルは同一の機種にのみ使用することができます。

ネットワーク /USB 設定メニュー

カメラのネットワーク /USB 機能の設定を変更できます。

撮影画面または再生画面で **MENU/OK** ボタンを押し、**■** (ネットワーク /USB 設定) タブを選びます。



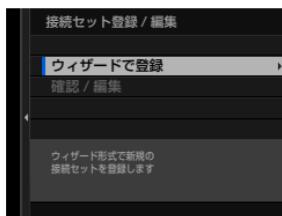
接続セット登録 / 編集

接続セットを登録 / 編集できます。

1 ウィザードで登録

接続セットに使用したいネットワーク /USB 機能と通信方法を登録します。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの接続
セット登録 / 編集 > ウィザードで登録を
選びます。



2 使用したいネットワーク/USB 機能を選びます。

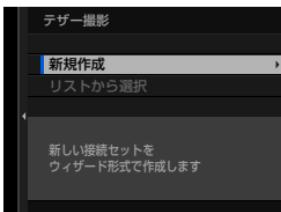


以下の接続セットは登録済みです。使用するときは接続セット選択で選んでください。

- 1 : 標準設定
- 2 : USB カードリーダー
- 3 : USB テザー撮影 自動
- 4 : USB テザー撮影 固定
- 5 : USB RAW 現像 / 設定保存読込
- 6 : USB WEBCAM

3 新規作成を選びます。

テザー撮影の場合はこの画面が表示されます。新しく設定する場合は新規作成を選んでください。



4 ネットワーク/USB 機能の設定をします。

設定方法はそれぞれのページをご覧ください。

- テザー撮影をする (260)
- FTP サーバーへ画像転送する (278)
- ブラウザーからリモート録画機能で動画を撮影する (293)

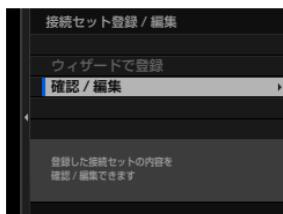
登録した接続セットには通信セットを示すアイコンが表示されます。

確認 / 編集

登録した接続セットの設定を確認したり、編集したりすることができます。

 ここでは、テザー撮影の接続セットの接続方法を編集する手順を主に説明します。

1 ネットワーク /USB 設定メニューの接続セット登録 / 編集 > 確認 / 編集 を選びます。



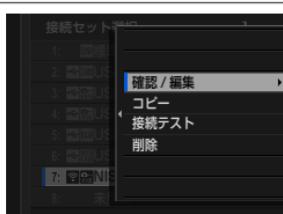
2 接続セットを選びます。

 1 : 標準設定から 6 : USB WEBCAM の接続セットは選べません。



3 確認 / 編集 を選びます。

- コピーを選ぶと、別の接続セットに設定をコピーできます。すでに登録されている接続セットをコピー先として選ぶと、手順 2 で選んだ接続セットの設定が上書きされます。
- 接続テストを選ぶと、接続できるかどうかをテストできます。
- 削除を選ぶと、選んだ接続セットを削除します。



4 通信セットを選びます。



- 接続セット名編集を選ぶと、接続セットの名前を変更できます。
- FTP 転送の接続セットを選んでいる場合は、FTP サーバー設定で FTP サーバーとの接続設定の確認や変更ができます (☞ 285)。
- リモート録画機能の接続セットを選んでいる場合は、リモート録画機能設定でリモート録画機能の設定の確認や変更ができます (☞ 296, 301)。



5 登録した通信セットを選びます。

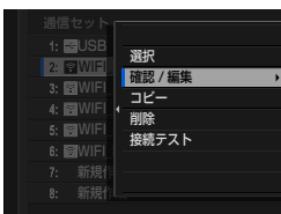


- 新規作成を選ぶと、新しく通信セットを設定することができます。



6 確認 / 編集を選びます。

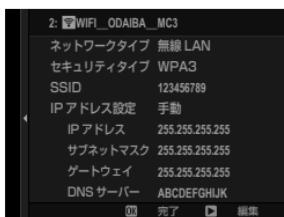
- 選択を選ぶと、選んだ通信セットを接続セットに登録します。
- コピーを選ぶと、別の通信セットに設定をコピーできます。すでに登録されている通信セットをコピー先として選ぶと、手順 5 で選んだ通信セットの設定が上書きされます。
- 削除を選ぶと、選んだ通信セットを削除します。接続セットに登録されている通信セットを削除した場合、その接続セットは削除されます。
- 接続テストを選ぶと、接続できるかどうかをテストできます。



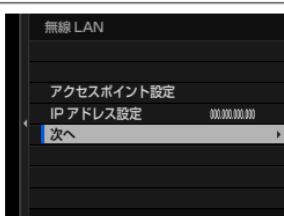
7 設定の一覧画面が表示されたら、確認し、問題がない場合は完了を選びます。変更する場合はフォーカスレバーを右に押して編集します。

通信セットの設定ができます。「アクセスポイント登録で簡単接続する（図 264）」や「IP アドレスを設定して接続する（図 265）」をご覧ください。

8 通信セットの設定が終わったら、次へを選びます。



9 通信セットの名前を登録します。



10 選択するを選ぶと選んだ接続セットの通信セットが変更されます。



11 設定完了を選んで接続セットの編集を終了します。



接続セット選択

使用する接続セットを選べます。

接続セット	内容
1 : 標準設定	スマートフォンアプリケーションを使ったり、instax プリンターでプリントしたりすることができます。
2 : USB カード リーダー	パーソナルコンピューターやスマートフォンと USB ケーブルで接続して、メモリーカード内の画像を転送できます。
3 : USB テザー撮影 自動	パーソナルコンピューター上でカメラを操作して、静止画を撮影できます。 • 3: USB テザー撮影 自動 を選ぶと、接続したパーソナルコンピューターの電源がオンのときは自動的にテザー撮影状態になり、オフのときはテザー撮影状態にはなりません。
4 : USB テザー撮影 固定	• 4: USB テザー撮影 固定 を選ぶと、パーソナルコンピューターと接続していないときもカメラは常にテザー撮影状態になります。
5 : USB RAW 現像 / 設定保存読み込み	カメラの画像処理エンジンを使用した RAW 現像をパーソナルコンピューター上で行ったり、カメラの設定の保存や保存した設定を読み込んだりできます。
6 : USB WEBCAM	パーソナルコンピューターと USB ケーブルで接続して、パーソナルコンピューター上でウェブカメラとして使用できます。
7 ~ 16 : 登録した接続セット	接続セット登録 / 編集で登録したネットワーク /USB 機能が使えます。

接続セットを選択する

あらかじめ用意されている接続セットや、登録した接続セットを使用します。

- 1 ネットワーク/USB 設定メニューの接続セット選択を選びます。**



- 2 使用したい接続セットを選びます。**



機内モード

ON にすると無線 LAN や Bluetooth をオフにできます。

設定値	
ON	
	OFF

Bluetooth/スマートフォン設定

Bluetooth接続に関する設定や、スマートフォンに関するさまざまな設定ができます。

スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーションをインストールしておく必要があります。

ペアリング登録

スマートフォンアプリケーションがインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。

ペアリング接続先選択

ペアリング登録で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。**接続なし**を選択するとスマートフォンと接続しません。

ペアリング削除

ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。

削除されたスマートフォンはペアリング接続先選択のリストからも削除されます。

Bluetooth機器一覧

ペアリング登録されている機器のうち、スマートフォン以外の機器の一覧を確認したり、ペアリングを削除したりできます。

Bluetooth ON/OFF

ON にすると、ペアリング登録したスマートフォンでスマートフォンアプリケーションが起動したときに、カメラが自動的にスマートフォンと接続します。

設定値	
ON	
	OFF

撮影時自動画像転送

ON にすると、撮影したときに画像を自動的に転送します。

設定値	
ON	
	OFF

スマートフォン位置情報同期

ON にすると、ペアリング登録されているスマートフォンと位置情報を同期します。

設定値	
ON	
	OFF

- !** スマートフォンアプリケーションが起動している必要があります。なお、スマートフォンアプリケーションが起動していても、途中でペアリングが切断された場合は、同期も中断されます。最後に位置情報を取得してから 30 分以上更新がないと、カメラの位置情報取得マークが赤い表示に変わります。

名前

無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときに、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。

設定値		
ON		OFF

スマートフォン送信時圧縮

スマートフォンへ画像を送信するときの画像サイズを変更できます。**ON** にすると、画像サイズを圧縮して送信します。**ON** での使用をおすすめします。

設定値		
ON 	ON 	OFF

	<ul style="list-style-type: none">メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズは変更されません。記録画像サイズが L サイズ、M サイズの場合に、画像サイズを圧縮して転送します。このとき、ON  のときは約 12 メガピクセル、ON  のときは約 6 メガピクセルに圧縮されます。圧縮後のサイズは画像のアスペクト比によって異なります。
--	--

無線通信周波数設定

無線 LAN 通信を行うときの無線 LAN の周波数を設定します。

設定値	
2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)	5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)

	<ul style="list-style-type: none">5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯(W52)が使用可能かご確認ください。購入した国・地域によって選べる設定値は異なります。
--	---

ファイル形式選択

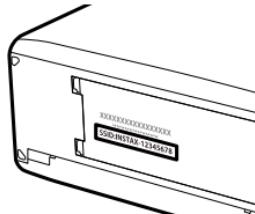
転送する画像のファイル形式を設定します。**JPEG** と **HEIF** の **ON** と **OFF** をそれぞれ設定できます。

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



Frame.io Camera to Cloud

Frame.io に関するさまざまな設定ができます。

接続する

Frame.io に接続できます。

サブメニュー	説明
無線 LAN	無線 LAN で接続します。
有線 LAN	有線 LAN で接続します。
接続コードを取得	Frame.io プロジェクトに接続するための接続コードを表示します。

 接続コードはカメラが Frame.io に接続しているときのみ表示されます。

切断する

Frame.io プロジェクトとの接続を解除して、ネットワーク接続を終了します。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー			
MOV - PROXY	MOV - ProRes	OTHER MOV/ MP4	JPEG
RAW	HEIF	TIFF	

アップロード設定

Frame.io でファイルを転送するときの設定ができます。

画像を選択して転送

撮影したファイルを選んで転送予約できます。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

設定値	
ON	OFF

転送 / 一時停止

Frame.io への転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときにファイルを Frame.io に転送します。

設定値	
ON	OFF

ルート証明書

Frame.io への接続に必要なルート証明書をカメラに設定できます。

サブメニュー	説明
記録メディアから 読み込み	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

 ルート証明書の設定は、ネットワーク /USB 設定メニューの **FTP オプション** 設定 > ルート証明書と共に通です。片方のルート証明書を変更すると、もう片方も変更されます。

アップロード状況

Frame.io へのファイルの転送状況を確認できます。

転送予約リスト

転送待ちのファイルを確認できます。

転送予約リセット

Frame.io へのすべての転送予約を解除できます。

FTP オプション設定

FTP 転送に関するさまざまな設定ができます。

画像を選択して転送

撮影した画像を選んで転送予約できます (図 288)。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影した画像を自動的に転送予約します。

設定値

ON

OFF

ファイル形式選択

転送する画像のファイル形式を設定します。ファイル形式ごとに ON と OFF をそれぞれ設定できます。

サブメニュー

JPEG

RAW

HEIF

TIFF

MOV

MP4

FTP 転送のキャプション

FTP 転送する画像や動画に付けるキャプションを設定できます。

サブメニュー

説明

デフォルト
キャプション

保存設定 > デフォルトキャプションで設定したキャプションを付けています。

登録した
キャプション

キャプションを作成したり、作成したキャプションを選んだりすることができます。

キャプションなし

キャプションを付けずに転送します。

転送 / 一時停止

FTP サーバーへの転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値

転送

一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときに、撮影した画像を FTP サーバーに転送します。

設定値	
ON	
OFF	

FTP パワーセーブ

ON にすると、予約したファイルの転送が終わった時にネットワーク機能の電源をオフにして節電します。FTP 転送が追加予約されると、再びネットワーク機能の電源をオンにして転送を行います。

設定値	
ON	
OFF	

ルート証明書

FTP サーバータイプに **FTPS** を設定しているときに使用する独自のルート証明書をカメラに設定できます (図 285)。

サブメニュー	説明
メモリーカードから 読み込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。

 ルート証明書の設定は、ネットワーク/USB 設定メニューの **Frame.io Camera to Cloud** > アップロード設定 > ルート証明書と共にあります。片方のルート証明書を変更すると、もう片方も変更されます。

転送予約リセット

選択している接続セットに登録されている FTP サーバーへの、すべての転送予約を解除できます。

USB 給電 / 通信設定

パソコン用USB端子やスマートフォンなどの機器とUSBケーブルで接続したときにカメラに給電するか、カメラと通信するかを設定します。

設定	説明
自動	接続した機器からカメラに給電するか、接続した機器と通信するかを自動的に切り替えます。
給電 ON/ 通信 OFF	接続した機器から給電します。カメラのバッテリーの消費を抑えることができます。接続した機器との通信はできません。
給電 OFF/ 通信 ON	カメラに給電せず、接続した機器と通信を行います。

-  給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ機器からは給電できません。これらの機器と接続するときはあらかじめ **給電 OFF/ 通信 ON** に設定してください。**給電 ON/ 通信 OFF** のまま接続すると、データの転送などができない場合があります。

-  カメラの電源がオフのときは、設定にかかわらずバッテリーの充電を行います。

情報表示

通信に関する情報を表示します。

サブメニュー	説明
ハードウェア情報	カメラの無線 LAN および有線 LAN の MAC アドレスおよび IP アドレス、Bluetooth の MAC アドレスを確認することができます。
転送予約状況	Frame.io や FTP サーバーへの画像の転送先や転送状況を確認することができます。
エラーの詳細	画面に  や  が表示されたときにエラーの内容を確認できます (図 464)。

ネットワーク /USB 設定初期化

ネットワーク /USB 設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。

MEMO

9

セットアップメニュー

セットアップメニュー (基本設定)

カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**■** (セットアップ) タブを選び、**基本設定** を選びます。



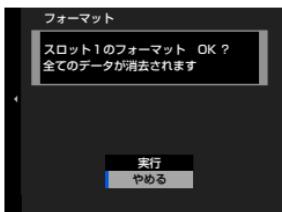
フォーマット

メモリーカードや USB 接続した SSD をフォーマット (初期化) します。

- 1 セットアップメニューから **■ 基本設定** > **フォーマット** を選びます。
- 2 フォーマットしたいメモリーカードが入っているスロット (スロット 1/スロット 2) を選びます。

■ USB 端子に SSD が接続されているときは SSD も選べます。

- 3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



- 4 実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

■ 確認画面で **やめる** を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- !**
- ・プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
 - ・フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

■ **■** (消去) ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を長押ししてもフォーマット画面を表示できます。

① エリア設定

お住まいの地域やサマータイムの設定をします。

エリア設定

世界地図からお住まいの地域を選択します。

サマータイム

サマータイムを使用するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	サマータイムを使用します。
OFF	サマータイムを使用しません。

日時設定

日付と時刻を設定します。

1 セットアップメニューから  基本設定 > 日時設定を選びます。

2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。

3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、
フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。

4 MENU/OK ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	現在設定されている日時を表示します。
現地	旅行先の日時を表示します。

- ①  **→** 現地を選ぶときは、あらかじめ  エリア設定でお住まいの地域を設定してください。

現地時間の設定方法

1 **→** 現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの左右で旅行先のエリアを選びます。

-  サマータイムを使用したいときはサマータイムを **ON** に設定してください。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

-  **→** 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に **→** と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

 **言語/LANG.**

メニューなどを表示する言語を設定します。

 **マイメニュー設定**

静止画撮影時によく使うメニューなどを **MY マイメニュー** に登録しておくことができます（[図 377](#)）。

 **マイメニュー設定**

動画撮影時によく使うメニューなどを **MY マイメニュー** に登録しておくことができます（[図 377](#)）。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、プロワーでセンサーをクリーニングしてください (図 442)。

バッテリー劣化度

バッテリーの劣化状態をチェックできます。

バッテリーの劣化状態を0～4の目盛りの位置で表示します。数値が大きいほどバッテリーの劣化が進んでいることを示します。



 バッテリーが劣化すると、バッテリーの消耗が早くなります。新しいバッテリーをお買い求めいただくことをおすすめします。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- 1 リセットするメニューを選び MENU/OK ボタンを押します。

設定	説明
静止画メニュー リセット	静止画撮影メニューの カスタム登録 / 編集の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
動画メニュー リセット	動画撮影メニューの カスタム登録 / 編集の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの 日時設定、 エリア設定、 世界時計、 著作権情報以外がリセットされます。
初期化	ホワイトバランスのカスタムの内容以外の全ての設定がリセットされます。

- 2 確認画面で実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。

認証

セットアップメニューの 基本設定 > 認証を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

セットアップメニュー (音設定)

カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**音設定** を選びます。



AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
●●●	音量「大」に設定します。
●●	音量「中」に設定します。
●	音量「小」に設定します。
●OFF	消音に設定します。

セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
●●●	音量「大」に設定します。
●●	音量「中」に設定します。
●	音量「小」に設定します。
●OFF	消音に設定します。

操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
🔊	音量「大」に設定します。
🔉	音量「中」に設定します。
🔈	音量「小」に設定します。
🔇 OFF	消音に設定します。

REC 開始終了音量

動画撮影を開始するときと終了するときの音量を設定します。

設定	説明
🔊	音量「大」に設定します。
🔉	音量「中」に設定します。
🔈	音量「小」に設定します。
🔇 OFF	消音に設定します。

MSEF 電子シャッター音量

メカニカルシャッターや電子先幕シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
🔊	音量「大」に設定します。
🔉	音量「中」に設定します。
🔈	音量「小」に設定します。
🔇 OFF	消音に設定します。

MS EF 電子シャッター音

メカニカルシャッターや電子先幕シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド1	シャッター音1に設定します。
♪2サウンド2	シャッター音2に設定します。
♪3サウンド3	シャッター音3に設定します。

ES 電子シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
■(1)	音量「大」に設定します。
■(2)	音量「中」に設定します。
■(3)	音量「小」に設定します。
■OFF	消音に設定します。

ES 電子シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
♪1サウンド1	シャッター音1に設定します。
♪2サウンド2	シャッター音2に設定します。
♪3サウンド3	シャッター音3に設定します。

再生音量

動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。

4ch 音声再生

XLRマイクアダプターを使用して、4ch録音で撮影された動画を再生するときの音声を選べます。

設定	説明
XLR	XLRマイクアダプターに取り付けられた外部マイクの音声を再生します。
カメラ	カメラの内蔵マイクまたはマイク端子に取り付けられた外部マイクの音声を再生します。

 再生画面でフォーカスレバーを中央に押して設定を切り替えることもできます。

セットアップメニュー (表示設定)

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**表示設定**を選びます。



VIEW MODE 設定

アイセンサー、EVF (ファインダー)、LCD (液晶モニター) の設定を切り替えます (図 20)。

EVF 明るさ

EVF (ファインダー) の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	基準の明るさを設定すると、カメラが自動的に適切な明るさに調整します。
マニュアル	-7 ~ +5 の明るさを手動で調整します。

EVF 鮮やかさ

EVF (ファインダー) の鮮やかさを調整できます。

設定値

-5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5

EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。



2 MENU/OK ボタンで決定します。

LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値

-5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値

-5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5

LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。

2 MENU/OK ボタンで決定します。

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッター <button>ボタン</button> を半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。フォーカスレバーを中央に押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッター <button>ボタン</button> を半押しすると、表示を終了します。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

縦横自動回転表示

ON にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	
	OFF

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（M）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。ダイライトシンクロ撮影など、撮影時に露出の条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。タンクステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。

ナチュラルライブビュー

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいためにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピアでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

F-Log ビューアシスト

ON になると、F-Log 撮影時や F-Log 撮影した動画の再生時に、階調補正を適用した映像（BT.709 相当）を画面に表示します。

設定値	
ON	
	OFF

電子水準器設定

撮影時の電子水準器の表示を設定できます（図 27）。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
<input checked="" type="checkbox"/> 方眼 9分割	縦横にガイド線が表示されます（9コマ）。	
<input checked="" type="checkbox"/> 方眼 24分割	縦横にガイド線が表示されます（24コマ）。	
<input checked="" type="checkbox"/> HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください（図 25）。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値

ON

OFF

再生時拡大倍率

再生時にリアコマンドダイヤルの中央を押して画像を拡大するときの拡大倍率を変更できます。

設定	説明
2倍(中央から)	撮影した画像の中央をそれぞれ設定した倍率で拡大表示します。
4倍(中央から)	画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。
8倍(中央から)	フォーカスエリア枠を中心にピクセル等倍で表示します。撮影した画像サイズにより、拡大倍率は変わります。
等倍(合焦点から)	前回に画像を再生したときの拡大倍率で、画像の中央を拡大表示します。画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。
前回の倍率(中央から)	前回に画像を再生したときの拡大倍率で、画像の中央を拡大表示します。画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。

2画面モード表示設定

情報表示切り替えの「2画面」の表示設定を変更できます。

設定	説明
R: フォーカス L: フレーム	R（右）側の子画面（小さい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）に撮影画面全体を表示します。
R: フレーム L: フォーカス	R（右）側の子画面（小さい画面）に撮影画面全体を表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示します。

EVF フル表示倍率

EVF をフル表示したときの表示倍率を設定できます。

設定値			
1.00x	0.94x	0.89x	0.83x

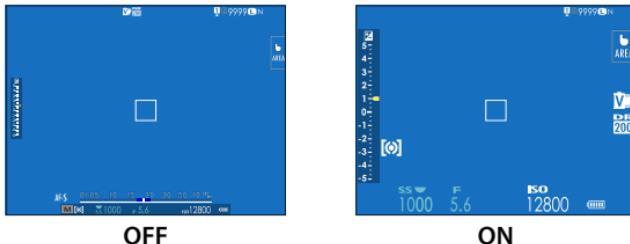
 消費電力設定 > パフォーマンスを EVF 表示フレームレート優先（120P）または EVF 表示フレームレート優先（240P 相当）に設定している場合、表示倍率は変更できません。このとき、表示倍率は 0.77x に設定されます。

画面のカスタマイズ

撮影時の「ノーマル」画面に表示したい項目を設定できます（ 25）。

情報表示拡大モード (EVF)

ON にすると、EVF 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大** 表示設定で変更できます。

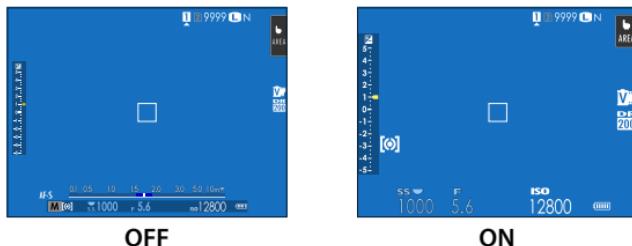


! 情報表示拡大モード (EVF) を **ON** にすると、一部のアイコンが非表示になります (図 17)。

! ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの **ON/OFF** を切り替えられます (図 385)。

情報表示拡大モード (LCD)

ON になると、LCD 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大** 表示設定で変更できます。



! 情報表示拡大モード (LCD) を **ON** になると、一部のアイコンが非表示になります (図 19)。

◆ ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの **ON/OFF** を切り替えられます (図 385)。

情報表示拡大 表示設定

表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF)、情報表示拡大モード (LCD) を ON にしたときに拡大表示する項目を変更できます。



サブメニュー	説明
① 露出表示	画面の下部に表示する項目を選びます。画面に表示する項目には、 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。
② <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ	ON にすると、露出補正ゲージが拡大表示されます。
③ L1、L2、L3、L4	画面の左側に拡大表示するアイコンを最大 4 つまで選択できます。
④ R1、R2、R3、R4	画面の右側に拡大表示するアイコンを最大 4 つまで選択できます。

情報表示コントラスト調整

表示画面のコントラストを調整できます。

設定	説明
高コントラスト	コントラストを高めに（明暗差を大きく）設定します。
通常	通常表示です。
低コントラスト	コントラストを低めに（明暗差を小さく）設定します。
暗所	暗い環境で使用するときに適したコントラストに設定します。

位置情報表示

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を表示できます。

設定値

ON

OFF

サブ液晶モニター設定

サブ液晶モニターに表示する画面を設定します。設定は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。設定できる画面は次のとおりです。

設定	説明
情報表示	カメラの設定を表示します。表示する項目は変更できます。
ダイヤル	ISO 感度とシャッタースピードをダイヤルのイラストで表示します。
ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。

 サブ液晶モニター切替ボタンを押すことで、それぞれの画面を切り替えることができます。

情報表示に表示する項目を変更する

情報表示に表示する項目は次のように変更できます。

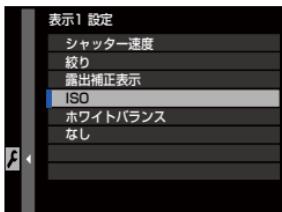
- 1 セットアップメニューから  表示設定 > サブ液晶モニター設定を選びます。
- 2 静止画撮影時または動画撮影時を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3 情報表示を選び、MENU/OK ボタンを押します。



4 表示を変更する場所を選び、MENU/OKボタンを押します。



5 表示する項目を選び、MENU/OKボタンを押します。



割り当て可能な項目は次のとおりです。

静止画撮影時

- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正表示
- ISO
- 撮影モード
- 測光
- ドライブモード
- フォーカスマード
- ホワイトバランス
- 画像サイズ
- 画質モード
- シャッターワイド
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 35mm フォーマットモード
- ブーストモード
- ブレ防止
- セルフタイマー
- 通信状況
- なし

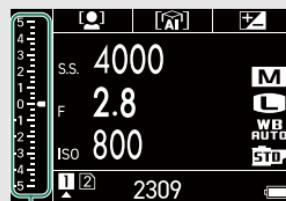
動画撮影時

- ・タイムコード
- ・記録可能時間 / 録画時間
- ・記録可能時間
- ・録画時間
- ・シャッター速度
- ・絞り
- ・露出補正表示
- ・ISO
- ・撮影モード
- ・測光
- ・フォーカスマード
- ・ホワイトバランス
- ・フィルム シミュレーション
- ・ダイナミックレンジ
- ・動画フォーマット
- ・ブーストモード
- ・ブレ防止
- ・セルフタイマー
- ・通信状況
- ・なし

6 手順 4 と手順 5 を繰り返して、表示項目を設定します。



□ ゲージの場所はゲージのオンまたはオフのみ選べます。



□ ゲージ

サブ液晶モニター背景色

周囲の明るさや暗さに応じてサブ液晶モニターの背景色を変えることで、サブ液晶モニターを見やすくできます。

設定	説明
黒	暗い場所で撮影するときに選びます。
白	明るい場所で撮影するときに選びます。

 サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

□ クイックメニュー背景設定

静止画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

設定値
透明

黒

▢ クイックメニュー背景設定

動画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

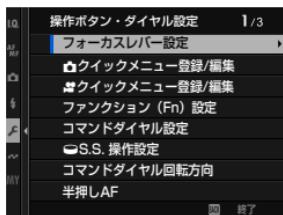
設定値
透明

黒

セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定)

カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定** を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
◎ ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

□ クイックメニュー登録 / 編集

静止画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (図 379)。

■ クイックメニュー登録 / 編集

動画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (図 379)。

ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます (図 385)。

コマンドダイヤル設定

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンド ダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 にシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト)) または絞り値 (絞り)* を割り当てます。
フロントコマンド ダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3 に、シャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り)*、露出補正 (露出補正)、ISO 感度 (ISO)、またはなしを割り当てます。
フロントコマンド ダイヤル 3	リアコマンドダイヤル回転時の機能をシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り)*、露出補正 (露出補正)、ISO 感度 (ISO)、またはなしに割り当てます。
露出補正割り当て	露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときに、フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルのどちらか、または両方で露出補正をするかを選びます。

* 撮影モードが **A** (絞り優先) か **M** (マニュアル) で、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているとき



- コマンドダイヤル設定は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 の順に切り替えます。

○ S.S. 操作設定

OFF になると、コマンドダイヤルによるシャッタースピードの微調整機能が無効になります。

設定値	
ON	
	OFF

コマンドダイヤル回転方向

コマンドダイヤルで数値を変更するときの、ダイヤルを回す向きを変更できます。フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルでそれぞれ設定できます。

設定	説明
→ ← +	コマンドダイヤルを右に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。
+ ← →	コマンドダイヤルを左に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。

半押し AF

ON になると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	<ul style="list-style-type: none"> • ON：シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。 • OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。
AF-C	<ul style="list-style-type: none"> • ON：シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。 • OFF：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。

半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時に AE ロック(露出を固定)します。フォーカスマードが **S** (AF-S) または **M** (マニュアルフォーカス) のときと、**C** (AF-C) のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定値

ON

OFF

 連写時に露出を追従させたいときは、**OFF**にしてください。

レンズなしレリーズ

ON にすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値

ON

OFF

カードなしレリーズ

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニュー や セットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスマードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
⌚ 時計回り	フォーカスリングの回転方向を ⌚ 時計回りに設定します。
⌚ 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を ⌚ 反時計回りに設定します。

フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
リニア	回転速度に応じず、回転量に対してリニアにピント移動します。

AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

AWB-LOCK 設定

AWB（オートホワイトバランス）ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。AWBロックを使用すると、ホワイトバランス設定が **WB AUTO ホワイト優先**、**AUTO**、**WB AUTO 霧囲気優先**のときにホワイトバランスを固定できます。

設定	説明
<input checked="" type="checkbox"/> AWB-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AWBロックします。
<input checked="" type="checkbox"/> 押下切替	ボタンを押すとAWBロックされ、もう1度ボタンを押すと解除されます。

露出補正ボタン設定

露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 押下中のみ (P)	ボタンを押している間、リアコマンドダイヤルで露出を補正できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 押下切替 (S)	ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。

▶ Fn1 ボタン設定

再生モードで Fn1 ボタンを押したときの動作を設定できます。

設定	説明
▣ スマートフォン 転送予約	表示している画像を転送予約します。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/スマートフォン設定 の画面が表示されます。
▣ 選択 & スマート フォン転送予約	画像選択画面を表示します。ペアリングしているスマートフォンに転送する画像を選んで転送予約できます（  233）。スマートフォンとペアリングしていないときは Bluetooth/スマートフォン設定 の画面が表示されます。
■FTP FTP 転送予約	表示している画像を FTP サーバーに転送予約します。
■FTP FTP 優先転送 予約	表示している画像を FTP サーバーに優先転送予約します。すでに転送予約中の画像がある場合でも先に転送されます。
■Frame.io 転送予約	表示している画像を Frame.io に転送予約します。
⌚ ワイヤレス通信	ワイヤレス通信を行います。

タッチパネル設定

液晶モニター (LCD) のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

■ タッチパネル設定

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター (LCD) をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

■ ダブルタップ拡大

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター (LCD) を 2 回タッチすると、画像が拡大します。
OFF	タッチによる画像拡大はしません。

■ タッチファンクション

設定	説明
ON	タッチファンクションを使用します。
OFF	タッチファンクションを使用しません。

■ タッチパネル設定

設定	説明
ON	再生時に液晶モニター (LCD) をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

EVF タッチパネル有効範囲

EVF 使用時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。タッチパネルの有効範囲は次のの中から選びます。

設定	説明
<input type="checkbox"/>	全面で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右下 1/4 側で動作
<input type="checkbox"/>	左半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左下 1/4 側で動作
OFF	タッチパネルとして使用しません。

ロック

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

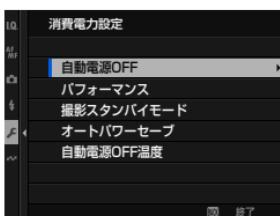
サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none"> 解除：ロック指定を解除します。 全てロック：機能別ロック設定で選択できるすべてのボタンや機能を一括でロックします。 機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを長押しすると機能別ロックができます。もう一度長押しするとロックを解除します。

■ セットアップメニュー (消費電力設定)

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**F** (セットアップ) タブを選び、**消費電力設定**を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	
2分	
1分	
30秒	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能や EVF 表示の性能がアップします。

設定	説明
ブースト	<p>カメラの AF 性能や EVF 表示の性能がアップします。バッテリーの持続時間はノーマルよりも短くなります。</p> <p>次の中から優先する項目を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AF 優先 - 通常：オートフォーカスの動作速度を速くします。 • AF 優先 - 低照度：オートフォーカスの動作速度を速くし、さらに EVF や LCD の明るさを調整して暗所での被写体を見やすく表示します。映像にブレが生じると、残像が発生する場合があります。 • EVF 表示解像度優先：ファインダー表示の解像度を高くなります。 • EVF 表示フレームレート優先 (120P)：EVF 表示のフレームレートを高くして、動きをなめらかに表示します。 • EVF 表示フレームレート優先 (240P 相当)：EVF 表示フレームレート優先 (120P) よりもフレームレートを高くして、動きをよりなめらかに表示します。EVF の輝度が低くなることがあります。 <p> • 液晶モニター表示の場合は、AF 優先 - 通常で動作します。</p> <p>• EVF 表示フレームレート優先 (120P) または EVF 表示フレームレート優先 (240P 相当) に設定している場合、■ 表示設定 > EVF フル表示倍率 の設定は変更できません。このとき、表示倍率は 0.77x に設定されます。</p>
ノーマル	カメラの AF 性能や EVF 表示の性能、バッテリーの持続時間を標準の性能にします。

撮影スタンバイモード

撮影スタンバイモードになるまでの時間を設定できます。

設定	説明
5分	
2分	設定した時間カメラを操作しないと、カメラ機能が休止し省電力モードになります。復帰する場合は MENU/OK ボタンなどを押してください。
1分	
30秒	
15秒	
OFF	撮影スタンバイモードは使用しません。

オートパワーセーブ

バッテリーを長持ちさせるモードに設定できます。

設定	説明
ON	一定時間何も操作しないでいると、フレームレートが低下して、自動的にバッテリーを長持ちさせるモードになります。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。
OFF	オートパワーセーブは使用しません。

自動電源 OFF 温度

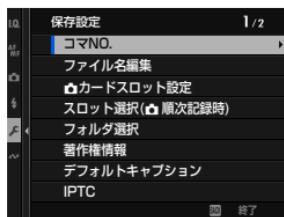
カメラの温度が上昇した際にはメッセージが表示され、さらに上昇すると、撮影を中断し電源を自動的にオフにします。その際の温度を変更できます。

設定	説明
標準	カメラの電源をオフにする温度を標準に設定します。
高	標準に比べて、カメラの温度が高くなっても撮影することができます。動画撮影時など高に設定すると、標準に比べて撮影時間が長くなります。カメラを持ち続けると低温やけどの恐れがありますので、三脚などをお使いください。

セットアップメニュー (保存設定)

画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**■** (セットアップ) タブを選び、**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO. (フォルダ NO. 一ファイル NO.) の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。

- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。電源をオフにしてから、フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて撮影してください。
- 基本設定 > リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

ファイル名編集

ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

カードスロット設定

2枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。
分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像やHEIF画像をそれぞれ保存します。この設定は 画質設定 > 画質モードが、 SUPER FINE+RAW 、 FINE+RAW 、 NORMAL+RAW のときのみ有効です。

スロット選択 (順次記録時)

カードスロット設定が順次記録のときに、最初に記録するメモリーカードスロットを設定できます。

設定値	
スロット1	
	スロット2

フォルダ選択

記録フォルダの切り替えや新規作成ができます。

設定	説明
フォルダ選択	フォーカスレバーを上下に動かして既存のフォルダを選択し、 MENU/OK ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダに保存されます。
フォルダ作成	5文字のフォルダ名を入力し決定した後、撮影すると、入力した名前のフォルダが作成され、画像はそのフォルダに保存されます。

著作権情報

撮影時の著作権情報を画像のExif情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 著作権情報の削除 を行ってから撮影してください。

デフォルトキャプション

撮影した画像や動画に付けるキャプションを設定できます。

表示

現在登録されているキャプションを確認できます。

編集

キャプションを入力します。

削除

現在登録されているキャプションを削除します。

IPTC

撮影した画像に付ける IPTC 情報を設定できます。

IPTC を付加

ON にすると、撮影した画像に IPTC 情報を付けることができます。

設定値

ON

OFF

確認 / 編集

IPTC 情報を入力したり、現在登録されている IPTC 情報を確認したりできます。

リセット

現在登録されている IPTC 情報を削除します。

位置情報記録

ON にすると、スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録することができます。

設定値

ON

OFF

MEMO

10

ショートカット機能

ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

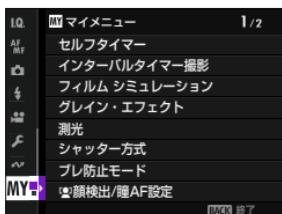
このカメラでは、よく使う機能のメニューをマイメニュー や クイックメニュー に登録して使用したり、ファンクションボタン、タッチファンクションで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	■
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。MENU/OKボタンを押して、 MY (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	377
クイックメニュー	Q ボタンを押すと Q (クイックメニュー) が表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 Q (クイックメニュー) で設定値を変更することもできます。	379
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能を呼び出すことができます。	385
タッチファンクション	タッチファンクション (T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4) でタッチパネルをフリックして、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	390

マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
MY (マイメニュー) タブを選びます。



! **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

マイメニュー設定

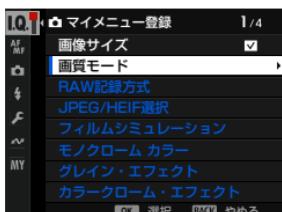
よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選びと表示されます。

- 1** セットアップメニューの **■ 基本設定** > **■ マイメニュー設定** または **■ マイメニュー設定** を選びます。
- メニューが表示されます。



! **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

- 2** 登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 登録可能なメニューが青文字で表示されます。



! 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

3 登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

もう一度 **MENU/OK** ボタンを押してメニューの選択画面に戻ります。

4 次に登録するメニューを選んで **MENU/OK** ボタンを押します。登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



5 手順 4 を繰り返してマイメニューを登録します。

マイメニューの登録を終了するときは **DISP/BACK** ボタンを押します。

 最大 16 項目 (8 × 2 ページ) のメニューが登録できます。

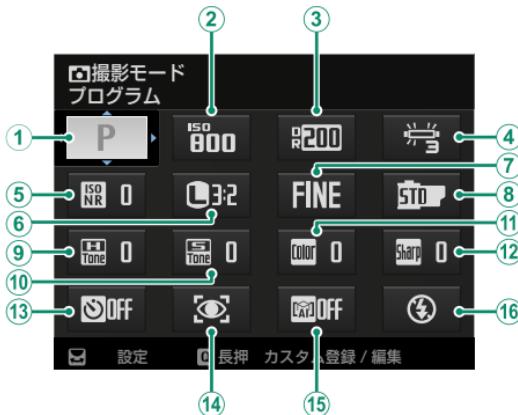
クイックメニュー

クイックメニューを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。クイックメニューは **Q** ボタンを押して表示させます。

クイックメニュー画面

クイックメニューに表示する項目は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。工場出荷時は、クイックメニューに以下の機能が割り当てられています。

静止画撮影時

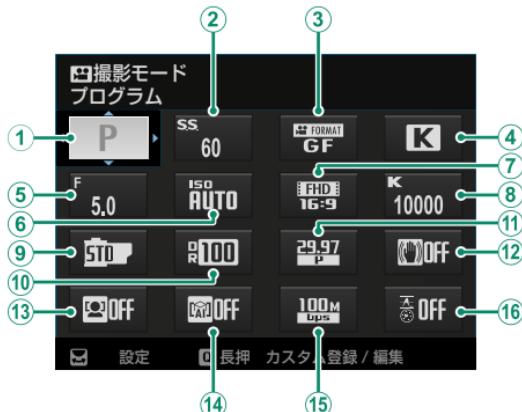


工場出荷時の設定

① 撮影モード	⑨ ハイライトトーン
② 感度	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ 高感度ノイズ低減	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑦ 画質モード	⑮ 被写体検出 AF 設定
⑧ フィルム シミュレーション	⑯ フラッシュ機能設定

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。

動画撮影時



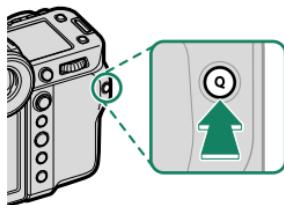
工場出荷時の設定

① 撮影モード	⑨ フィルム シミュレーション
② シャッタースピード	⑩ ダイナミックレンジ
③ 動画フォーマット	⑪ 動画モード フレームレート
④ ホワイトバランス	⑫ プレ防止モード
⑤ 絞り (動画専用操作モード)	⑬ 顔検出 / 瞳 AF 設定
⑥ 動画感度	⑭ 被写体検出 AF 設定
⑦ 動画モード 解像度 / アスペクト比	⑮ ビットレート
⑧ ホワイトバランス色温度 (K 設定時)	⑯ ウェーブフォーム / ベクトルスコープ

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。

設定の確認と変更

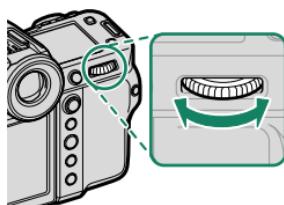
- 1 撮影画面で **Q** ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。



■ クイックメニューが表示されているときに **Q** ボタンを長押しすると、
■ カスタム登録/編集または、■ カスタム登録/編集の画面が表示されます。

- 4 **Q** ボタンを押します。

表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

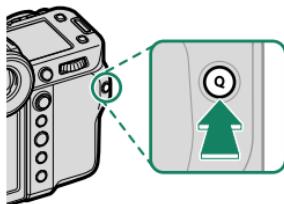
- クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。
- **Q** ボタンはファンクションボタンとして使用できます。■ 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、ファンクションボタンの機能を他の機能に割り当てることができます。また、ファンクションボタンの機能を他のボタンに割り当てることもできます (385)。
 - 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で **Q** ボタン設定をなしに設定すると、**Q** (クイックメニュー) ボタンは無効になります。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 撮影画面で **Q** ボタンを長押しします。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



 静止画撮影時 / 動画撮影時によって、静止画または動画のクイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

2 割り当てを変更するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。

 クイックメニューの割り当ては、 操作ボタン・ダイヤル設定 >  クイックメニュー登録 / 編集または  クイックメニュー登録 / 編集からも設定できます。

割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（**K** 設定期）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

割り当て可能なメニュー（動画）

- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（**K** 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
- 動画感度
- 動画フォーマット
- 動画モード 解像度／アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
-  ブレ防止モード
-  ブレ防止モードブースト
- シャッタースピード
- 縞り（動画専用操作モード ）
- ウエーブフォーム / ベクトルスコープ
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

ファンクション機能

ファンクションボタン、タッチファンクションに、それぞれ機能を1つ割り当てられます。

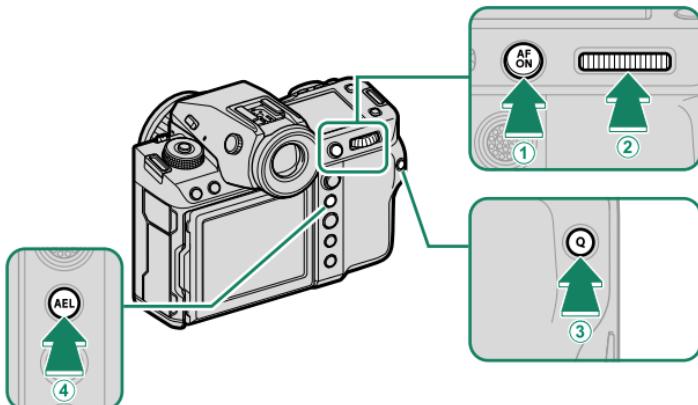
ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

ファンクションボタンの工場出荷時設定

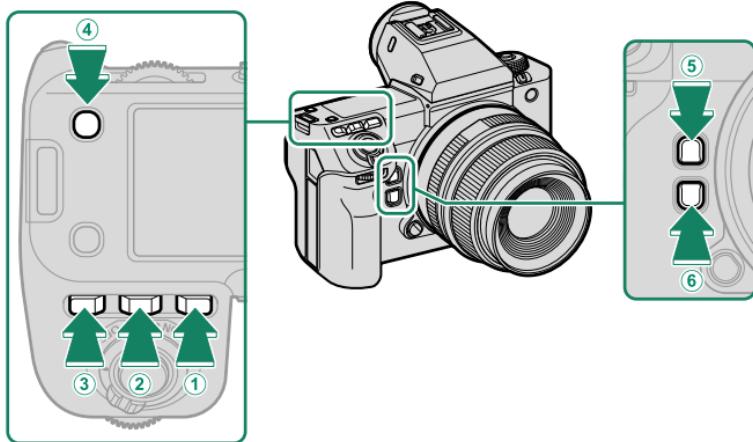
工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。

背面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① AF-ON ボタン	AF-ON
② リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
③ Q ボタン	クイックメニュー
④ AEL ボタン	AE LOCK のみ

前面のファンクションボタン



ファンクションボタン

- ① Fn1 ボタン
- ② Fn2 ボタン
- ③ Fn3 ボタン
- ④ Fn4 ボタン
- ⑤ Fn5 ボタン
- ⑥ Fn6 ボタン

割り当てられている機能

- 顔検出 ON/OFF
- 被写体検出 ON/OFF
- 露出補正
- サブ液晶モニター切替
- パフォーマンス
- 電子水準器切替

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**■操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラーカローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカーレス
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- ブレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
-  ブレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 冷却ファン設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- サブ液晶モニタ一切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- コマンドダイヤルロック
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK

- AF-ON
- AWB LOCKのみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すとピント合わせを行います。

モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**フラッシュ設定** > **TTL-LOCK モード**で設定されているモードでロックできます (図 175)。

カスタム 1 設定呼び出しの割り当て

カスタム 1 設定呼び出しを割り当てたボタンを撮影中に押すと、一時的にモードダイヤルの **C1** (カスタム 1) に割り当てた設定で撮影できます。もう一度押すと元の設定に戻ります。

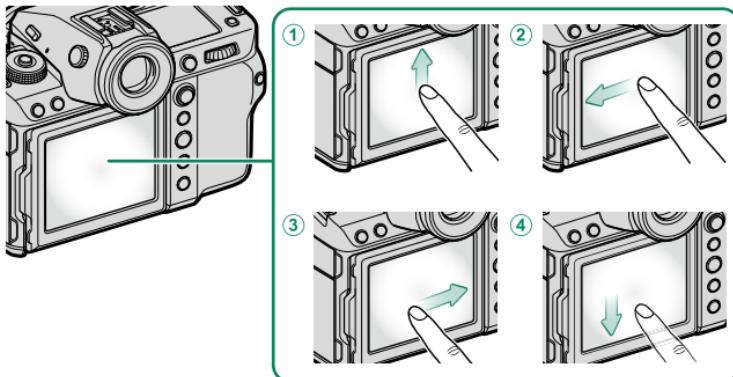
タッチファンクション

タッチファンクション（T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4）機能は、タッチパネル（液晶モニター）のフリック動作で機能を呼び出すことができます。

 タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。
タッチファンクションを使用する場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **タッチパネル設定** > **タッチファンクションをON**にしてください。

タッチファンクションの工場出荷時設定

工場出荷時に割り当てられている機能とフリック方向は次のとおりです。



タッチファンクション	割り当てられている機能
① T-Fn1（液晶モニターを上フリック）	ヒストグラム
② T-Fn2（液晶モニターを左フリック）	フィルム シミュレーション
③ T-Fn3（液晶モニターを右フリック）	ホワイトバランス
④ T-Fn4（液晶モニターを下フリック）	シャッター方式

タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、**■操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカーハンズ
- 感度
- ブレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
-  ブレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 冷却ファン設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 
- ATOMOS AirGlu BT と接続
- サブ液晶モニタ一切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- コマンドダイヤルロック
- ロック指定

- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



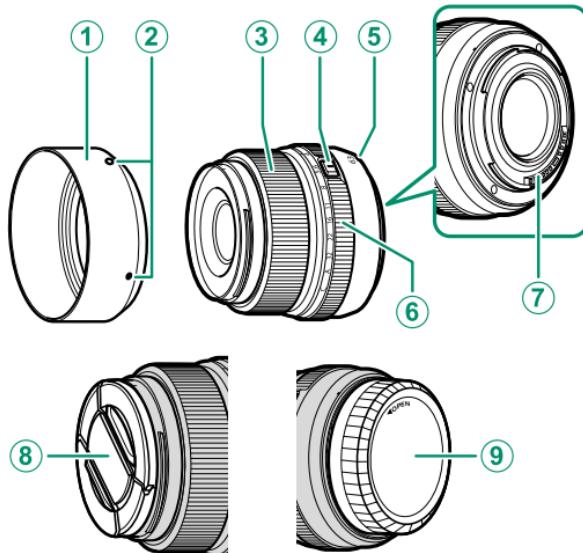
なしを選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。

11 オプション品・ 外部機器の使い方

交換レンズ

このカメラでは、富士フイルム製のFUJIFILM Gマウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



- ① レンズフード
② 取り付け指標
③ フォーカスリング
④ 絞りリングロック解除ボタン
⑤ 取り付け指標 (焦点距離)

- ⑥ 絞りリング
⑦ レンズ信号接点
⑧ レンズフロントキャップ
⑨ レンズリアキャップ

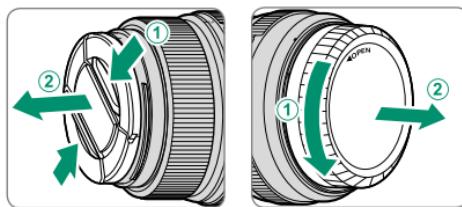
ここでは、GF63mmF2.8 R WR を例に説明しています。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、プロワー／ブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

レンズキャップの取り外し方

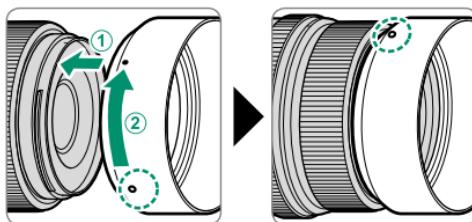
図のようにレンズキャップを取り外します。



!
レンズキャップは形状が異なることがあります。

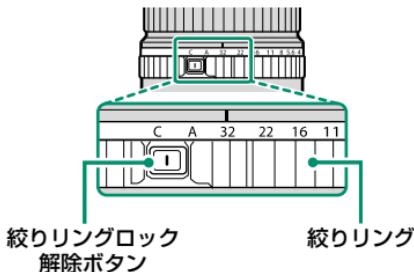
レンズフードの取り付け方

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。



絞りリング

絞りリングで、撮影時の絞り (F 値) の設定方法を選択できます (モードダイヤルが **A** (絞り優先)、または、**M** (マニュアル) のとき)。



設定	説明
C ポジション	絞りリングを A/C ポジションに合わせると、カメラ本体のコマンドダイヤルで絞り (F 値) を設定できます。
A ポジション	
絞り目盛り (A/C ポジション以外)	絞りリングの目盛りで、絞り (F 値) を設定できます。

絞りリングを **A/C** ポジションに合わせるときや、**A/C** ポジションから解除するときは、絞りリングロック解除ボタンを押しながら絞りリングを回してください。

T/S レンズについて

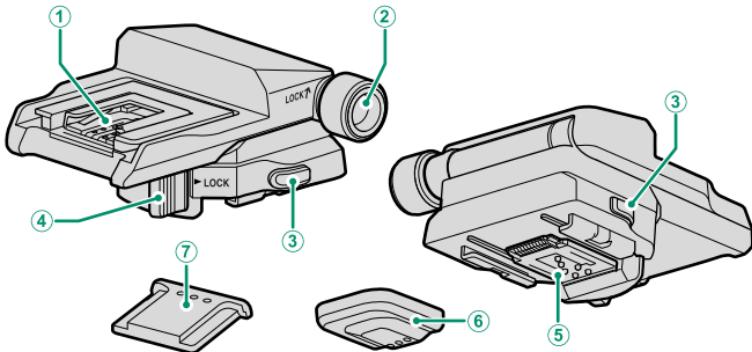
EVF や LCD にレンズのシフト量やレボルビング量を表示できます (図 25)。シフト量は 0.5mm 刻み、レボルビング量は 3° 刻みで表示されます。



シフト量やレボルビング量は撮影した画像の EXIF 情報にも記録されます。

EVF チルトアダプター

別売の EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右（±45°）、上下（0°～90°）に変更できます。

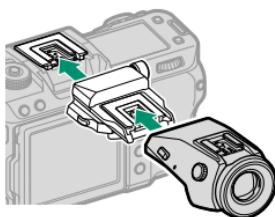


- ① ホットシュー
- ② チルトロックつまみ
- ③ アダプターロック解除ボタン
- ④ 回転ロックレバー

- ⑤ 接続端子
- ⑥ 端子カバー
- ⑦ ホットシューカバー

取り付け方

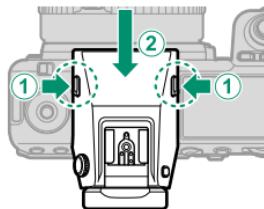
カメラに EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着して、交換式ファインダー EVF-GFX3 を装着します。



! カメラと EVF チルトアダプターのホットシューカバーと端子カバーを取り外してから装着してください。

取り外し方

交換式ファインダー EVF-GFX3 を取り外して、両方のアダプターロック解除ボタンを押しながら(①)、正面側を押さえて(②) EVF チルトアダプターを取り外します。



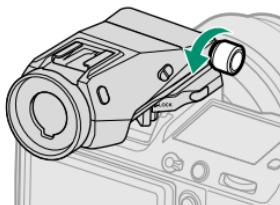
! 複数の EVF チルトアダプターを取り付けないでください。

使い方

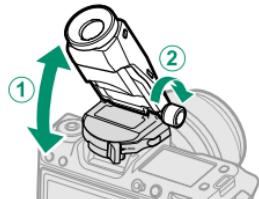
見やすい角度にファインダーを動かします。

上下の角度を変える

チルトロックつまみを緩めると、EVF の上下の角度を 0° ~ 90° で調整できます。

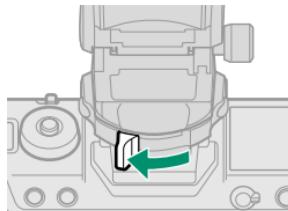


角度の調整が終わったら (①)、チルトロックつまみを締めて固定します (②)。

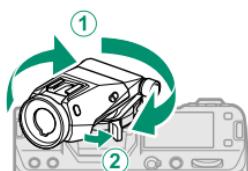


左右の向きを変える

回転ロックレバーを左側にスライドすると、EVF の左右の向きを $\pm 45^\circ$ で調整できます。



左右の調整が終わったら (①)、回転ロックレバーを右側にスライドしてロックします (②)。



クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使うと、大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

- ① カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

- フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF 以外に設定します。■ AF フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON に設定する必要があります。

クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する

1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの  フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューと設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	402
シンクロ ターミナル	別売のクリップオンフラッシュを使用していないときには表示されます。シンクロターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューのX接点のみを使用した撮影で使用します。	402
クリップオン フラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	403
コマンダー (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したコマンダーフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	406

 ホットシューに何も接続されていない場合やカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、シンクロターミナルの設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

シンクロターミナル

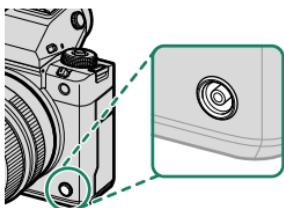
別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	ホットシュー X 接点 (シンクロターミナル) からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。 <ul style="list-style-type: none">• M:撮影に同期して、ホットシュー X 接点 (シンクロターミナル) からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッタースピードを設定してください。• ④OFF:ホットシュー X 接点 (シンクロターミナル) からトリガー信号を発行しません。
②同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none">• Front (先幕):シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。• REAR (後幕):シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

シンクロターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクロターミナルに接続してください。



クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	<p>フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TTL : TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。 • M : 被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。 • Multi : 対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。 • OFF : フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

項目	設定 / 説明
②調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。 モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 ($1/1$) から $1/512$ 発光まで、$1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。 モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、$1/4$ 発光から $1/512$ 発光まで $1/3$ 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。
③TTL モード	TTL撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード(P 、 S 、 A 、 M)によって選択可能な設定が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> 奴 (フラッシュ発光 AUTO)：被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。 奴 (スタンダード)：一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。 奴 (スローシンクロ)：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

項目	設定 / 説明
④同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FRONT (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 • REAR (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 • FP (AUTO FP(HSS)) : FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。 <p>モードが Multi のときは、先幕となります。</p> <p>* AUTO FP(HSS) 選択時は、シャッタースピードによっては撮影した画像に横縞が発生することがあります。</p>
⑤ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。 AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。
⑥配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • W (光量優先) : フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。 • S (スタンダード) : 撮影画角に対して最適な照射角にします。 • B (配光優先) : 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。
⑦LED ライト 設定	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵の LED ライトの用途を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TL (キャッチライト) : キャッチライトのみ使用します。 • AF (AF 補助光) : AF 補助光のみ使用します。 • AB (AF 補助光+キャッチライト) : AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。 • OFF : どちらも使用しません。
⑦TIMES* (発光回数)	モードが Multi のときに、1回の撮影における発光回数を設定します。
⑧Hz* (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。

* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

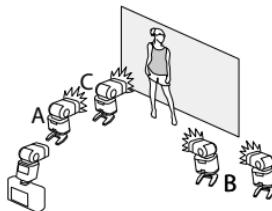
コマンダー（光通信）

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



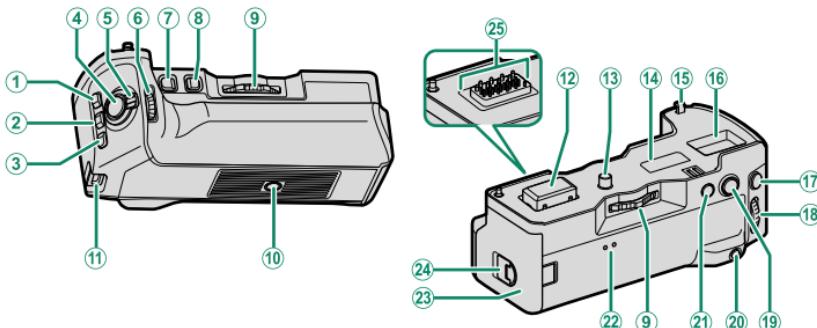
項目	設定 / 説明
①A グループ モード ②B グループ モード ③C グループ モード (発光モード)	<p>それぞれのグループの発光モードを設定します。A、B グループは TTL/TTL%/M/Multi/OFF から選択できます。C グループは TTL/M/Multi/OFF から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TTL : TTL を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。 • TTL% : A または B グループで TTL% を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。 • M : M を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。 • Multi : A、B または C グループを Multi に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。 • OFF : OFF を設定したグループのフラッシュは発光しません。
④A グループ 調光補正 / 発光量 ⑤B グループ 調光補正 / 発光量 ⑥C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • モードが TTL に設定されているときは調光補正を設定できます。 • モードが M/Multi に設定されているときは発光強度を設定できます。 • モードが TTL% に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。 <p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>

項目	設定 / 説明
⑦TTL モード	<p>TTL撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード(P、S、A、M)によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AUTO (フラッシュ発光 AUTO)：被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。 • STANDARD (スタンダード)：一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。 • SLOW (スローシンクロ)：夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
⑧同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FRONT (先幕)：シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。 • REAR (後幕)：シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。 • AUTO FP(HSS)：FP（ハイスピードシンクロ）に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP（ハイスピードシンクロ）と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動でFPになります。モードが Multi のときは、 先幕となります。
⑨ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。 AUTOの設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑩配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • P (光量優先)：フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。 • S (スタンダード)：撮影画角に対して最適な照射角にします。 • M (配光優先)：照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

項目	設定 / 説明
⑪ コマンダー 設定 (コマンダー 発光設定)	モードが TTL 、 TTL% 、 M のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Gr A : A グループに設定します。 • Gr B : B グループに設定します。 • Gr C : C グループに設定します。 • OFF : 撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。
⑪ TIMES (発光回数)	モードが Multi のときに、1回の撮影における発光回数を設定します。
⑫ CH 設定	コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。
⑫ Hz (発光周波数)	モードが Multi のときに、発光周波数を設定します。

縦位置バッテリーグリップ

縦位置バッテリーグリップVG-GFX100IIを装着すると、カメラ本体のバッテリーと合わせてバッテリー容量を増加させることができます。また、縦位置撮影の操作性が向上します。



- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① Fn1 ボタン | ⑭ 銘板プレート |
| ② Fn2 ボタン | ⑮ 固定用フック |
| ③ Fn3 ボタン | ⑯ 端子カバー（カメラに付属）収納スペース |
| ④ シャッターボタン | ⑰ AFON ボタン |
| ⑤ キーロックスイッチ | ⑱ リアコマンドダイヤル |
| ⑥ フロントコマンドダイヤル | ⑲ フォーカスレバー |
| ⑦ Fn5 ボタン | ⑳ Q（クイックメニュー）ボタン |
| ⑧ Fn6 ボタン | ㉑ AEL（AE ロック）ボタン |
| ⑨ 着脱ダイヤル | ㉒ インジケーター・ランプ |
| ⑩ 三脚ねじ穴 | ㉓ バッテリートレイ |
| ⑪ ストラップ取り付け部 | ㉔ バッテリーカバーロック |
| ⑫ 端子カバー | ㉕ 端子 |
| ⑬ 装着ねじ | |

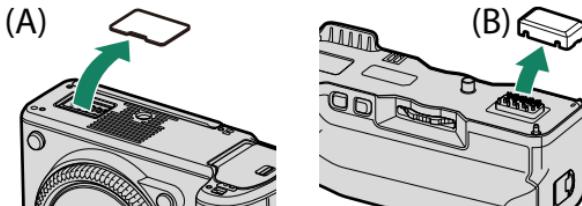
 それぞれの機能ボタンとコマンドダイヤルはカメラ本体の操作と同じです。

縦位置バッテリーグリップの取り付け方

 縦位置バッテリーグリップを取り付け / 取り外しする場合は、カメラ本体の電源がオフになっていることを確認してください。

1 端子カバーを取り外します。

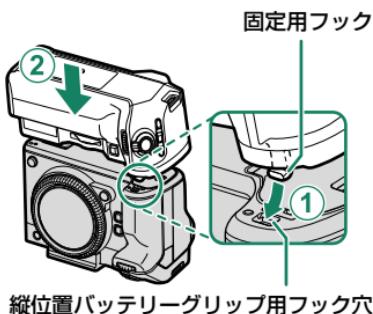
カメラから縦位置バッテリーグリップ用端子カバー (A) を、縦位置バッテリーグリップから端子カバー (B) をそれぞれ取り外します。



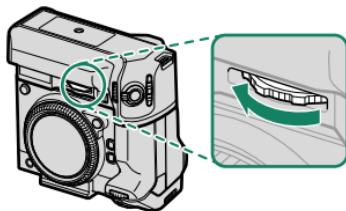
 カメラの縦位置バッテリーグリップ用端子カバー (A) は、端子カバー収納スペースに収めることができます。縦位置バッテリーグリップの端子カバー (B) を取り外した後は、なくさないように保管してください。

2 カメラに縦位置バッテリーグリップを取り付けます。

カメラの縦位置バッテリーグリップ用フック穴に固定用フックを引っかけるようにしながら (①)、カメラに縦位置バッテリーグリップを取り付けます (②)。



3 着脱ダイヤルを回して固定します。

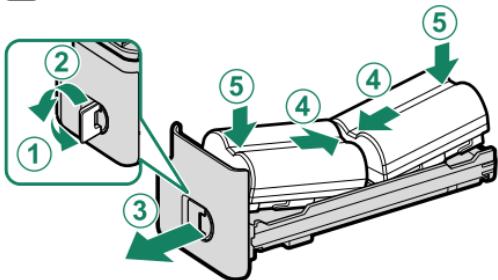


- 着脱ダイヤルは、しっかりと最後まで締めて固定してください。
- 端子には触らないようにしてください
- カメラから縦位置バッテリーグリップを取り外したときは、縦位置バッテリーグリップ用端子カバー（A）と端子カバー（B）をそれぞれカメラとグリップに必ず取り付けてください。
- 水中で使用できる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意ください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。バッテリー挿入部、バッテリーカバーは、使用前に確実に閉まっていることをご確認ください。

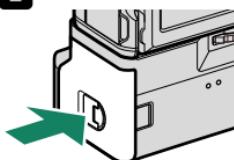
バッテリーの入れ方 / 取り外し方

バッテリーを入れる

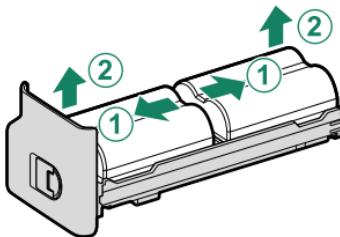
1



2



バッテリーを取り外す



- 縦位置バッテリーグリップのバッテリーを交換する場合は、カメラ本体の電源がオフになっていることを確認してください。
- バッテリーは、NP-W235 を使用できます。指定以外のバッテリーは使用しないでください。

縦位置バッテリーグリップ使用時のバッテリー残量表示

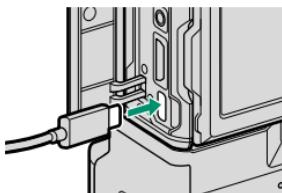
縦位置バッテリーグリップ使用時は、挿入されているバッテリーの残量をそれぞれ表示します。

- ・挿入されているバッテリー残量のみ表示されます。
- ・フル充電のバッテリーを3本使用したときは、次の順序でバッテリー容量が空になります。
①縦位置バッテリーグリップ（L：左）
②縦位置バッテリーグリップ（R：右）
③カメラ本体

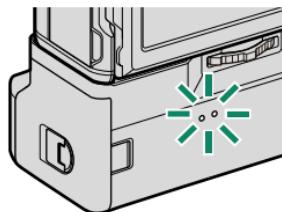


縦位置バッテリーグリップの充電方法

縦位置バッテリーグリップは、カメラの電源をオフにしてからグリップをカメラに取り付け、付属の AC パワーアダプター AC-5VJ と USB ケーブルをカメラ本体の USB 端子に差し込んで充電します。



バッテリー充電中はグリップのインジケーター ランプが緑色に点灯します。右側のランプは右側に入っているバッテリーの状態を表し、左側のランプは左側に入っているバッテリーの状態を表します。



インジケーター ランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

- ① • 充電時間は約 330 分です（3 個同時）。
- 45W 以上の出力に対応した給電機器を使用することで充電時間が最短約 180 分になります。
 - 電源がオンの場合は充電はされません。
 - 充電についてのご注意は「バッテリーを充電する」と「お取り扱いにご注意ください」も併せてご参照ください（**■ 50、430**）。

冷却ファン

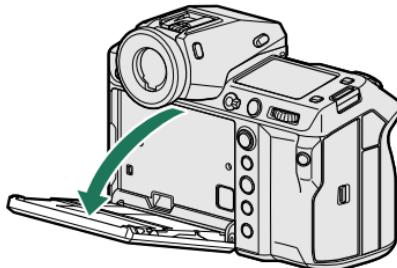
冷却ファンを使うと、カメラ本体の発熱を抑えて動画の連続撮影時間を見延ばすことができます。

冷却ファンの取り付け方

冷却ファン FAN-001 はカメラの液晶モニターを開いてからカメラに取り付けます。

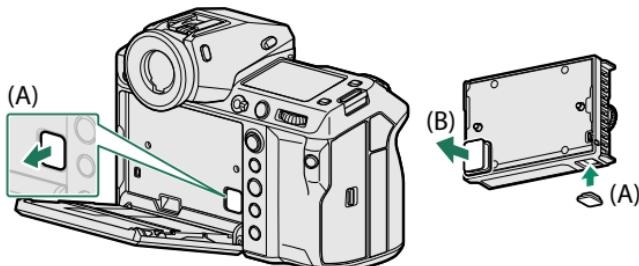
!
冷却ファンの取り付けや取り外しを行うときは、カメラの電源をオフにしてください。

1 液晶モニターを開きます。

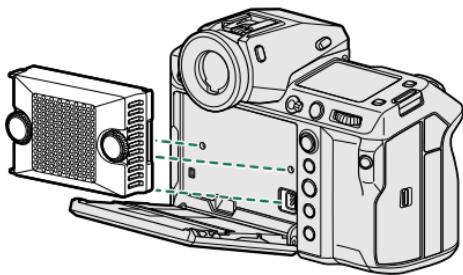


2 カメラの冷却ファン用端子カバーと、冷却ファンの端子キャップを取り外します。

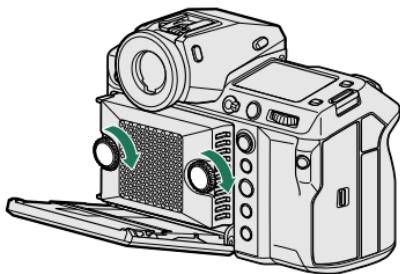
取り外した冷却ファン用端子カバー（A）は冷却ファンに取り付けて保管してください。冷却ファンの端子キャップ（B）はなくさないよう保管してください。



3 ねじと端子の位置を合わせて、冷却ファンを取り付けます。



4 ねじを回して固定します。



 ねじの締め付けが十分でないと冷却性能が低下する場合があります。

冷却ファンの使い方

静止画撮影メニューの  撮影設定 >  冷却ファン設定 や動画撮影メニューの  動画設定 >  冷却ファン設定 で、冷却ファンの風量を選べます。OFF に設定すると、冷却ファンの動作を止めることができます。

- ①
- 冷却ファンの風量によっては、撮影する動画にファンの動作音が録音される場合があります。
 - LCD の向きによっては EVF が消灯して LCD のみ点灯します。

12

資料

カメラで使えるアクセサリー

このカメラでは、以下の富士フイルム製アクセサリーを使用できます。最新情報やその他のアクセサリーについては「対応情報」<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W235：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

デュアルバッテリーチャージャー BC-W235：充電式バッテリー NP-W235 を 2 個同時に充電できます。充電時間は約 200 分（+25℃において）です。30W 以上の出力に対応した給電機器を使用することで充電時間が最短約 150 分になります。

GF シリーズレンズ：FUJIFILM G マウント専用の交換レンズです。

縦位置バッテリーグリップ VG-GFX100II（ 410）

EVF チルトアダプター EVF-TL1：装着することでファインダーの角度を左右（±45°）、上下（0°～90°）に変更できます。

アイカップ EC-XH W/EC-XT L/EC-XT M/EC-XT S/EC-GFX：ファインダー接眼部に装着するアイカップです。

マウントアダプター H MOUNT ADAPTER G：GX645AF 用の交換レンズ SUPER EBC FUJINON HC レンズ 9 本とテレコンバータ 1 本をカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-18G WR/MCEX-45G WR：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

ビューカメラアダプター VIEW CAMERA ADAPTER G：「CM FUJINON」など、往年のフジノン大判カメラ用レンズなどを使用して撮影を行う際に使用するビューカメラアダプターです。

クリップオンフラッシュ EF-X500 : TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1 : EF-X500 用の外部バッテリーパックです。単3電池 8 本を搭載可能です。

クリップオンフラッシュ EF-60 : TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 60 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、別売ワイヤレスコマンダー EF-W1 をコマンダーとしたリモートフラッシュとしても使用できます。

ワイヤレスコマンダー EF-W1 : NAS* 無線通信方式に対応したフラッシュ用ワイヤレスコマンダーです。別売クリップオンフラッシュ EF-60 やニッシンジャパン株式会社の NAS 対応フラッシュと合わせて使用できます。

* NAS はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。

クリップオンフラッシュ EF-42 : TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20 : TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20 : TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

冷却ファン FAN-001 (図 416)

リモートリリーズ RR-100 : 三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください (φ 2.5 mm 端子)。ご使用になる場合は、市販の φ 2.5 mm → 3.5 mm 変換アダプターが必要です。

ステレオマイク MIC-ST1 : 動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。

ボディキャップ BCP-002：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

カメラで使えるソフトウェア・サービス

このカメラでは、以下のソフトウェアやサービスを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> をご覧ください。

スマートフォン用アプリケーション

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです。

<https://app.fujifilm-dsc.com/>

RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX

RAW 画像をパーソナルコンピューター上で現像できるパーソナルコンピューター用アプリケーションです。富士フィルムのウェブサイトから無償で入手可能です。

<https://fujifilm-x.com/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>



- 本ソフトウェアは、株式会社市川ソフトラボラトリが提供するソフトウェアです。
- 対応時期については以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://fujifilm-x.com/support/compatibility/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkypix/>

Capture One Express for Fujifilm

RAW 画像をパーソナルコンピューター上で現像できるパーソナルコンピューター用アプリケーションです。Capture One 社から無償で入手可能です。

<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>

 対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

Capture One for Fujifilm

Capture One 社のテザー撮影、RAW 現像に対応したワークフローソフトウェアです。

<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>

 対応時期については上記のウェブサイトをご覧ください。

FUJIFILM Tether Shooting Plug-in (Lightroom 専用)

Adobe Lightroom Classic のプラグインソフトウェアです。

- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO / FUJIFILM Tether Shooting Plug-in

<https://fujifilm-x.com/products/software/adobe-photoshop-lightroom-tether-plugin/>

FUJIFILM X Acquire

カメラとパーソナルコンピューターを USB ケーブルまたは Wi-Fi 経由で接続し、撮影した画像をパーソナルコンピューターに自動転送して指定したフォルダに保存したり、USB 接続によりカメラ設定をバックアップ / リストアしたりすることができるパーソナルコンピューター用アプリケーションソフトウェアです。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-acquire/>

FUJIFILM X RAW STUDIO

パソコン用コンピューターとデジタルカメラをUSBケーブルで接続して、パソコン用コンピューターに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジンを使用して演算することで、高速かつ高品質なRAW現像を実現します。

<https://fujifilm-x.com/products/software/x-raw-studio/>

FUJIFILM Pixel Shift Combiner

ピクセルシフト撮影した複数の画像の合成や、偽色の低減処理ができるパソコン用コンピューター用アプリケーションです（図121）。

<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>

Frame.io Camera to Cloud

ネットワークを通してカメラからFrame.ioのプラットフォームへ静止画や動画を直接転送できます。

<https://frame.io/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。



煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターへご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。



水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプター、USB ケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターへご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

⚠ 警告



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 一度端子部分が曲がってしまったコネクターは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、ケガの原因になります。

移動中の使用はしない。



自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。歩き撮りをする場合には、周囲の状況に注意してください。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性（ $+$ $-$ ）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、

失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

▲警告

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

電源を入れたまま長時間、身体の同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などを使いください。

・長時間ご使用になる場合

・気温の高い環境でご使用になる場合

・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

・自動電源 OFF 温度を高に設定してご使用される場合

バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。

可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。

誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。

飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

-  **油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **異常な高温になる場所に置かない。**
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。
-  **本製品の上に重いものを置かない。**
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。
-  **ACパワーアダプターを接続したまま移動しない。ACパワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。**
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
-  **本製品やACパワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。**
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
-  **電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **充電終了後は充電器をコンセントから抜く。**
電源プラグを抜く コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。
-  **メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。**
飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。
- 撮影直後にメモリーカードに触れない。**
-  **メモリーカードが高温になり、やけどの原因となることがあります。**
温度が下がってからメモリーカードを取り出してください。
- 定期的な内部点検・清掃を依頼する。**
-  **本製品の内部にはほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。**
- 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店または弊社修理サービスセンターにご依頼ください。
-  **本製品を廃棄する場合の処理方法については最寄りの自治体の手順に従うこと。**

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- ・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- ・寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- ・カメラと付属のACパワーアダプターを使用するか、別売のデュアルバッテリーチャージャーBC-W235を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が+5°C～+40°Cの範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10°C～+35°Cの温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10°C～+35°Cの温度範囲で行ってください。
- ・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- ・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- ・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

- ・使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ・バッテリーを長期間充電しないとバッテリーの品質が保持できなくなり、充電できなくなるおそれがあります。定期的に充電することをおすすめします。

■ 保存上のご注意

- ・長期保管の場合は、電池容量の $\frac{2}{3}$ から半分程度の電池残量で常温保管をお勧めいたします。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- ・涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が $+15^{\circ}\text{C} \sim +25^{\circ}\text{C}$ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

① 危険ですので、次のことご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。



バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- ・強い衝撃を与える、落としたりしないでください。
- ・水にぬらさないようご注意ください。
- ・端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

- ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- ・電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

■ AC パワーアダプター使用機種

- ・ 室内専用です。
- ・ 接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- ・ 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ・ 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・ 分解したりしないでください。危険です。
- ・ 高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・ 落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・ 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ・ ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- ・ 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・ 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フィルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フィルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、Mac OS X、OS X、macOS、Lightning、Apple ProRes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Camera to Cloud、Frame.io、Lightroom ならびに Photoshop は Adobe の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴおよび、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フィルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- CFexpress は CFA (CompactFlash Association) の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- AirGlu™ は Atomos の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上の注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- ・極端に寒いところ
- ・振動の激しいところ
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れるとき、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンコンピューターで使用する場合のご注意

- ・パソコンコンピューターで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンコンピューターでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズとアクセサリーについてのご注意

- ・三脚を取り付けるときは、ネジの長さが4.5mm以下の製品をご使用ください。
- ・他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。

- ① 本製品は、米国輸出規則(EAR)の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- ・本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- ・電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品を電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続しないでください。

■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられことがあります。

- ・本製品を分解、または改造すること
- ・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

• 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

2.4XX8

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

• 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52 W52 W53 W53 W56

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。

5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

当該無線設備の送信は 5.2GHz 帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き屋内においてのみ可能です。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

本製品の飛行機内での使用については航空会社の指示に従ってください。

本製品は電源オフの状態でも電波を発信することができます。搭乗前にネットワーク /USB 設定メニューの機内モードを **ON** にすると電波の発信を遮断できます。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止
火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

火災・感電の原因になります。

分解禁止
また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

接触禁止
感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

▲注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

ケガの原因になることがあります。



濡れた手で触らない。

感電の原因になることがあります。

逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。



太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。

太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。



三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。

転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

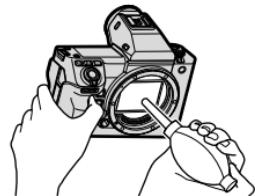
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはプロワーブラシなどではこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは  **基本設定** > **センサークリーニング**で行えます。 **センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、プロワーでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ 基本設定 > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、プロワーでほこりを取り除いてください。

!
クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社修理サービスセンターでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをプロワー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

! • プロワーはブラシの付いていないものを使用してください。プロワーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
• 取り除けていない場合は、再度プロワーでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種のファームウェア更新情報をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

ファームウェアバージョンの確認方法

- ① バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

1 カメラの電源をオフにします。

メモリーカードが入っていることを確認します。

2 DISP/BACK ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。

3 バージョンの確認ができたら、電源をオフにしてください。

- ④ 別売アクセサリー（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリーを装着してから確認や更新を行ってください。

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	回
バッテリー、電源について	ON/OFF (電源) レバーを ON に 合わせても電源が オンになりません。	ご購入後、バッテリーを 充電しましたか？	ご購入時にはバッテリー は充電されていません。 バッテリーを充電してく ださい。
		バッテリーが消耗して いませんか？	充電済みのバッテリーを 使ってください。
		バッテリーを正しい向 きで入れていますか？	バッテリーを正しい方 向で入れ直してください。
		バッテリーカバーは きちんと閉まって いますか？	バッテリーカバーを しっかりと閉めてください。
	ON/OFF (電源) レバー をオフにしたあとに 素早くオンにしても 液晶モニターが点灯 しません。	—	液晶モニターが点灯する まで、シャッターボタンを 半押しし続けてください。

症状	ここをチェック!	処置	書
バッテリー、電源について	非常に寒いところでカメラを使っていますか?	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
	バッテリーの端子が汚れていませんか?	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
	プリAFをONに設定していませんか?	プリAFをONで撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	152
	同じバッテリーを長時間使っていませんか?	バッテリーの寿命の可能性があります。 バッテリー劣化度を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。	336
	使用中に電源がオフになってしまいました。	充電済みのバッテリーを使ってください。	50
	カメラの電源が切れません。	インジケーターランプの点灯状況を確認してください。	10

症状	ここをチェック！	処置	書
充電が開始されません。	プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	ACパワーアダプターのプラグを正しくコンセントに接続してください。	50
	プラグアダプターは正しくACパワーアダプターに装着されていますか？	プラグアダプターを正しくACパワーアダプターに装着してください。	
	最後に充電してから長期間経っていませんか？	長期間充電しないと、安全のため充電ができなくなります。新しいバッテリーと交換してください。	—
充電について 充電が開始されません。 (USB充電時)	カメラにバッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	43
	バッテリーは正しい向きでカメラに入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
	USBケーブルはパーソナルコンピューターに接続されていますか？	パーソナルコンピューターと正しくUSBケーブルで接続してください。	53
充電が開始されません。 (充電器使用時)	パーソナルコンピューターの電源がオフまたは休止状態になっていませんか？	パーソナルコンピューターの電源がオンになっていることを確認し休止状態(スリープ状態)を解除したあと、USBケーブルを接続し直してください。	
	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	
	バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	—
充電時間がかかりすぎます。	ACアダプターは正しく充電器に接続されていますか？	ACアダプターを正しく充電器に接続してください。	—
	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—

症状	ここをチェック！	処置	■
充電について	充電中にインジケーターランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。 43
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	バッテリー劣化度を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社デジタルカメラサポートセンターにお問い合わせください。 336 420 484
給電について	給電状態アイコンが表示されません。	USB 給電 / 通信設定が給電 OFF/ 通信 ON になっていませんか？	USB 給電 / 通信設定を自動または給電 ON/ 通信 OFF にしてください。 —

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	■
メニューが日本語以外で表示されています。	 言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。 58 335	

撮影時

症状	ここをチェック！	処置	目次
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていますか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。 45 224
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。 332
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていますか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。 —
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。 45
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。 50
		電源がオフになっていますか？	電源をオンにしてください。 54
		他社製のマウントアダプターを使用していますか？	レンズなしレリーズをONにしてください。 360
		被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていますか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。 —
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとっていますか？	AE/AFロック撮影してください。 110
		被写体に対し、フォーカスエリアを小さくしていますか？	フォーカスエリアを1~2段階大きくしてから撮影してください。 99



症状	ここをチェック!	処置	
顔検出について 顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	153
	撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
	人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
	顔検出 / 瞳 AF 設定が OFF になっていませんか？	顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしてください。	
	カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	
	人物の顔が暗くないですか？	適切な明るさで撮影してください。	
被写体検出について 被写体を検出できません。	被写体の一部が隠れていませんか？	なるべく被写体の全体が見えるようにしてください。	155
	撮影したい被写体が構図内で小さすぎませんか？	被写体が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
	被写体検出 AF 設定が OFF になっていませんか？	被写体検出 AF 設定を被写体検出 ON にしてください。	
	被写体が暗くありませんか？	適切な明るさで撮影してください。	

症状	ここをチェック！	処置	書
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。 174
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	シャッター方式を電子シャッター以外に設定してください。 170
		ドライブモードが連写やブロケティングになっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。 50
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	ドライブモードを連写やブロケティング以外に設定してください。 8
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。 —
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	カメラを正しく構えてください。 —
			シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。 シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。 78 82 471

症状	ここをチェック!	処置	書
撮影した画像の異常について	レンズに指紋などの汚れが付いていませんか?	レンズを清掃してください。	一
	レンズに指などがかかるついていませんか?	レンズに指がかかるないようにしてください。	61
	撮影時にAFフレーム(赤点灯)と!AFが表示されていませんでしたか?	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	62
画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター(長時間露光)撮影しましたか?	撮像素子の特性*によるもので、故障ではありません。 ピクセルマッピング を実行してください。 * 撮像素子がX線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点(白、赤、青など)」が生じる場合があります。 ピクセルマッピング を行うと輝点が軽減されます。	142
画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていますか?	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください。	54
	温度警告が表示されていますか?		463

再生時

	症状	ここをチェック!	処置	目次
1 コマ 再生 につ いて	画像が粗く 表示されます。	他のカメラで記録した 画像ではありませんか?	他のカメラで記録した 画像はきれいに表示 できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像では ありませんか?	リサイズした画像は、 再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した 画像ではありませんか?	他のカメラで記録した 画像は再生ズームが できないことがあります。	—
動 画 再 生 に つ い て	カメラから音が 出ません。	カメラの再生音量の 設定が小さくなっていますか?	再生音量を調節して ください。	341
		動画撮影時にマイク を手などでふさいで いませんでしたか?	動画撮影時はマイクを ふさがないでください。	—
		再生中にスピーカー を手などでふさいで いませんか?	再生中はスピーカーを ふさがないでください。	—
消 去 に つ い て	選択した画像を消去 できません。	プロテクトされて いませんか?	プロテクトを解除して ください。プロテクトを 解除するときは、 プロテクトを行った カメラをお使いください。	228
	全コマ消去したのに 画像が残っています。			
コ マ ナ ン バ ー に つ い て	コマ NO. の連番が 機能しません。	バッテリーや メモリーカードを 交換するときは、 必ず電源をオフにして ください。電源を切らず にバッテリーカバーを 開けると、コマ NO. の 連番が機能しないことが あります。	バッテリーや メモリーカードを 交換するときは、 必ず電源をオフにして ください。電源を切らず にバッテリーカバーを 開けると、コマ NO. の 連番が機能しないことが あります。	369

有線接続時

症状	ここをチェック!	処置	目次
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか?	64
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	VIEW MODE ボタンによる切り替えが EVF ONLY +  になってしまいませんか?	20
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか? テレビの入力が「テレビ」になってしまいませんか? テレビの音量が小さくなっていますか?	64
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか?	255
	「FUJIFILM X RAW STUDIO」、「FUJIFILM X Aquire」がカメラを正常に認識しません。	カメラの設定を確認してください。	291 292
		カメラを USB ケーブルで接続するときに、あらかじめネットワーク/USB 設定メニューの 接続セット選択 を 5 : USB RAW 現像 / 設定保存読み込み に設定してください。	

症状	ここをチェック！	処置	書
スマートフォンなどの接続について	iPhone、iPad と接続できません。	USB 給電 / 通信設定が 給電 ON/ 通信 OFF になつていませんか？	給電機能がない機器や Lightning 端子を持つ 機器と接続するときは、 ネットワーク / USB 設定 メニューの USB 給電 / 通信設定 をあらかじめ 給電 OFF/ 通信 ON に 設定してください。
	スマートフォンと接続できません。	接続の方法を確認してください。	スマートフォンに搭載 されている端子の形状 によって、接続方法が 異なります。

無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://digitalcamera-support-jp.fujifilm.com/>

症状	ここをチェック！	処置	書
スマートフォンと接続できません。	スマートフォンとの距離 が離れていませんか？	スマートフォンを 近づけてご使用ください。	247
スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。	電子レンジや コードレス電話機などの 機器を近くでご使用 されていませんか？	それらの機器から離れて ご使用ください。	
画像送信が途中で失敗 / 切断します。			

症状	ここをチェック！	処置	書
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は1台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	247
	他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。 他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	
	動画が選択されていませんか？ (画像を取り込み機能の使用時)	動画の送信には時間がかかる場合があります。 またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	Bluetooth/スマートフォン設定のスマートフォン送信時圧縮をOFFに設定していませんか？	スマートフォン送信時圧縮をONにしてください。 また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	322

リモート録画機能

症状	ここをチェック！	処置	回
ブラウザーにリモート録画機能の画面が表示されません。	IP アドレスを正しく設定していますか？	IP アドレスを正しく設定してください。 IP アドレスを自動で設定している場合は IP アドレスが変更されている場合があります。	293
	パソコンコンピューターやタブレットのアクセスポイントを正しく設定していますか？	パソコンコンピューターやタブレットのアクセスポイントを正しく設定してください。	293
	カメラと、パソコンコンピューターやタブレットを同じネットワークに接続していますか？	カメラと、パソコンコンピューターやタブレットを同じネットワーク (LAN) に接続してください。	293
	カメラの日時設定は正しいですか。	カメラの日付 (年、月、日) を正しく設定してください。	—
	—	ブラウザーの閲覧履歴やウェブサイトのキャッシュを削除してください。	—
ブラウザーのライブビューが遅れて表示されます。	転送速度が高速ではない方法でネットワークに接続していませんか？	カメラと、パソコンコンピューターやタブレットを有線 LAN または 5GHz などの高速な無線 LAN で接続してください。	—
	ライブビューの表示方法が画質優先になっていませんか？	ブラウザーでリモート録画機能メニューの「画質優先で表示 / リアルタイム性優先で表示」をリアルタイム性優先に設定してください。	309
ブラウザーに表示されるメニュー名などがカメラと異なります。	ブラウザーの翻訳機能を使用していませんか？	ブラウザーの翻訳機能をオフにしてください。	—

症状	ここをチェック!	処置	書
カメラに HTTPS で接続できません。	パーソナルコンピューターやタブレットにカメラのルート証明書をインストールしていますか?	カメラのルート証明書をパーソナルコンピューター やタブレットにインストールしてください。	298
	カメラの IP アドレスが変更されていませんか?	カメラのルート証明書をインストールしたあとにカメラの IP アドレスを変更したり、IP アドレスが変更されたりした場合は、もう一度ルート証明書をインストールし直してください。	—
複数台のカメラに HTTPS で接続できません。	すべてのカメラのルート証明書をインストールしていますか?	接続するすべてのカメラのルート証明書をインストールしてください。	298
2 台目以降のカメラを QR コードから接続できません。	サーバータイプを HTTPS に設定していますか?	サーバータイプを HTTPS に設定し、ルート証明書をインストールしてください。	303
	「操作対象カメラ選択」でカメラ 1 を選択していますか?	「操作対象カメラ選択」でカメラ 1 を選択してから 2 台目以降のカメラ接続操作を行ってください。	303
	タブレットのカメラをブラウザーが使用できるように許可していますか?	タブレットのブラウザーがカメラを使用できるように、許可してください。	303

その他

症状	ここをチェック！	処置	回
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。 43
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。 50
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。 —
		ボタンロックをしていませんか？	MENU/OK ボタンを長押しして、ロックを解除してください。 17 19
音について	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。 43
			それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。 484
音について	音が出ません。	音設定で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。 338
Q (クイックメニュー)	Q ボタンを押してもクイックメニューが表示されません。	TTL-LOCK 状態になっていませんか？	TTL-LOCK を解除してください。 175

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">電源を入れ直してください。レンズとカメラの間に異物がないか確認してください。電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンコンピューターでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードと カメラ本体の接触異常 またはメモリーカードの 異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか 電源のオン / オフを 繰り返してください。 それでも復帰できないときは、 弊社修理サービスセンターに 修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量が ありません。	画像を消去するか、空き容量 のあるメモリーカードを 使用してください。
	メモリーカードがフォー マットされていません。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	静止画または動画を記録中 にメモリーカードを取り出 しました。	記録中はメモリーカードを取 り出さないでください。
	書き込み速度の遅い メモリーカードを使用して るため記録できません。	動画撮影時は、設定に 適した速度のカードをご使 用ください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に 達しているため、これ以上 撮影できません。	フォーマットした メモリーカードをカメラに 入れて、コマ NO. を新規に設定 します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられ ます。コマ NO. を連番に戻すと、 引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません ● 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません ● 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。

警告表示	警告内容	処置
 実行できません	実行できない操作をしようとしました。	他のカメラで撮影した画像や動画にはできない操作があります。
⚠ (黄) 温度が上昇しています	自動電源 OFF 温度が標準のときにカメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。
⚠ (黄) 温度上限に近づいています 持ち続けないでください	自動電源 OFF 温度が高のときにカメラの温度が上限に近づいています。低温やけどの恐れがありますので、カメラを持ち続けず、三脚などをお使いください。そのまま使い続けると、自動的に電源がオフになります。	電源をオフにして、しばらくたってからご使用ください。カメラの温度が上昇すると、画像にノイズが多くなる場合があります。
⚠ (赤) 温度上限に到達しました シャットダウンします	温度が上限に達したため自動的に電源がオフになります。	

エラー表示

画面に  や  が表示されたときは、ネットワーク/USB 設定メニューの **情報表示 > エラーの詳細** でエラー表示を確認し、処置を行ってください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
イーサーネットケーブル 経由でネットワークに接続 されていません	有線 LAN ケーブルは接続されていますか？	有線 LAN ケーブルを接続してください。
無線 LAN 経由でネットワークに接続 されていません	アクセスポイントに接続できていますか？	アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。 アクセスポイントの設定や IP アドレスの設定を確認ください。 電波を妨害している機器から離してください。 アクセスポイントの近くに移動してください。
	アクセスポイントへ接続するための設定は正しいですか？	アクセスポイントのパスワードが正しく設定されていることを確認してください。 アクセスポイントと同じ暗号化方式を設定してください。 SSID が正しく設定されていることを確認してください。
DHCP サーバーから IP アドレスが取得できないか、IP アドレスの設定に問題があります	ネットワーク上に DHCP サーバーはありますか？	DHCP サーバーが無い場合は IP アドレスなどを手動で設定してください。
	DHCP サーバーが停止していませんか？	ネットワーク管理者に問い合わせください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
	ネットワーク上に同じ IP アドレスが存在していませんか？	同じネットワークに接続している機器と重複しないように IP アドレスを変更してください。
FTP サーバーが見つからないか、FTP サーバーと通信できません	IP アドレス設定が間違っていませんか？	DHCP サーバーがある場合は IP アドレス設定を自動に設定してください。 IP アドレスを手動で設定している場合は IP アドレスなどが正しいことを確認してください。
	DNS サーバーの設定は正しいですか？	DNS サーバーのアドレスを手動で設定した場合は、アドレスが正しいことを確認してください。
	FTP サーバーの設定は正しいですか？	FTP サーバーの設定(サーバータイプ / サーバーアドレス / ポート / プロキシ設定)が正しく設定されていることを確認してください。
	FTP サーバーが停止していませんか？	ネットワーク管理者に問い合わせてください。
FTP サーバーにログインできませんでした	ユーザー名とパスワードが間違っていませんか？	ユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認してください。
FTP サーバーにファイルを送信もしくは保存できませんでした	FTP サーバーのアクセス権限の設定は正しいですか？	FTP サーバーのアクセス権限(書き込み)が正しく設定されていることを確認してください。
	FTP サーバのディスク容量が一杯になっていませんか？	FTP サーバーの空き容量を確認してください。
CA ルート証明書が有効ではありません	ルート証明書が期限切れになっていませんか？	カメラ本体の日付設定が正しい日時に設定されていることを確認の上、更新された CA ルート証明書を読み込んでください。

エラー表示	ここをチェック！	処置
Frame.io と接続できません	Frame.io のサーバーに問題が生じていませんか？	Frame.io サーバーの状態を確認してください。
	カメラ本体の日付設定は正しいですか？	Frame.io サーバーに問題がある可能性があります。時間をおいて再度試してください。
	ネットワークは正しく設定されていますか？	カメラ本体の日付設定が正しい時に設定されていることを確認してください。
	—	接続しているネットワークの設定を確認してください。
予期しないエラーが発生しました	—	カメラの電源を入れ直してください。
		ネットワーク管理者に問い合わせください。

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード	記録媒体	SD メモリーカードまたは CFexpress カード		
		64 GB		
画質	SUPER FINE	FINE	NORMAL	
静止画	4:3	1040	1560	2490
	RAW (非圧縮)		300	
	RAW (ロスレス圧縮)		590	
	RAW (圧縮)		880	
動画*	2160		79 分	
	1080		79 分	

* ビットレートが工場出荷時の設定の場合。



- 動画撮影をするときは、設定によって使用できるメモリーカードが異なります（図 72）。
- 32GB 以下のメモリーカード使用時は、ビットレート設定に応じて動画ファイルが分割されることがあります。その他のメモリーカード使用時でも、1 時間以上の長時間動画を連続して撮影した場合に動画ファイルが分割されて記録されることがあります。ファイル分割時も動画撮影は一時中断することなく続けます。

主な仕様

システム

製品名	FUJIFILM GFX100 II
製品型番	FF230001
有効画素数	約 1 億 200 万画素
撮像素子	43.8mm × 32.9mm BA、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード、CFexpress Type B カード (弊社推奨品)
メモリーカードスロット	<ul style="list-style-type: none">SD カード (UHS-II 対応) × 1CFexpress カード (Type B) × 1
記録方式	<ul style="list-style-type: none">静止画 : DCF2.0 準拠圧縮 : Exif Ver.2.32 JPEG 準拠 /DPOF 対応、HEIF 対応 (4:2:2 10bit)非圧縮 / ロスレス圧縮 / 非可逆圧縮 : RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり、TIFF (RGB)動画 : HEVC/H.265、H.264、ProRes 規格準拠音声 (ボイスメモを含む) :<ul style="list-style-type: none">LPCM (2ch : 24bit 48kHz サンプリング)AAC (MP4 記録時のみ)音声 (XLR マイクアダプター使用時) :<ul style="list-style-type: none">LPCM (2ch : 24bit 48kHz サンプリング、4ch : 24bit 48kHz サンプリング)AAC (MP4 記録時のみ、2ch:16bit、48kHz サンプリング)

システム

記録画素数	<p>L 4:3 (11648 × 8736) L 3:2 (11648 × 7768) L 16:9 (11648 × 6552) L 1:1 (8736 × 8736)</p> <p>M 4:3 (8256 × 6192) M 3:2 (8256 × 5504) M 16:9 (8256 × 4640) M 1:1 (6192 × 6192)</p> <p>S 4:3 (4000 × 3000) S 3:2 (4000 × 2664) S 16:9 (4000 × 2248) S 1:1 (2992 × 2992)</p> <p>RAW (11808 × 8754)</p>	<p>L 65:24 (11648 × 4304) L 5:4 (10928 × 8736) L 7:6 (10192 × 8736)</p> <p>M 65:24 (8256 × 3048) M 5:4 (7744 × 6192) M 7:6 (7232 × 6192)</p> <p>S 65:24 (4000 × 1480) S 5:4 (3744 × 3000) S 7:6 (3504 × 3000)</p> <p>TIFF (11648 × 8736)</p>
レンズマウント	FUJIFILM G マウント	
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：ISO 80～12800 (1/3段ステップ)、AUTO1～3 ISO40、25600、51200、102400は拡張モード 動画：ISO 100～12800 (1/3段ステップ)、AUTO ISO25600は拡張モード 	
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点 	
露出制御	プログラム（プログラムシフト可能）、シャッター優先、絞り優先、マニュアル	
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> 静止画：-5EV～+5EV (1/3段ステップ) 動画：-2EV～+2EV (1/3段ステップ) 	

システム

シャッタースピード

- メカニカルシャッター／電子先幕シャッター

- P/A モード時：30 秒～ $1/4000$ 秒
- S/M モード時：60 分～ $1/4000$ 秒
- バルブ：最長 60 分

- 電子シャッター／メカニカル+電子／電子先幕シャッター+電子

- P/A モード時：30 秒～ $1/32000$ 秒
- S/M モード時：60 分～ $1/32000$ 秒
- バルブ：最長 60 分

（！）連写時は設定されるシャッタースピードの範囲が異なる場合があります。

連写

選択可能な連写速度（コマ/秒 [fps]）JPEG

連写モード	メカニカル シャッター	電子シャッター
CH 高速連写	8.0、5.0	5.3*
CL 低速連写		2.0

* 35mm フォーマットモードのときは 8.7 コマまたは 5.8 コマ

（！）連写速度と連続記録枚数は、撮影環境やご使用のメモリーカードによって変わります。

フォーカス

- モード：シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス（リング回転式）

- AF 方式：インテリジェントハイブリッド AF（TTL コントラスト AF + 位相差 AF）

- AF フレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング、オール

ホワイトバランス

オート（ホワイト優先、AUTO、霧囲気優先）、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中

セルフタイマー

- 静止画：OFF、2 秒、10 秒

- 動画：OFF、3 秒、5 秒、10 秒

フラッシュ発光モード

- モード：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、マルチ、OFF

- 同調モード：先幕、後幕、AUTO FP（ハイスピードシンクロ）

- 赤目補正：赤目抑制発光、OFF

システム	
ホットシュー	あり (TTL フラッシュ対応)、同調シャッタースピード $1/125$ 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード $1/125$ 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー (EVF)	交換式ファインダー EVF-GFX3 (付属)
液晶モニター (LCD)	<ul style="list-style-type: none"> 背面 : 3.2 型カラー液晶モニター、約 236 万ドット、3 方向チルト式、タッチパネル付き 正面 : 2.09 型 memory LCD、219 × 320 ドット
動画 (ステレオ音声付き)	<ul style="list-style-type: none"> 画像サイズ : 8K 2.76:1、4K 1.38:1、8K 16:9、8K 17:9、 5.8K 2.35:1、5.4K 17:9、4.8K 3:2、4.8K 16:9、4K 16:9、4K 17:9、 FHD 16:9、FHD 17:9 ! 動画フォーマットにより選べるサイズが異なります。 フレームレート : 59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P 記録 / 出力形式 : <ul style="list-style-type: none"> H.265 (MOV、4:2:2 10bit/4:2:0 10bit、 720/360/200/100/50Mbps) H.264 (MOV/MP4、4:2:0 8bit、360/200/100/50Mbps) ProRes 422 HQ / ProRes 422 / ProRes 422 LT (MOV、4:2:2 10bit) HDMI 出力対応 (Atomos 社製外部レコーダーおよび Blackmagic 社製外部レコーダー用 RAW 出力に対応、 4:2:2 8bit/4:2:2 10bit)
ハイスピード動画	<ul style="list-style-type: none"> 画像サイズ : FHD 16:9、FHD 17:9 撮影フレームレート : 120P、100P

出入力端子	
マイク入力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
ヘッドホン出力端子	φ 3.5 mm ステレオミニジャック
リモートリリーズ端子	φ 3.5 mm 3 極ミニジャック
デジタル入出力	USB 端子：USB Type-C® USB 10Gbps
HDMI 出力	HDMI 端子 (Type A)
LAN 端子	1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T

電源部、その他

電源	充電式バッテリー NP-W235 (付属)	
バッテリー作動可能枚数 / 時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー：NP-W235 レンズ：GF63mmF2.8 R WR 使用 クリップオンフラッシュ：非装着 撮影モード：P モード オートパワーセーブ：ON 	
静止画撮影枚数		
パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト ^{*1}	約 500 枚	約 370 枚
ノーマル	約 540 枚	約 460 枚
縦位置バッテリーグリップ VG-GFX100II 装着時の静止画撮影枚数		
パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト ^{*1}	約 1360 枚	約 1010 枚
ノーマル	約 1470 枚	約 1240 枚
1 回の充電で撮影できる合計動画時間		
画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
8K ^{*2}	約 60 分	約 80 分
4K ^{*3}	約 60 分	約 90 分
FHD ^{*3}	約 80 分	約 140 分
ハイスピード動画 ^{*4}	約 65 分	—
<p>*1 パフォーマンスが EVF 表示フレームレート優先 (120P) の場合</p> <p>*2 フレームレート 29.97fps の場合</p> <p>*3 フレームレート 59.94fps の場合</p> <p>*4 フレームレート 120fps の場合</p> <p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなり、時間は短くなります。 		

電源部、その他

本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	152.4 mm × 117.4 mm × 98.6 (46.5*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
本体質量	約 949g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
撮影時質量	約 1030g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	<ul style="list-style-type: none">温度 : -10°C ~ +40°C (バッテリー充電時 : +5°C ~ +40°C)湿度 : 10% ~ 80% (結露しないこと)

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none">インドネシア : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch)アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、中国、インド、韓国、マレーシア : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5745 MHz ~ 5825 MHz (UNII-3)EU 加盟国、イギリス、日本、オーストラリア、ノルウェー、ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、レバノン、ウズベキスタン、イスラエル : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5500 MHz ~ 5700 MHz (W56)
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz ~ 2480 MHz

交換式ファインダー EVF-GFX3

種類	有機 EL
サイズ	0.64 型
画素数	約 944 万ドット
光学倍率	1.00 倍 (35 mm 判換算 50 mm レンズ、無限遠、視度 -1.0 m^{-1})
対角視野	約 47 度 (水平視野 約 38 度)
視度調節	$-5 \text{ m}^{-1} \sim +2 \text{ m}^{-1}$ (dpt)
アイポイント	約 21 mm
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	52 mm × 37 mm × 78.9 mm
質量	約 91 g

バッテリー NP-W235

公称電圧	7.2V
公称容量	2350 mAh
定格容量	2200 mAh
使用温度	0°C ~ +40°C
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	38.92 mm × 22.8 mm × 52.26 mm
質量	約 79 g

AC パワーアダプター AC-5VJ

定格入力	AC 100V ~ 240V 50/60Hz
入力容量	MAX 50VA
定格出力	DC5.0V MAX 3A
使用温度	0°C ~ +40°C
質量 (本体のみ)	約 45 g ± 2 g

!
仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

- 2画面表示、24
- 2画面モード表示設定、349
- 4ch 音声再生、341
- 35mm フォーマットモード、172

【A～Z】

- A** (絞り優先撮影)、80
- AE/AF-LOCK 設定、361
- AE/AF ロック、110
- AEL** (AE ロック) ボタン、111
- AE ブラケティング、114
- AE ブラケティング設定、169
- AE ロック、110
- AF+MF、157, 201
- AF-ON、389
- AF-C カスタム設定、147, 199
- AF (オートフォーカス)、92
- AF 警告、10
- AF 合焦音量、338
- AF ロック、110
- AFON** ボタン、111
- AF ポイント表示、151
- AF 補助光、152, 175, 192, 200
- AF モード、95, 146, 198
- AF モードオール設定、146
- ATOMOS AirGlue BT、211
- AUTO 設定、107
- AWB-LOCK 設定、362
- Bluetooth ON/OFF、321
- Bluetooth 機器一覧、320
- Bluetooth/ スマートフォン設定、320
- BULB** (バルブ撮影)、83
- C** (AF-C)、93, 96, 147, 159, 199
- CFexpress Type B カード、48
- CH 設定、176

- DISP/BACK** (表示/戻る) ボタン、22, 216
- DNS サーバー、266, 274
- DPOF 指定、238
- DRIVE** ボタン、8
- D レンジ優先、135, 222
- EVF (ファインダー)、16, 20
- EVF 明るさ、22, 342
- EVF 鮮やかさ、22, 342
- EVF 色調整、343
- EVF タッチパネル有効範囲、34, 365
- EVF チルトアダプター、12, 397
- EVF フル表示倍率、349
- Fn** (ファンクション) ボタン、385
- F-Log2 D レンジ優先、197
- F-Log/HLG 撮影、186
- F-Log ビューアシスト、347
- Fn1 ボタン設定、363
- Frame.io、270
- Frame.io Camera to Cloud、323, 425
- FTPS、327
- FTP オプション設定、326
- FTP サーバー、278
- FTP 転送のキャプション、326
- FTP パワーセーブ、327
- FUJIFILM instax SHARE、239, 258, 323
- FUJIFILM Pixel Shift Combiner、121, 425
- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in、261, 424
- FUJIFILM X Acquire、261, 292, 424
- FUJIFILM X RAW STUDIO、425
- HDMI、64, 184
- HDMI ケーブル、64
- HDMI 出力設定、184
- HDMI 出力情報表示、184
- HDMI タイムコード出力、211
- HDMI レックコントロール、184

- HEIF、129
 HEIF を JPEG/TIFF に変換、223
 HTTPS、298
 instax プリンター接続設定、323
 instax プリンタープリント、239, 259
 IPTC、372
 IP アドレス、265, 273
 ISO 感度、106, 171, 189
 ISO ブラケティング、113
 JPEG/HEIF 選択、129
 LCD (液晶モニター)、11, 18, 20, 34
 LCD 明るさ、22, 344
 LCD 鮮やかさ、22, 344
 LCD 色調整、344
 LED ライト設定、175
MENU/OK ボタン、32, 126, 194, 220, 332
 MF アシスト、158, 201
 MF アシストフォーカスリング連動、158, 201
M (マニュアルフォーカス)、101
P (プログラム撮影)、60, 76
P, S, A, M 撮影、76
 ProRes、183
Q (クイックメニュー) ボタン、379
 RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX、423
 RAW 画像、127
 RAW 記録方式、128
 RAW 現像、221, 291, 425
 RAW 出力設定、185
 REC 開始終了音量、339
 REC 枠表示、191
 SD/SDHC/SDXC メモリーカード、48
S (シャッタースピード優先撮影)、78
S (AF-S)、93, 95, 159
 SSD、49
 S.S. 操作設定、359
 T/S レンズ、396
 TTL、403
 TTL-LOCK、175, 389
 TTL-LOCK モード、175
 USB カードリーダー、252
 USB 給電 / 通信設定、328
 USB ケーブル、53
 VIEW MODE 設定、20, 342
 WB シフト、137, 222
 XLR マイクアダプター、71
 XLR マイクアダプター設定、208
 X RAW STUDIO、291
- 【あ】**
- アイカップ、14
 アイセンサー、20, 21, 453
 赤目補正、174, 400
 アクセスポイント、264
 圧縮方式、182
 後幕シャッター、402, 405, 408
 アドレス、265, 273, 329
 アベレージ (測光)、108
 位置情報記録、373
 位置情報表示、353
 色温度、138
 色空間、141, 222
 インジケーター一ランプ、10, 192, 244, 415
 インターバルタイマー撮影、166
 インターバルタイマー撮影間隔優先、168
 インターバルタイマー撮影露出平準化、168
 ウィザードで登録、313
 ウェーブフォーム / ベクトルスコープ、190, 309
 ウェブカメラ、257
 液晶モニター (LCD)、11, 18, 24
 エリア設定、333
 オートフォーカス (AF) 撮影、92
 オプション品 (別売アクセサリー)、420

- お手入れについて、441
オーディオ設定（撮影メニュー）、205
オートパワーオフ（自動電源 OFF）、366
オートパワーセーブ、368
オール（AF モード）、95, 96
音設定（セットアップメニュー）、338
温度保護機能、71
- [か]**
カードスロット設定、370
カードなしリーズ、360
海外で使うとき、435
開始時間設定、209
外部フラッシュ（別売クリップオンフラッシュ）、400
外部マイク、71
外部マイクレベル設定、205
カウントアップ設定、210
顔検出 / 瞳 AF 設定、153, 200
拡大表示、100, 104, 219
風音低減、206
画質設定（撮影メニュー）、126, 194
画質モード、127, 222
カスタム 1 設定呼び出し、389
カスタム登録内容の自動更新、142, 193
カスタム登録 / 編集、142, 193
カスタムホワイトバランス、137
カスタムモード、86
画像回転、229
画像コピー、232
画像サイズ、126, 222
画像を選択して転送、324, 326
カメラで使えるソフトウェア・サービス、423
画面のカスタマイズ、25, 349
カラー、140, 195, 222
カラークローム・エフェクト、133, 222
カラークローム ブルー、133, 222
- 感度（ISO 感度）、106, 171, 189
機内モード、319
基本設定（セットアップメニュー）、332
キャッチライト、175
給電状態、52
距離指標、103
距離指標の単位、348
記録画素数、469
クイックメニュー（**Q** メニュー）ボタン、379, 382
クイックメニュー登録 / 編集、357
クイックメニュー背景設定、356
クリップオンフラッシュ、400, 401, 403
グレイン・エフェクト、132, 222
ゲートウェイ、266, 274
ケーブルプロテクター、5
減感（増感 / 減感）、222
言語、58, 335
高感度ノイズ低減、140, 196, 222
交換レンズ、41, 394
工場出荷時（リセット）、337
合焦マーク、94
コマ NO.（コマナンバー）、369
コマンダー設定、176
コマンダー（光通信）、406
コマンドダイヤル、9
コマンドダイヤル回転方向、359
コマンドダイヤル設定、358
コンティニュアス AF（C）、93
- [さ]**
再生音量、341
再生時拡大倍率、348
再生時デスクイーズ表示、235
再生時の表示画面、214
再生ズーム、219
再生方法、218
再生メニュー、viii, 220

先幕シャッター、402, 405, 408
 撮影画像表示、345
 撮影時 自動画像転送、321, 324, 326
 撮影時の表示画面、16
 撮影スタンバイモード、368
 撮影設定（撮影メニュー）、164
 撮影メニュー、iv, 125
 撮影モード、7, 60, 68
 サブ液晶モニター、28
 サブ液晶モニター照明ボタン、31
 サブ液晶モニター設定、353
 サブ液晶モニター背景色、31, 356
 サブネットマスク、266, 273
 サマータイム、333
 自動電源 OFF（オートパワーオフ）、366
 自動電源 OFF 温度、368
 視度調節ダイヤル、15
 紋りリング、396
 紋り値、76, 80, 82
 紋り優先（A）撮影、80
 シャープネス、140, 196, 222
 シャッタースピード、76, 78, 82, 470
 シャッタースピード優先、78
 シャッター選択、143
 シャッター方式、170
 周辺光量補正、145, 197
 消去、66, 224
 ショートカット機能、376
 消費電力設定（セットアップメニュー）、
 366
 情報表示、329
 情報表示拡大 表示設定、352
 情報表示拡大モード (EVF)、350, 352
 情報表示拡大モード (LCD)、351, 352
 情報表示コントラスト調整、352
 情報表示の切り替え、22, 216
 初期化、337

初期設定、56
 シングル AF (S)、93
 シングルポイント（AF モード）、95, 96
 シンクロターミナル、400, 401, 402
 ズームリング、61
 スポット（測光）、108
 スマートフォン、173, 235
 スマートフォンアプリケーション、247
 スマートフォン位置情報同期、321
 スマートフォン送信時圧縮、322
 スマートフォンに画像転送、233
 スムーススキン・エフェクト、133, 222
 スローションクロ、404, 408
 スロット切り替え、220
 スロット選択、370
 静止画（再生）、63
 静止画 / 動画切替スイッチ、8
 静止画（プログラム撮影）、60
 世界時計、334
 接続セット、246
 接続セット選択、318
 接続セット登録 / 編集、313
 セットアップメニュー、ix, 331
 ゼブラ設定、189
 ゼブラレベル、189
 セルフタイマー、164
 セルフタイマー音量、338
 セルフタイマー設定保持、165
 セルフタイマー（動画）、180
 セルフタイマーランプ、165
 センサークリーニング、336, 441, 442
 操作音量、339
 操作ボタン・ダイヤル設定（セットアップ
 メニュー）、357
 増感（増感 / 減感）、222
 ゾーン（AF モード）、95, 96
 ゾーンエリア特性、149

ゾーンカスタム設定、146
速度変化特性、148
測光、108, 169, 187
測光モード、108
測光＆フォーカスエリア連動、159
ソフトウェア、423

【た】

ダイナミックレンジ、134, 195, 222
ダイナミックレンジ BKT、114
タイムコード設定（撮影メニュー）、209
タイムコード同期設定、211
タイムコード表示、209
多重露出撮影、119
タッチパネル設定、364
タッチパネルモード、162, 203
タッチファンクション、37, 364, 390
縦位置バッテリーグリップ、410
縦／横位置AFモード切替、150
縦横自動回転再生、348
縦横自動回転表示、22, 345
ダブルタップ拡大、364
タリーランプ、192
中央部重点（測光）、108
長秒時ノイズ低減、141
著作権情報、371
データレベル設定、187
テザー撮影、260
デジカメプリント、238
デジタルスプリットイメージ、104, 158
デジタルマイクロプリズム、104, 158
デフォルトキャプション、372
テレビ接続（HDMI出力）、64
電源、54
電源OFF中の画像転送、322, 325, 327
電子先幕シャッター（シャッター方式）、
170
電子シャッター音、340

電子シャッター音量、339, 340
電子シャッター（シャッター方式）、170
電子水準器、27
電子水準器設定、347
点像復元処理、141, 222
転送予約リセット、325, 327
動画クロップ倍率固定モード、185
動画再生、73
動画撮影、68
動画設定（撮影メニュー）、72, 177
動画設定一覧、177
動画専用操作モード、36, 191
動画フォーマット、177
動画モード、178
同時消去、226
トーンカーブ、140, 195, 222
トラッキング（AFモード）、96
トリミング、226
ドロップフレーム、210

【な】

内蔵マイクレベル設定、205
長押し（MENU/OKボタン）、17, 19, 365
長押し（Qボタン）、382
長押し（再生ボタン）、63, 220
長押し（消去ボタン）、332
長押し（リアコマンドダイヤル中央）、9
ナチュラルライブビュー、346
名前、321
日時設定／日時変更、58, 333
認証、337
ネットワーク／USB設定初期化、329
ネットワーク／USB設定メニュー、313
ノーマル画面、25

【は】

バージョンの確認方法、443
ハイスピード撮影、179

- ハイスピードシンクロ (FP)、405, 408
 発光モード、402, 403, 407
 パッシブモード、286
 パッテリー、43, 50, 55, 410
 パッテリー劣化度、336
 パフォーマンス、367
 バルブ撮影、83
 半押し AF、359
 半押し AE、360
 ピクセルシフトマルチショット、121
 ピクセルマッピング、142, 196
 被写界深度確認、81, 103
 被写界深度スケール、160, 202
 被写体検出 AF 設定、155, 200
 被写体保持特性、148, 199
 ヒストグラム表示、26
 ビットレート、183
 表示設定 (セットアップメニュー)、342
 表示比率、240
 標準撮影枚数 / 記録時間、467
 ピントの確認、103
 ファイル形式、182, 222
 ファイル形式選択、322, 326
 ファイル名編集、370
 ファンクション (Fn) 設定、358, 387
 ファンクション (Fn) ボタン、385
 フィルム シミュレーション、130, 194, 222
 フィルム シミュレーション BKT、114, 169
 ブースト、367
 フォーカス BKT、115
 フォーカス BKT 設定、115, 169
 フォーカス位置拡大、157
 フォーカスエリア、97, 99, 146, 198
 フォーカスエリア選択、95, 97, 146, 198
 フォーカス設定 (撮影メニュー)、146, 198
 フォーカスチェック、159, 202
 フォーカスチェックロック、204
 フォーカス点数切り替え、151
 フォーカスピーキング、105, 158, 201
 フォーカスポイント循環、151, 199
 フォーカスマップ、105
 フォーカスメーター、105
 フォーカスモード、93
 フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、160
 フォーカスリミッター、161, 202
 フォーカスリング、361
 フォーカスリング操作、361
 フォーカスレバー、6, 357
 フォーカスレバー設定、357
 フォーマット (初期化)、332
 フォトブックアシスト、236
 フォルダ選択、371
 ブラケティング、114
 ブラケティング撮影、112
 フラッシュ機能設定、174
 フラッシュ設定 (撮影メニュー)、174
 ブリ AF、152
 フリッカー低減、171
 フリッカーレス S.S. 設定、171, 187
 プリント予約 (DPOF)、238
 フレーミングガイド、347
 フレーム間ノイズリダクション、196
 ブレ防止モード、172, 188
 ブレ防止モードブースト、188
 プロキシサーバー、286
 プロキシ設定、184
 プログラム (P) 撮影、60, 76
 プログラムシフト、77
 プロテクト、228
 フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、9, 358
 ペアリング、320
 別売アクセサリー、420

ヘッドホン音量、207
ボイスメモ設定、230
保存設定（セットアップメニュー）、369
ホワイトバランス、136, 195, 222
ホワイトバランス BKT、113

[ま]
マイク端子設定、206
マイク / リモートレリーズ設定、85, 207
マイクレベルリミッター、206
マイメニュー（マイメニュー設定）、335, 377
マウントアダプター設定、143, 197
マニュアル（M）撮影、82
マニュアル時モニター露出 /WB 反映、85, 346
マニュアルフォーカス（M）、101
マルチ再生、219
マルチ（測光）、108
無線通信周波数設定、322
銘板プレート、6
明瞭度、141, 222
メカニカルシャッター（シャッター方式）、170
メディア記録設定、181
メモリーカード、45, 47
メモリーカードスロットカバー、6
モードダイヤル、7
モノクロームカラー、132, 194, 222

[ロ]

リアコマンドダイヤル（コマンドダイヤル）、9, 358
リサイズ、227
リセット、337
リモートレリーズ、85
リモート録画機能、293
ルート証明書、298, 325, 327
冷却ファン、416
冷却ファン設定、173, 193
レーティング、231
レリーズ優先（レリーズ優先 / フォーカス優先）、160
レンズ（取付）、41
レンズ（交換レンズ）、394
レンズキャップ、395
レンズフード、395
レンズなしレリーズ、360
レンズ登録、143
ローカットフィルター、207
露出補正、109
露出補正ボタン設定、362
ロック、365

[わ]

ワイド（AF モード）、95
ワイヤレス通信、173, 193, 235
ワンプッシュ AF 時の動作、159, 202

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/>をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先にFAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？

トラブルが発生する直前の操作は？

カメラの状態は？

トラブルが発生する頻度は？

- ご使用のPC機種名、OSバージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

デジタルカメラ Q&A または本書の「トラブルシューティング /FAQ」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

デジタルカメラ Q&A :

<https://digitalcamera-support-jp.fujifilm.com/>

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品などに交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことが、対応 OS が変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客さまの個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守いたします。

1. お問い合わせ時あるいは修理依頼時にお客さまからご提供いただいた、お客さまのお名前・住所・電話番号・メールアドレスなどの個人情報は、以下に定める目的の範囲内で利用いたします。
 - ① お客さまからいただいたお問い合わせに対する回答
 - ② 修理・サポート及び関連する製品・サービスの情報提供
 - ③ お客さま応対品質向上のため、及び製品・サービスに関する企画、開発、販促、その他事業活動のためのアンケート調査の実施
 - ④ 製品カタログなどの資料発送
 - ⑤ 個人情報保護法その他法令で認められた利用目的
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩などの事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. お問い合わせいただいた内容により、当社製品・サービスを提供する当社関係会社にて対応することが適切と当社で判断した場合、上記利用目的の範囲内でお客さまの個人情報を当社関係会社に開示することがありますので、あらかじめご了承ください。
4. 当社における個人情報の取り扱いについては、「プライバシーポリシー」をご覧ください。
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/privacy>
5. お問い合わせ時あるいは修理依頼時の内容などにつきましては、個人を特定できないよう統計的なデータに加工した上で、サービス向上のために利用いたします。
6. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせなどは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは富士フィルムイメージングプラザにお願いいたします。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フリガナ お名前			電話番号	
			FAX 番号	
フリガナ				
Eメール アドレス	※読み間違えやすい英文字、数字（ゼロとオー、小文字のエルと大文字のアイなど）は フリガナをご記入ください。			
ご住所	〒 -			
製品名（型名）	ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体に記載 してある8桁の番号です。 修理お問い合わせ時に ご連絡ください。		NO.	
修理品への添付	<input type="checkbox"/> 保証書 <input type="checkbox"/> メモリーカード <input type="checkbox"/> バッテリー <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()			
見積	<input type="checkbox"/> 要（修理金額		円以上見積り）	<input type="checkbox"/> 不要
見積連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX		<input type="checkbox"/> Eメール	
故障症状 (故障時の様子)				
ご購入時期	20 年 月		※保証書を添付してください。	
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回		<input type="checkbox"/> 再依頼（ <input type="checkbox"/> 同一症状 <input type="checkbox"/> 別症状）	
発生 状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 開始時のみ <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々（ 日に 回）		
	動作モード	<input type="checkbox"/> 再生時 <input type="checkbox"/> 撮影時 <input type="checkbox"/> ショックを与えると		
	他機との接続	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（接続機 ）		
使用電源				

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

■上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX

03-6625-2809

050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



●修理に関するご相談受付窓口は・・・

富士フイルム修理サービスセンター

TEL 0570-04-1040

■上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX

03-6625-2810

050-3786-2040

■修理品の送付先

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1

※修理に関するサービス内容、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>



●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>



Bluetooth®